

# 教育委員会の所管事務に係る 点検・評価報告書

(平成30年度事業)

令和元年9月

桑折町教育委員会

## はじめに

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という）の一部が改正され、平成20年4月1日よりすべての教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務付けられました。

この報告書は、桑折町教育委員会が同法の規定に基づき、平成30年度教育委員会重点施策について点検・評価したものをまとめたものです。

報告書の作成にあたっては、教育施策の一層の改善・充実を図るため、外部有識者による点検及び評価の知見を活用することとし、平成23年4月1日付けで「桑折町教育委員会の所管に係る点検及び評価に関する第三者評価委員会設置規則」を定めました。

以下、所管事務5点について教育委員会各担当者、幼稚園長、小・中学校長が直接評価するとともに、文化財保護審議会、社会教育委員会、教育委員会の各委員からの評価を受け、さらには第三者評価委員会による最終評価・点検を受け、報告書としてまとめました。

- 1 子育て支援
- 2 乳幼児保育と教育
- 3 小中学校教育
- 4 生涯学習
- 5 生涯スポーツ
- 6 歴史まちづくり

今年度は、復旧と復興から創生を目指す新しい総合計画『献上桃の郷こおり創生プラン』に基づく諸取組が、2年目を迎えます。

震災・原発事故から8年が経過し、ほぼ完全に震災前の教育活動を行うことができる環境になり、平成25年度末の確定した本町がめざす義務教育終了時の「15歳の姿」の実現を求めて、一段と力強く幼・小・中が保護者や地域と連携して取り組んでいこうとしています。特に、一昨年度からスタートした県の「学びのスタンダード」推進事業の研究推進地区として、「授業スタンダード」を受けての授業の質的改善・充実と「家庭学習スタンダード」を受け、保護者と連携して生活習慣の改善及び家庭学習習慣の確立を両輪として、子ども一人ひとりの学力向上をめざしていきます。

つきましては、今後も本町教育の充実・発展のために皆様方のご理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和元年9月

桑折町教育委員会

# 目 次

平成30年度桑折町教育委員会重点	1
<b>1 教育委員会の事務の管理及び執行状況</b>	
(1) 教育内容の充実、教育施設の充実、学校教育にかかる経済的支援	
①「生きる力」を身につけさせるための生活習慣改善や学力向上の取組	12
②「生きる力」を身につけさせるための健康教育の充実と体力向上の取組	13
③「生きる力」を身につけさせるための生徒指導の取組	14
④「生きる力」を身につけさせていくための特別支援教育の取組	15
⑤心の教育や心を揺さぶる学習・体験（ふるさと学習等）の取組	16
⑥各種教育課題への取組	17
⑦教育施設の整備	18
⑧学校教育にかかる経済的支援	18
(2) 乳幼児保育の充実、幼稚園教育の充実、幼児教育にかかる経済的支援	
①乳幼児保育・教育の充実	19
②子ども・子育て支援事業の推進	22
(3) 生涯学習活動の推進、芸術・文化の振興、公民館施設等の充実、他文化交流の促進、青少年健全育成	
①生涯学習の推進	24
②ライフステージに応じた多様な学習機会の提供と内容の充実	25
③社会教育団体の活動奨励	26
④青少年体験活動の積極的推進	27
⑤心を豊かにする読書活動の充実	28
⑥芸術・文化団体活動の奨励・支援	29
⑦社会教育施設の効果的・効率的な管理運営	30
(4) 健康・体力づくりをめざす生涯スポーツの推進、体育施設等の充実、屋内遊び場を活用した子育て支援の充実	
①社会体育事業の推進	31
②社会体育施設の効率的・効果的な管理運営	32
(5) 文化財の保護と活用、「歴史的風致維持向上計画の推進」	
①「桑折町歴史的風刺維持向上計画」に基づく保護・調査・活用の推進	33
②史跡桑折西山城跡整備事業の推進	34
③旧伊達郡役所・種徳美術館の適切な管理と活用の推進	35
<b>2 教育委員会の校長に委任する事務の管理及び執行状況</b>	
(1) 学校経営評価報告書（小学校4校、中学校1校）	36
(2) 学校経営の自己評価票（小学校4校、中学校1校）	50

<b>3 教育委員会の園長に委任する事務の管理及び執行状況</b>	
(1) 桑折町こども園経営評価報告書	60
(2) 桑折町こども園経営自己評価のまとめ（幼稚園1園、保育所1所）	62
<b>4 第三者評価委員会による評価</b>	
(1) 第三者評価委員会設置に関する規則	66
(2) 第三者評価委員会開催状況及び協議内容	67
<b>5 今後の方針</b>	
(1) 評価の主な改善点	76
(2) 評価の方法	77

〈参考資料〉

- 平成30年度 桑折町教育委員会の重点施策全体構想
- 桑折町の15歳のめざす姿
- 平成30年度 学力向上推進計画
- 平成30年度 桑折町子どもの体力向上プラン
- 平成30年度 「醸芳保育所・醸芳幼稚園」経営・運営ビジョン
- 平成30年度 「学校経営・運営ビジョン」&「学力向上グランドデザイン」
  - ・桑折町立醸芳小学校
  - ・桑折町立睦合小学校
  - ・桑折町立半田醸芳小学校
  - ・桑折町立伊達崎小学校
  - ・桑折町立醸芳中学校

## 1 教育委員会の事務の管理及び執行状況

# 平成30年度 桑折町教育委員会重点

## I 基本方針

復旧と復興から創生をめざす桑折町総合計画『献上桃の郷こおり創生プラン』に基づき、町の未来像「みんなとつながり みんなが活躍できる 安心のまち 桑折」の実現に向け、教育・文化・スポーツ行政を推進する。

## II 基本目標

「志高い人材を育む“学び”の醸成」を推進するため、次の目標を定める。

- 1 知・徳・体の基礎を身につけ、高い志を持った「桑折町の15歳のめざす姿」の実現
- 2 保育所・幼稚園から小学校・中学校までの育ちと学びの一貫性を大切にした教育の推進
- 3 各世代の学びを醸成する生涯学習活動の推進、社会体育・生涯スポーツ活動、文化芸術活動の振興

## III 重点施策

### 1 子育て支援

- 子ども・子育て支援事業の推進 [こども教育課]
- 青少年の健全育成、屋内遊び場を活用した子育て支援の充実 [生涯学習課]

### 2 乳幼児保育と教育

- 乳幼児保育の充実、幼稚園教育の充実、幼児教育にかかる経済的支援 [こども教育課]

### 3 小中学校教育

- 教育内容の充実、教育施設の充実、学校教育にかかる経済的支援 [こども教育課]

### 4 生涯学習

- 生涯学習活動の推進、芸術・文化の振興、公民館施設等の充実、他文化交流の促進 [生涯学習課]

### 5 生涯スポーツ

- 健康・体力づくりをめざす生涯スポーツの推進、体育施設等の充実 [生涯学習課]

### 6 歴史まちづくり

- 文化財の保護と活用、「歴史的風致維持向上計画」の推進 [生涯学習課]

## 乳 幼 児 保 育・教 育 の 重 点

- 保育・教育内容の充実及び安全・安心な教育環境の整備を図り、知・徳・体バランスの取れた質の高い教育を推進し、心豊かにたくましく生きる子どもたちを育成する。
- 「桑折町の15歳のめざす姿」の実現をめざし、保育所、幼稚園から小学校、中学校までの育ちと学びの連続性と一貫性を大切した教育を推進する。
- 子どもの健やかな成長と保護者が安心して子育てできる支援事業の推進に努める。

### 1 乳幼児保育・教育の充実

(1) 乳幼児が安全安心に保育・教育を受けるための環境の整備と安全指導の充実に努める。

- ① 発達に即した環境の整備と施設・設備の点検を実施する。
  - 日常的な施設・設備の安全点検実施
- ② 防災体制の確立及び日常生活における安全指導の徹底を図る。
  - 実効性ある避難訓練等の実施
  - 立哨指導による交通安全啓発活動の実施
- ③ 食品等のモニタリングによる安全安心な給食を提供する。
  - 食品のモニタリングと結果の公表

(2) 心豊かにたくましく生きる子どもたちを育成するため、知・徳・体バランスの取れた質の高い教育を推進する。

- ① 保育所保育計画、幼稚園教育計画により保育・教育の充実に努める。
  - 新保育所保育指針、新幼稚園教育要領を踏まえた保育所保育計画、幼稚園教育計画の作成
  - 環境を通しての遊びを中心とした総合的に行う保育・教育活動の実施
- ② 心の安定と自己肯定感を育む集団づくりに努める。
  - 幼児の言動を肯定的に受け止める保育・教育の実施
  - 自己表出できる友達関係の育成
- ③ 運動遊びを中心とした体を動かす活動の充実に努める。
  - 体力向上1園(学級)1実践の取組
  - 外部講師による運動遊び、ダンス教室の実施
- ④ 読書活動の推進を図る。
  - 絵本コーナーの充実と活用
  - 家庭での読み聞かせの奨励
- ⑤ 文化や芸術など様々なものに触れ経験する中で豊かな心を育む。
  - 異文化体験活動の推進
  - 芸術鑑賞機会の充実
  - 音楽に親しむ活動の推進
  - 飼育、栽培活動の充実

⑥ 英語に親しむ活動の充実に努める。

- 外部講師による英語で遊ぼうの実施
- ⑦ 総合的な指導力、保育力の向上に努める。
  - 一人1回以上の園内保育研究会の実施
  - 外部講師を招聘しての研修会の実施
  - 先進園への視察研修
  - 小学校と連携した保育研究会の実施
  - 経営自己評価や指導の自己評価、保護者からの園(所)評価の実施
  - 学校評議員会の開催
- (3) 特別な支援を必要とする乳幼児の支援体制の確立と指導力の向上に努める。
  - ① 特別な支援を必要とする乳幼児への支援体制を確立する。
    - 保育補助・支援員の配置
    - 園内委員会の定期的な開催
    - 関係機関との連携強化
    - 特別支援教育についての保護者の理解促進
  - ② 特別な支援を必要とする乳幼児への支援内容の充実を図る。
    - 特別支援教育に関する研修機会の確保
- (4) 異校種の教育内容や指導の在り方について共通理解を図り、円滑な接続を意図した保育・教育を推進する。
  - ① こども園内の連携・交流を推進する。
    - こども園保育研究会の実施
    - 所児と園児の交流活動の実施
  - ② 小・中学校との連携・交流を推進する。
    - 小・中学校の授業研究会への参加
    - 園児と小学生の交流活動の実施
    - 職場体験活動等の受け入れ
- (5) 家庭や地域社会との連携を図る。
  - ① 望ましい生活習慣の確立に向けた取り組みを推進する。
    - 教育講演会の実施
    - 「家庭生活習慣のポイント」の推進
  - ② 虫歯予防の取り組みを推進する。
    - フッ化物洗口の実施
    - 歯科衛生士による歯磨き指導の実施
  - ③ 地域の教育力を生かした保育・教育を推進する。
    - 保護者の園行事等への参加
    - 地域資源の積極的な活用

## 2 子ども・子育て支援事業の推進

- (1) 多様な子育て家庭に対応した事業の推進に努める。
  - ① 子育て支援事業の充実を図る。
    - 在宅児に対する親子遊び場、交流の場の提供

『頭のよい子に育てるために今すぐ絶対やるべきこと』（川島隆太 博士著）  
を活用した家庭の教育力向上

② 保護者の就労等へ対応した預かり保育・放課後児童健全育成事業の充実を図る。

預かり保育・放課後児童保育支援員打ち合わせ・研修会の実施

放課後児童保育運営体制の確立

児童館長による放課後児童保育の巡回指導

幼稚園や小学校との情報の共有化

長期休業中等を中心とした体験活動の充実

特別な支援を必要とする園児・児童に対する保育の充実

③ 子育て家庭の経済的支援の推進に努める。

幼稚園入園祝い品（制服）支給事業の実施

多子世帯の幼稚園授業料の軽減

在宅児の一時預かり保育及び在園・在所児の病児・病後児保育利用料助成事業  
の実施

(2) 桑折町子ども・子育て支援事業計画を推進する。

① 子ども・子育て支援事業の総合的かつ計画的な推進に努める。

桑折町子ども・子育て会議の開催

子育て世帯へのニーズ調査の実施

② 分かりやすい子育て情報発信の工夫に努める。

子育て支援情報誌等の作成及び町ホームページの活用

## 学校教育の重点

- 教員の指導力の向上と教育内容の充実を図り、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和的・一体的・関連的な育成を基盤として、児童生徒の「生きる力」をはぐくむ。
- 「桑折町の15歳のめざす姿」の実現をめざし、幼稚園から小学校、中学校までの育ちと学びの連続性と一貫性を大切にした教育を推進する。特に、生活習慣の確立・学力向上・体力向上・生徒指導推進・特別支援教育の充実の5点に重点的に取り組む。

### 1 「生きる力」を身につけさせていくための生活習慣改善・学力向上・体力向上・生徒指導・特別支援教育への取組

#### (1) 学力向上への取組

##### ① 生活習慣改善のための基盤づくり

ア 脳科学の研究成果を活用して、学習習慣・生活習慣の確立を図る。

- 『元気な脳が君たちの未来をひらく』（川島隆太 博士著）を活用した授業の実践

- 生活習慣改善・学習習慣の確立をめざす特別授業の実施

- 「家庭生活習慣のポイント」の広報・活用、実態調査

イ 生活改善・充実のための推進会議の開催と充実に努める。

- 町園長・校長会議での協議

- 「学びのスタンダード」事務局による推進会議の開催

##### ② 「確かな学力」の向上を支える基盤づくり

ア 「読み・書き・計算の徹底反復」による、集中力や基礎的知識・技能の向上を図る。

- 「読み・書き・計算の徹底反復」の計画的な実施と充実

- 「読み・書き・計算の徹底反復」研修会の実施（2回）

イ 学びの質を高める学習集団を育成する。

- 桑折町の「学びのスタンダード」を基本とした学習スタイルの確立と徹底

- Q-U 検査における「学力とのクロス集計」結果の活用

ウ 児童生徒の学習を支援する「桑折学習塾」を定期的で開催する。

- 小学生対象（算数・国語）

- 中学生対象（数学・英語）

##### ③ 授業の改善・充実

ア ふくしまの「授業スタンダード」に基づく授業改善と充実を図る。

- 1校1指定公開授業研究の充実（内一つは、阿部教授の指導による）

- 授業力の向上を図る校内授業研究会の充実（外部講師の招聘）

イ 学力の実態把握と分析、対策の立案と実践に努める。

- 町独自の学力検査（NRT 等）の実施と活用

- 国・県の学力検査の活用

- ウ 幼稚園、小学校と中学校との連携による授業研究の充実を図る。
  - 研修主任等による推進会議の開催と充実
  - 「授業改善・充実の視点」に基づく事前・事後授業研究会の充実

#### ④ 教員研修の充実

- ア 教員の専門性を高める教職員研修の充実を図る。
  - 研修意欲を基盤とした計画的・継続的な実効性のある校内研修の推進
  - 指導の連続性、専門性を深めて教員の資質・能力の向上を図る幼稚園、小・中学校の連携による授業研究会
  - 秋田の探究型授業に学ぶための視察とその成果の共有・活用
  - 教育委員会指導訪問（年1回）
- イ 学習指導要領についての研修を深め、趣旨を踏まえた教育内容の検討、教育内容の明確化と授業改善への支援に努める。
  - 教員の専門性や実践的指導力の向上を図る各種研修の積極的な活用
  - 得意分野を生かし相互に認め合い高め合う校内研修への支援

#### ⑤ 教育環境の整備と活用

- ア 教育機器の効果的な活用に努める。
  - 電子黒板，デジタル教科書等 ICT を活用した学習活動の推進
  - 学習支援ボランティアの活用
- イ 教育目標の実現、教職員の多忙化解消のために行事等検討委員会を設置する。
  - 桑折町行事等検討委員会を設置し、町行事や学校行事、その他の教育活動の精選審議

### (2) 健康教育の充実と体力向上への取組

#### ① 生涯にわたり健康を支える体力づくり

- ア 運動身体づくりプログラムの継続的な実践と徹底に取り組む。
  - 体育主任による「桑折町体力向上委員会」の開催と体育授業研究会の実施
- イ 体力向上に向けた「1校（学級）1実践」に取り組む。
  - 業間運動や昼休み等の時間の活用（長距離走の奨励），部活動の奨励
- ウ 桑折町「子どもの体力向上プラン」にそった体力づくりに努める。
  - 新体力テスト結果分析と対策のための諸取組の充実

#### ② 健康に関する理解を深め、自らの健康を適切に管理・改善していく資質や能力の育成

- ア 自己の健康課題を把握し、解決していく学習を推進する。
  - 体育の授業や防災教育・放射線教育の一環としての学級活動等の授業
- イ 家庭との連携による健康管理体制と基本的生活習慣を確立する。
  - 「家庭学習習慣のポイント」や「桑折町の15歳のめざす姿」の段階的スタンダード等の活用

③ 安全・安心な給食の提供

- ア 食材及び食品のモニタリングと公表を実施する。
  - 町広報紙や「献立表」「給食だより」等での広報
- イ 講演会等で、健康維持増進のための食品摂取をめざした情報を提供する。
  - 各校において、PTA 活動と連携した研修会等の実施

④ 学校給食を活用した「食育」の充実

- ア 栄養士を中心とした「食育」を推進する。
  - 「食育授業」の意図的・継続的な実施

(3) 生徒指導の推進

① 学校の教育活動全体に生徒指導の機能を生かし、不登校やいじめのない明るく生き生きとした学校生活の実現

- ア 自己指導力を育み、自己肯定感を醸成する生徒指導体制を確立する。
  - 桑折町生徒指導委員会の定期的な開催と充実
- イ 互いを認め合う、思いやりのある学級集団づくりを行う。
  - Hyper-QU 検査結果の変容分析と活用
- ウ 児童生徒と教職員、児童生徒相互の信頼関係や温かい人間関係を醸成する。
  - 体験活動の充実や構成的グループエンカウンター等のグループアプローチの実施
- エ 幼稚園を含め、小中学校のきめ細かな情報連携・行動連携を一層推進する。
  - 園長・校長会議と桑折町生徒指導委員会の連携した取組
- オ 児童生徒理解を基盤とした問題行動の未然防止と迅速な対応を図る。
  - 不登校対策会議の開催と情報の共有
- カ いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止等の対策を推進する。
  - いじめ防止年間計画の見直しといじめ防止発見チェックシートの活用
  - いじめ問題対策連絡協議会などによる連絡強化・組織的対応

② 教育相談の充実

- ア 教育相談体制を確立する。
  - スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置と活用
- イ 教育相談の知識や技能を高めるための教職員研修を実施する。
  - 生徒指導研修会の開催（外部講師の招聘）

③ 情報モラル教育の充実

- ア 有害情報へのアクセス等による犯罪の実態と被害防止の指導を強化する。
  - SNS モラル授業の実施
  - PTA と連携した SNS モラルに関する研修や啓発活動の実施

#### (4) 特別支援教育の充実

- ① 就学指導の改善に努め、特別な支援を必要とする児童生徒の支援体制の整備・充実
  - ア 特別支援学級や新設する巡回型通級指導教室の教育活動の充実に努める。
    - 支援を必要とする児童生徒の情報共有（個別の支援計画の作成等）と支援体制の確立
    - 校内就学指導委員会の活性化と適正な就学指導
    - 各種セミナーや教室等を活用した保護者への啓発活動
  - イ 教育的ニーズに応える研修会を計画的に実施し、指導力の向上を図る。
    - 特別支援教育支援員の研修会を実施（年3回以上）
    - 教職員の理解を深めるための講演会や研修会の設定

## 2 心の教育の充実

### (1) 特別の教科「道徳」の充実

- ① 道徳的価値を自分の事として理解し、多面的・多角的に深く考えたり、議論したりする道徳教育の充実
  - ア 道徳の時間における多様な展開を工夫する。
    - 道徳教育推進教師を中心とし、アクティブに課題を追究する授業づくり
    - 特別の教科「道徳」実施にしたいがい、認め励ます評価と文章表記の工夫
  - イ 意図的・計画的な道徳的実践力を高める場の設定をする。
    - 毎時の道徳授業のポートフォリオ化（道徳ノート等）

### (2) 読書活動の推進

- ① 豊かな心を育む読書活動の充実
  - ア 「家読（うちどく）」を中心とした読書活動の充実に努める。
    - 「読書活動推進計画」に基づく読書活動の積極的な推進（読書調査の実施）
    - 図書ネットワークの活用推進
    - 保護者との連携・協力による「家読」の推進 ※毎月23日「家読の日」
    - 学校図書館と「遊学館よも～よ」の連携による読書活動の推進
    - 学校司書の配置と活用（各小学校の月1回の訪問実施）
    - ボランティアによる「よみきかせ」や学校図書館の整備による読書環境の充実

### (3) ふるさと学習の推進

- ① 郷土愛をはぐくむ
  - ア 郷土学習を推進し、ふるさとに愛着をもつ機会の拡充に努める。
    - ふるさとの自然、文化や歴史等について「知る」、「学ぶ」学習機会の設定
    - 旧伊達郡役所、種徳美術館、西山城趾、西根堰、半田銀山等の見学学習の推進
  - イ 体験活動、ボランティア活動を充実させ、郷土を愛する心、命の尊さ、社会性や規範意識などの「豊かな心」の育成

## ② 心を揺さぶる学習・体験

ア 自らが考え、実践できるボランティア活動や体験活動等の奨励と推進を図る。

- 総合的な学習の時間や土曜学習等でのボランティアや体験活動の実施
- 職場体験などのキャリア教育の充実
- 鑑賞教室の実施

イ 各教科、総合的な学習の時間や道徳、特別活動、食育、土曜学習等における地域人材の活用や地域素材の教材化を図る。

- 地域人材バンクの効果的な活用
- 地域素材の教材化（ふるさと学習や道徳資料等）

## 3 各種教育課題への取組

### （1）新学習指導要領の移行に伴う英語教育の充実

① 指導体制を整備し、英語指導助手(ALT)・英語指導協力員の活用を図る。

- 英語指導協力員を活用しての外国語活動略案（毎時）の作成
- 幼・小・中を通じた英語指導助手（ALT）の活用

② 小学校教員の英語指導力の向上をめざして研修会を行う。

- 小学校のクラスルームイングリッシュを広めるために研修会の開催
- デジタル新教材使用のための研修会の開催

### （2）安全教育の充実

① 身の回りの危険を予測し、自ら回避する能力や態度を育成する。

- 危険箇所の確認や情報提供

② 系統的な安全学習と組織的な安全指導に努める。

- 防災教育の基礎となる基本的な知識に関する指導の充実
- リスクに対して健康な生活を送るための放射線教育内容の開発と推進
- 学校環境の適切な安全管理
- 防災マニュアルの見直しと関係機関との連携

### （3）環境教育の充実

① 低炭素・循環型社会に対応した環境教育を推進する。

- 学校における廃棄物の減量化やリサイクル、再生エネルギーに関する学習の推進
- 生活の中でよりよい環境をつくろうとする意欲の喚起と実践指導の充実
- ふくしま議定書の参加奨励

#### (4) 国際理解・平和学習の充実

- ① 外国語活動・英語教育を核に国際理解教育の充実を図る。
  - 学校や地域の実態に応じた指導計画の改善
  - 英国指導助手、英語指導協力員の効果的な活用
- ② 異なる文化や価値観を理解し、尊重する態度を育成するとともに平和への意識を高める。
  - 被爆地（今年度は広島、次年度は長崎）への代表児童派遣と各校における平和学習の充実
  - 姉妹都市との交流

#### 4 教育施設の整備

##### (1) 良好な教育施設の整備

- ① 教育施設の充実を図る。
  - 学校教育施設の維持管理と今後の点検・整備のあり方についての検討
  - 廃止した学校プールの取扱いの検討

#### 5 学校教育にかかる経済的支援

##### (1) 子育て世帯への学校教育にかかる経済的支援の強化

- ① 子育て世帯に対応した経済的支援事業の推進に努める。
  - 奨学資金制度の利用促進と充実の検討
  - 児童生徒への就学援助支給による経済的負担の軽減
  - 入学児童生徒への入学祝い品（制服）支援事業の実施

## 生涯学習の重点

- 今日的課題や多様な町民ニーズの的確な把握に努める。
- 町民が生涯にわたって学習のできる機会の創出や情報の提供に努める。

### I 生きがいと自己実現をめざす生涯学習の推進

#### 1 生涯学習の推進

(1) 生涯学習推進体制の充実を図る。

- 「生涯学習推進基本計画」(第2次)に基づく推進体制の確立。

(2) いつでも、どこでもだれでもが学び合える生涯学習社会の実現のため、情報の提供と町民ニーズに対応する事業を行う。

- ICT講習会、持ち込み講座の開催支援、女性講座の開催支援

#### 2 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供と内容の充実

(1) 乳幼児期から高齢期までの各ライフステージに応じて、求められる知識や技能を適切に提供することができるよう内容の充実を図り、創造的で活力のある活動の展開に努める。

- 姉妹都市交流事業
- こおりキッズスクール、こおり友遊くらぶ、かやのき学園
- 世代間交流事業、若者の活動の場の創出

#### 3 社会教育団体の活動奨励

(1) 家庭、学校、地域及び社会教育団体との連携を図るとともに、自主的学習を推進するサークル等の活動を奨励・支援する。

- 桑折町青少年育成町民会議事業の実施
- 親子教室の開催支援

#### 4 青少年体験活動の積極的推進

(1) 地域の教育力の活用を図り、青少年の体験活動・ボランティア活動を積極的に推進する。

- 体験活動・ボランティア活動支援センター事業の充実
- 学校支援地域本部事業の充実
- こおり地域クラブの充実

(2) 町の将来を担う青少年に、健全成長と郷土愛をはぐくむために通過儀礼として以下の事業を実施する。

- 中学2年生を対象に、将来への志を高める「立志式」
- 成人を祝い、大人としての自覚を促す「成人式」

#### 5 心を豊かにする読書活動の充実

- (1) 遊学館「よも～よ」の読書環境・学習環境の充実を図り、親しまれる運営に努める。
- 桑折町読書活動推進計画に基づく学校図書室との連携、図書ネットワークの推進
- (2) 町民への図書の紹介や幼・小・中学校との連携を図り、図書の有効活用・読書活動の充実に努める。
- ブックスタート事業の実施
  - ファミリー文庫おはなしの会の実施

## 6 芸術・文化団体活動の奨励・支援

- (1) 町民の自主的な芸術文化活動を奨励・支援するとともに、活動成果発表や鑑賞機会としての総合文化祭の充実に努める。
- 文化講演会の開催
  - 高齢者作品展の実施
  - 文化団体連絡協議会活動支援

## 7 社会教育施設の効率的・効果的な管理運営に努める。

- 地域に根ざした地区公民館運営管理体制づくり
- 各施設の利用環境の向上、効果的利活用と安全維持管理

## II 健康づくりをめざす社会体育・生涯スポーツの振興

### 1 社会体育事業の推進

- (1) 身近な体育・スポーツ活動を通して、生涯にわたって健康の保持増進と生きがいに努める。
- 各種スポーツ大会の開催や健康づくり教室等の実施
- (2) 総合型地域スポーツクラブや体育協会の自主的活動を奨励するとともに、各種事業での連携を深進め、生涯スポーツの振興に努める。
- 町民体育祭及び各種スポーツ大会の開催と加盟団体主催大会の支援
  - スポーツ関係団体間の連携強化による活性化の支援

### 2 社会体育施設の効率的・効果的な管理運営に努める。

- (1) 「イコーゼ！」(屋内温水プール・多目的スタジオ)の安定的かつ効率的な利活用に努める。
- 水泳授業の実施, 桑折町小学校水泳大会の開催
  - 各種水泳教室の実施
  - 夏季休業中におけるPTAとの連携したプール解放の実施
  - 屋内遊び場の活用コンテンツの提供
- (2) 社会体育施設及び周辺施設の、整備・安全維持管理に努める。
- 体育施設群活用促進のための充実策の検討
  - 各施設の利用環境の向上、効果的利活用と安全維持管理

### Ⅲ 文化財の保護活用

- 「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づく歴史資源を活かしたまちづくりの推進を図る。
- 桑折西山城跡整備の推進を図る。
- 文化財やその他の歴史文化遺産、民俗芸能の調査、保存、継承に努める。

#### 1 「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づく文化財の保護・調査・活用の推進

- (1) 「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財や歴史的遺産の保存と活用を図るとともに、歴史的風致の概念に合致しない歴史的文化遺産、民族芸能については同計画と連携しながら調査保存・継承に取り組む。
- (2) 文化財や補修の必要な文化財の復旧に努めるとともに、文化財の調査成果の公表と未指定文化財の指定と保存を図り、文化財保護精神の継承と郷土の歴史的文化的継承の普及啓発に努める。

#### 2 史跡西山城跡保存整備事業の推進

- (1) 「史跡桑折西山城整備基本計画」「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づき、史跡及びその周辺の整備事業を推進するとともに、適切な保存管理及び公開に努める。

#### 3 旧伊達郡役所・種徳美術館の適切な管理と活用の推進

- (1) 旧伊達郡役所の適切な保存管理と建物の公開・活用に努める。
- (2) 種徳美術館の適切な管理と所蔵品の公開に努める。

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価表

重点施策 … 教育内容の充実、教育施設の充実、学校教育にかかる経済的支援

1 「生きる力」を身につけさせるための生活習慣改善や学力向上の取組

学校教育係

重点施策	(1) 生活習慣改善のために基盤づくり (2) 「確かな学力」の向上を支える基盤づくり (3) 授業の改善・充実 (4) 教職員研修の充実 (5) 教育環境の整備と活用	
重点項目	① 脳科学の研究成果を活用して、学習習慣・生活習慣の確立を図る。 ② 生活改善・充実のための推進会議の開催と充実に努める。 ③ 「読み・書き・計算の徹底反復」による集中力や基礎的知識・技能の向上を図る。 ④ 学びの質を高める学習集団を育成する。 ⑤ 児童生徒の学習を支援する「桑折学習塾」を定期的で開催する。 ⑥ ふくしまの「学びのスタンダード」に基づく授業改善と充実に努める。 ⑦ 学力の実態把握と分析、対策の立案と実践に努める。 ⑧ 幼稚園、小学校と中学校との連携による授業研究の充実に努める。 ⑨ 教員の専門性を高める教職員研修の充実に努める。 ⑩ 学習指導要領についての研修を深め、趣旨を踏まえた教育内容の検討、教育方法の明確化と授業改善に努める。 ⑪ 教育機器の効果的な活用に努める。 ⑫ 教育目標の実現、教職員の多忙化解消のために行事等検討委員会を設置する。	
主な具体的活動	□ 『元気な脳が君たちの未来を拓く』を活用し生活改善を図る特別授業の実施 □ 「学びのスタンダード」事務局による事業推進会議の企画・運営 □ 「読み・書き・計算の徹底反復」の計画的な実施と充実のための研修会の開催 □ 桑折町の「学びのスタンダード」を基本とした学習スタイルの確立と徹底 □ Q-U 検査における「学力とのクロス集計」結果の活用 □ 桑折学習塾の実施（小学生…国語・算数 / 中学生…英語・数学） □ 1校1指定公開授業研究会の充実（内一つは、秋田大学院 阿部教授の指導） □ 授業力の向上を図る校内授業研究会の充実（外部講師の招聘） □ 全国学調や町独自の学力検査（NRT等）の結果分析と活用 □ 研修主任等による授業改善・充実にめざす推進協議委員会の開催 □ 「授業改善・充実の視点」に基づく事前・事後授業研究会の実施 □ 計画的・継続的な実効性のある校内研修の推進、並びに各種研修会の活用 □ 教員の資質・能力の向上を図る園・小・中の連携による授業研究会の実施 □ 秋田の探究型授業学ぶための視察とその成果の共有・活用 □ 教員の得意分野を活かし、相互に認め合い高め合う校内研修への支援 □ 電子黒板、デジタル教科書等 ICT を活用した学習活動の推進 □ 桑折町行事等検討委員会における町行事や学校行事等の教育活動の精選審議	
成果・評価	○ 県教委の施策「学びのスタンダード」推進事業を活用し、各校の授業改善に取り組んできた。1校1指定公開授業を始めとする、のべ34回の授業研究会等を行い、各校の研究結果の共有化と授業の充実が図られてきつつある。 ○ 「読み・書き・計算の徹底反復」の継続的実践により、子どもの集中力と基礎学力の定着が図られるようになってきた。しかし、マナー化がやや見られ、目的の明確な把握や方法、時間の確保等の工夫・改善が生じている。 ○ 「家読」等の読書習慣を中心とする生活習慣の改善や家庭学習習慣の確立に関しても改善傾向が見られるが、まだまだ個人差が大きい。	
改善・充実策	○ 外部講師の招聘や視察研修、校内授業研究会を継続して支援するなどして研究授業の持ち方を工夫させ、より授業者に寄り添い個々の授業力向上を図る形に改善したい。また、授業改善は阿部教授、生活習慣改善は川島教授の理論を基に取り組み、モデル授業や特別授業にも取り組みたい。 ○ 中学校にいたる学校司書を、小学校にも巡回訪問できるようにしたが、訪問回数を増やし学校図書整理・充実に努めて活用しやすい図書室にしたい。 ○ 次年度は学校の ICT を更新する予定であり、有効活用のための講習会を開く。 ○ 「行事等検討委員会」の提言を受け、総合的に見直して多忙化解消や働き方改革を図ることで、個別指導等の子ども向き合う時間の確保に努めたい。	
第三者評価委員評価	B	A 大変よい    B 良い    C やや悪い    D 悪い
教育委員評価	B	
担当者自己評価	B	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価表

重点施策 … 教育内容の充実、教育施設の充実、学校教育にかかる経済的支援

2 「生きる力」を身につけさせるための健康教育の充実と体力向上の取組

学校教育係

重点施策	(1) 生涯にわたり健康を支える体力づくり (2) 健康に関する理解を深め、自らの健康を適切に管理・改善していく資質や能力を育成 (3) 安全・安心な学校給食の提供 (4) 学校給食を活用した「食育」の充実	
重点項目	① 運動身体づくりプログラムの継続的な実践に取り組む ② 「体力向上1校(学級)1実践」の実践に取り組む ③ 桑折町「子どもの体力向上プラン」にそった体力づくりに努める ④ 自己の健康課題を把握し、解決していく学習を推進する ⑤ 家庭との連携による健康管理体制と基本的な生活習慣を確立する ⑥ 食材及び食品のモニタリングと公表を実施する ⑦ 講演会等で、健康維持増進のための食品摂取をめざした情報を提供する ⑧ 栄養士を中心とした「食育」を推進する	
主な具体的活動	□ 体育主任による「桑折町体力向上委員会」の開催と体育授業研究会の実施 □ 業間運動や昼休み時間の活用(長距離走の奨励等)、部活動の充実 □ 新体力テスト結果分析と対策のための諸取組の充実 □ 自らの健康を把握する体育の授業や安全・健康リスクへの対応を身につけさせる放射線教育・防災教育を扱う学級活動等での充実 □ 「家庭生活習慣のポイント」や「桑折町の15歳がめざす姿」の段階的スタンダードの活用による指導充実 □ 食のモニタリングの結果を町広報や「献立表」「給食便り」等での広報 □ 食の安全・安心をめざし、PTA活動と連動した講演会等の実施 □ 「食育授業」の意図的・継続的な実施	
成果・評価	○ 新体力テスト、全国体力・運動能力等調査の結果によると、児童生徒の体力や運動能力は、全国や県に比べて上回り改善傾向が見られる。また、肥満や肥満傾向の児童生徒の出現数も、中学2年女子以外は昨年までに比べて減少傾向が見られる。しかし、1週間当たりの運動総時間が、小5女子以外は全国平均を下回っている。 ○ 運動身体づくりプログラムを取り入れた毎時の授業は定着してきたが、プログラムの一部分だけを取り入れた授業がまだ見られる。 ○ 体力向上1校1実践は各校で定着しており、体力や走力の向上に役立っている。 ○ 生活習慣のアンケート調査によると、朝食や睡眠時間等の基本的な生活習慣はほぼ身に付いてきている。更に自律的な生活態度の育成をめざしたい。 ○ 給食センターの栄養技師を招いた食育授業やバイキング給食やテーブルマナー・リクエスト給食等を通し児童生徒の給食への関心を高めたが、保護者対象の食育講演会等は開催できなかった。	
改善・充実策	○ 体育の授業では、指示・説明・発問等をなるべく簡略化して、多くの運動量を保障することにより、児童・生徒の体力や運動能力の更なる向上を図りたい。 ○ 自力登校等の子ども達の生活運動時間の不足が話題になっている。調査でも自分の体力に自信がない児童・生徒も少なからずいるので、自力での登・下校することを保護者に呼びかけるなど実態と課題を繰り返し伝えていくとともに、担当者だけでなく地域と共に学校全体で、望ましい運動習慣の確立・運動時間の確保に向けて取組を強化したい。 ○ 食育に関しては、子どもが自ら意識することと保護者への啓発が重要である。食に関する講演会等を企画して、親子で取り組む食育、望ましい食生活習慣の確立へと結び付けたい。 ○ 来年度も、体育の授業研究会よりも専門講師を招聘して、走力や柔軟性、調整力などの競技種目に適応した指導法研修会を開催して、教師の種目ごとの指導力の向上を図りたい。	
第三者評価委員評価	B	A 大変よい      B 良い      C やや悪い      D 悪い
教育委員評価	B	
担当者自己評価	B	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価表

重点施策…教育内容の充実、教育施設の充実、学校教育にかかる経済的支援

3 「生きる力」を身につけさせるための生徒指導の取組

学校教育係

重点施策	(1) 学校の教育活動全体に生徒指導の機能を活かし、不登校やいじめのない明るく生き生きとした学校生活の実現 (2) 教育相談の充実 (3) 情報モラル指導の充実	
重点項目	① 自己指導力を育み、自己肯定感を醸成する生徒指導体制を確立する。 ② 互いに認め合う、思いやりのある学級集団づくりを行う。 ③ 児童生徒と教職員、児童生徒相互の信頼関係や温かい人間関係を醸成する。 ④ 幼稚園を含め、小中学校のきめ細やかな情報連携・行動連携を一層推進する。 ⑤ 児童生徒理解を基盤とした問題行動の未然防止と迅速な対応を図る。 ⑥ いじめ防止基本方針に基づきいじめ防止等の対策を推進する ⑦ 教育相談体制を確立する。 ⑧ 教育相談の知識や技能を高めるための教職員研修を実施する ⑨ 有害情報へのアクセス等による犯罪の実態と被害防止の指導を強化する	
主な具体的活動	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 桑折町生徒指導員会の定期的な開催と充実</li> <li><input type="checkbox"/> Hyper-QU 検査の実施と活用</li> <li><input type="checkbox"/> 町校長会の不登校対策会議と桑折町生徒指導員会の連携した取組</li> <li><input type="checkbox"/> 体験活動の充実や構成的グループ・エンカウンター等のグループ・アプローチの実施</li> <li><input type="checkbox"/> 園長・校長会議と桑折町生徒指導委員会の連携した取組</li> <li><input type="checkbox"/> 不登校対策会議を中心とし、情報の共有化と諸取組の充実</li> <li><input type="checkbox"/> いじめ防止年間計画の見直しといじめ防止発見チェックリストの活用</li> <li><input type="checkbox"/> いじめ問題対策連絡協議会等による連絡強化と組織的対応</li> <li><input type="checkbox"/> スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置と活用</li> <li><input type="checkbox"/> 生徒指導研修会の開催（外部講師の招聘）</li> <li><input type="checkbox"/> SNS モラル授業の実施</li> <li><input type="checkbox"/> PTA と連携した SNS モラルに関する研修や啓発運動の実施</li> </ul>	
成果・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ QU を2回実施して、学級の変容を把握して学級づくりや生徒指導に役立てた。また、町不登校対策会議を年度初めに実施して小中連携のもとに不登校生徒の減少に努めたが、不登校児童・生徒の出現数は昨年度より増加した。</li> <li>○ QU の結果分析とその結果活用については、各校で工夫して取り組み、特に三次支援者(個別の支援や補助が必要とされる)に特別教育支援員をあてるなど、個別の支援・援助が進んだ。</li> <li>○ 町の SC や SSW を加えて各校で「いじめ対策委員会」を開催し、いじめの発生防止に努めた結果、いじめを未然に防ぎ、重大事案は無かった。</li> <li>○ 各校の「校内いじめ防止基本方針」の広報 (HP 等) が進んだ。</li> </ul>	
改善・充実策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ QU や諸アンケート調査から、生徒個々の実態を明らかにして個別相談の充実を図りたい。また、生徒指導の諸会議において、現状報告だけでなく各校の諸課題の解決に役立つよう、会議のあり方を工夫したい。</li> <li>○ 各校の「いじめの定義」を見直し、社会通念上のいじめ(重大事案)だけでなく、いじめ防止法上の定義に従って子どもの行動を見取り、重大いじめの未然防止に努めたい。</li> <li>○ 生徒指導上の問題を解決するだけの消極的な生徒指導ではなく、積極的な生徒指導に努め、開発型の教育相談を通して望ましい人間関係の醸成を図りたい。</li> </ul>	
第三者評価委員評価	B	A 大変よい      B 良い      C やや悪い      D 悪い
教育委員評価	B	
担当者自己評価	B	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価表

重点施策…教育内容の充実、教育施設の充実、学校教育にかかる経済的支援

4 「生きる力」を身につけさせていくための特別支援教育の取組

学校教育係

重点施策	就学指導の改善に努め、特別な支援を必要とする児童生徒への支援体制の整備・充実	
重点項目	① 特別支援学級や新設する巡回型通級教室の教育活動の充実に努める。 ② 教育的ニーズに応える研修会を計画的に実施し、指導力の向上を図る	
主な具体的活動	<input type="checkbox"/> 支援を必要とする児童生徒への支援体制の確立 <input type="checkbox"/> 校内就学指導委員会の活性化と適正な就学指導 <input type="checkbox"/> 各種セミナーや講演会、教室等を活用した保護者への啓発活動 <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員の研修会の実施（年3回） <input type="checkbox"/> 教職員の理解を深めるための講演会や研修会の実施	
成果・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 就学指導では、校内の就学指導関係事務が進む前に町就学指導担当者会を開催し早期相談に努めた。</li> <li>○ 指導主事が、該当園児・児童・生徒を直接見取る機会を設け、就学指導審議会に、その結果を報告することで個々の審議が円滑に進んだ。</li> <li>○ 普通学級に在籍している ADHD をはじめ特別な支援を必要とする児童の把握をもとに、今年度巡回型の「通級指導教室」を開設することができた。また、担当教員の指導が効果的に行えるよう、校内の支援体制及び担当教員をの研修機会を確保した。</li> <li>○ 特別支援教育支援員の研修会を、幼稚園の支援・補助員と合同で2回開くことができ、主に低学年の児童への支援・援助の仕方について共通理解を図った。しかし、支援員個々の支援スキルや子ども理解の度合いに差が見られた。</li> <li>○ 一般教員に対する研修は各学校任せであり、教員の理解の差も見られた。</li> </ul>	
改善・充実策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ADHD 通級指導教室については、県内でも数少ない巡回型であり、施設設備をはじめ指導内容・方法を含めて改善し続けて、その効果がさらに上がるように環境整備と指導力の向上、保護者への啓発等を一層図りたい。また、引き続き主に午前中に通級教室での指導を行い、午後からは各校の学級担任等との情報交換や指導内容の検討等に充てたい。</li> <li>○ 特別支援教育支援員の研修の仕方を工夫し、一人ひとりの子どものニーズに合う支援方法を身につけさせるべく、専門家による個別研修や演習、ワークショップ等を多く設定したい。</li> <li>○ 支援を要する子どももそうでない子どもも共に伸びる授業・学級づくりができるよう、ユニバーサル・デザインに基づく授業について研修する機会を設定したい。</li> <li>○ 普通学級に在籍している、特別な支援が必要とされる子どもに対する、個別の支援計画及び指導計画の作成を働きかけたい。</li> <li>○ 各家庭・保護者への啓発活動の充実に努めたい。</li> </ul>	
第三者評価委員評価	A	A 大変よい      B 良い      C やや悪い      D 悪い
教育委員評価	A	
担当者自己評価	A	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価表

重点施策…教育内容の充実、教育施設の充実、学校教育にかかる経済的支援

5 心の教育や心を揺さぶる学習・体験(ふるさと学習等)の取組

学校教育係

重点施策	(1) 道徳的価値を自分の事として理解し、多面的・多角的に深く考えたり、議論したりする道徳教育の充実 (2) 豊かな心をはぐむく読書活動の充実 (3) 郷土愛をはぐくむふるさと学習の充実 (4) 心を揺さぶる学習・体験	
重点項目	① 道徳の時間における多様な展開を工夫する ② 意図的・計画的な道徳的実践力を高める場を設定する ③ 「家読(うちどく)」を中心とした読書活動の充実を図る。 ④ 郷土学習を推進し、ふるさとに愛着を持つ機会の拡充に努める。 ⑤ 体験活動、ボランティア活動を充実させ、郷土を愛する心、命の尊さ、社会性や規範意識などの「豊かな心」の育成を図る。 ⑥ 自ら考え、実践できるボランティア活動や体験活動等の奨励と推進を図る。 ⑦ 各教科、総合的な時間や道徳、特別活動、食育、土曜学習等における地域人材の活用や地域素材の教材化を図る。	
主な具体的活動	□ 道徳的教育推進教師を中心とし、アクティブに課題を追究する授業づくり □ 特別の教科「道徳」実施に伴う、認め励ます評価と文章表記の工夫 □ 毎時の道徳授業のポートフォリオ化(道徳ノート等) □ 「読書活動推進計画」に基づく読書活動の積極的な推進(読書調査の実施) □ 図書ネットワークの推進と活用 □ 学校司書の配置と活用(各小学校の月1回の訪問実施) □ 保護者との連携・協力による「うちどく」の推進(※毎月23日「家読の日」) □ 学校図書と「遊学館よも～よ」の連携による読書活動の推進 □ ボランティアによる「よみきかせ」や学校図書の整備による読書環境の充実 □ ふるさとの自然、文化や歴史等について「知る」「学ぶ」学習機会の設定 □ 旧郡役所、種徳美術館、西山城址、西根堰、半田銀山等の見学学習の推進 □ 総合的学習の時間や土曜学習等でのボランティア活動や体験活動の実施 □ 職場体験などのキャリア教育の充実 □ 鑑賞教室の実施 □ 地域人材バンクの効果的な活用 □ 地域素材の教材化(ふるさと学習や道徳資料等)	
成果・評価	○ 本年度から小学校で、特別な教科道徳となり、「アクティブな道徳」の授業をめざして取り組んでいる。しかし、依然として読み取り中心の道徳的価値優先の授業も見受けられる。 ○ 評価のために、道徳ノートや毎時の授業をポートフォリオ化して子どもの変容を的確に見取る等、評価方法の改善が必要であるケースも見られる。 ○ 中学校では、来年度道徳が教科となるので、外部講師を招聘し研修会を開いて趣旨の理解を深めたので、来年度の道徳授業改善を期待したい。 ○ 小学校は、体験活動やボランティア活動によく取り組み、豊かな心や郷土愛を養っている。中学校は、職業調べや職場体験等のキャリア教育を中心に「桑折町のめざす15歳の姿」の実現を図ろうとしている。	
改善・充実策	○ 体験活動やボランティア活動、職場体験等の諸体験を授業や学校生活に結び付け、幼小中の連携の下に「キャリア教育」の視点から体験内容を見直して、「桑折町のめざす15歳の姿」の実現を図りたい。 ○ 来年度からは、小中とも道徳が教科になり評価が加わるので、評価の仕方を念頭に置き、授業研究会等を通して授業改善を図るとともに、中学校も個人の記録を残し、適切な評価につながるよう授業の転換を図る。 ○ 町ボランティア支援センターと各校との連携の下、地域人材や素材と子どもたちの交流や活用をさらに強化し、地域で学び・地域で育つこどもの育成を図りたい。	
第三者評価委員評価	B	A 大変よい    B 良い    C やや悪い    D 悪い
教育委員評価	B	
担当者自己評価	B	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価表

重点施策…教育内容の充実、教育施設の充実、学校教育にかかる経済的支援

6 各種教育課題への取組

学校教育係

重点施策	(1) 新学習指導要領の移行に伴う英語教育の充実 (2) 安全教育の充実 (3) 環境教育の充実 (4) 国際理解・平和教育の充実	
重点項目	① 指導体制を整備し、英語指導助手(ALT)・英語指導協力員の活用を図る。 ② 小学校教員の英語指導力の向上をめざして研修会を行う。 ③ 身の回りの危険を予測し、自ら回避する能力や態度を育成する。 ④ 系統的な安全学習と組織的な安全指導に努める ⑤ 低炭素・循環型社会に対応した環境教育を推進する ⑥ 外国語活動・英語教育を核にした国際理解教育の充実を図る ⑦ 異なる文化や価値観を理解し、尊重する態度を育成するとともに平和への意識を高める。	
主な具体的活動	<input type="checkbox"/> 英語指導協力員を活用しての外国語活動略案(毎時)の作成 <input type="checkbox"/> 幼・小・中を通じた英語指導助手(ALT)の活用 <input type="checkbox"/> 小学校のクラスルームイングリッシュを広めるために研修会の開催 <input type="checkbox"/> デジタル新教材使用のための研修会の開催 <input type="checkbox"/> 危険箇所の確認や情報提供 <input type="checkbox"/> 防災教育の基礎となる基本的な知識に関する指導の充実 <input type="checkbox"/> リスクに対して健康的な生活を送るための放射線教育内容の開発と推進 <input type="checkbox"/> 学校環境の適切な安全管理 <input type="checkbox"/> 防災マニュアルの見直しと関係機関との連携 <input type="checkbox"/> 学校における廃棄物の減量化やリサイクル、再生エネルギーに関する学習の推進 <input type="checkbox"/> 生活の中で、よりよい環境をつくろうとする意欲の喚起と実践指導の充実 <input type="checkbox"/> ふくしま議定書の参加奨励 <input type="checkbox"/> 学校や地域の実態に応じた国際理解指導計画の改善 <input type="checkbox"/> ALTや英語指導協力員の活用 <input type="checkbox"/> 被爆地への児童代表派遣と各校における平和教育の充実 <input type="checkbox"/> 姉妹都市との交流	
成果・評価	○ 小学校の外国語教科化への対応については、統一された指導計画の下に英語指導協力員がT2となり、個々の学級担任(T1)の英語指導力の向上を図ってきた。担任と協力員との授業に関する打合せの時間がなかなか確保できないとの課題も見られたが、日々の授業が先生方の研修の場ともなり、先生方の技量は高まりつつある。 ○ 防災教育や放射線教育については、地域性を生かした防災マニュアルの見直しが進んだが、指導を工夫しいざ災害が起きたときに身を守る術を徹底したい。 ○ 地域の外部講師を活用してのふるさと学習や体験活動、また被爆地への児童派遣(平和教育の一環)は、計画どおりに展開できた。	
改善・充実策	○ 来年度は、県の外国語教育推進リーダーが派遣される予定であり、小学5・6年の外国語(英語)の授業を年間42時間ずつ行う計画である。英語指導協力員も2人体制として、平成32年度から完全実施となる教科の英語に対応したい。教員の更なる英語指導力の向上をめざしたい。 ○ 平和教育は、研修成果の発表会だけでなく、例えば学習発表会で劇を上演するなど、派遣児童の思いや願いを具現化したものを各校で工夫したい。 ○ 国際理解は、ALTを英語教育のみの活用でなく、子どもたちがALTの祖国の文化や生活、日本との違い等を知る機会として総合的な学習の時間などで活用を図りたい。 ○ 環境教育においては、中学校で理科や保健体育の教科で、3R(Reduce, Reuse, Recycle)や再生エネルギーについて重点的に学習しているが、さらに工夫し、それを教科横断的な取組として効果的に指導したい。	
第三者評価委員評価	B	A 大変よい    B 良い    C やや悪い    D 悪い
教育委員評価	B	
担当者自己評価	B	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価表  
重点施策…教育内容の充実、教育施設の充実、学校教育にかかる経済的支援  
7 教育施設の整備

こども教育課

重点施策	(1) 良好な教育施設の整備	
重点項目	① 教育施設の充実を図る	
具体的な活動	<input type="checkbox"/> 学校教育施設の維持管理と今後の点検・整備のあり方についての検討 <input type="checkbox"/> 廃止した学校プールの取扱いの検討	
成果・評価	<input type="checkbox"/> 各校の維持管理について、当初予定していた工事や修繕を計画的に実施し、加えて、年度中に新たに必要となった修繕についても終わることができた。 <input type="checkbox"/> 学校のICT環境整備について、31年度に機器の更新を行うよう予算を確保することができた。 <input type="checkbox"/> 学校プール敷地の活用方法について、継続して協議していく。	
改善・充実策	<input type="checkbox"/> 今後の整備のあり方については、今後策定する長寿命化計画により、計画的に大規模改修等を検討したい。 <input type="checkbox"/> 学校のICT環境整備について、国の方針と乖離しないよう、引き続き整備台数の確保を計画的に進めたい。	
第三者評価委員評価	B	A 大変よい    B 良い    C やや悪い    D 悪い
教育委員評価	B	
担当者自己評価	B	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価表  
重点施策…教育内容の充実、教育施設の充実、学校教育にかかる経済的支援  
8 学校教育にかかる経済的支援

こども教育課

重点施策	(1) 子育て世帯への学校教育にかかる経済的支援の強化	
重点項目	① 子育て世帯に対応した経済的支援事業の推進に努める	
具体的な活動	<input type="checkbox"/> 奨学資金制度の利用促進と充実の検討 <input type="checkbox"/> 児童生徒への就学援助支給による経済的負担の軽減 <input type="checkbox"/> 入学児童生徒への入学祝い品（制服）支援事業の実施	
成果・評価	<input type="checkbox"/> 奨学資金制度について、各高校へ募集要項の配付を行い、周知をはかった。30年度は、入学支度金の貸与時期を早めるために審査会を2月に実施し、利用しやすい制度となるよう見直しを行った。 <input type="checkbox"/> 就学援助支給により保護者の経済的負担の軽減をはかった。また、支給方法について口座振替を選択可能とし、学校と保護者の手間を軽減することができた。 <input type="checkbox"/> 入学祝い品の制服贈呈について、業者の協力のもと円滑に実施できた。	
改善・充実策	<input type="checkbox"/> 奨学資金制度について、引き続き制度の周知に努めたい。また、利用しやすい制度となるよう、情報収集を行っていく。 <input type="checkbox"/> 就学援助が必要な世帯の申請漏れがないよう、制度の周知を引続き実施する。 <input type="checkbox"/> 制服贈呈を転入者にも拡充し、経済負担軽減の軽減にさらに努める。	
第三者評価委員評価	A	A 大変よい    B 良い    C やや悪い    D 悪い
教育委員評価	A	
担当者自己評価	B	

重点施策…乳幼児保育の充実、幼稚園教育の充実、幼児教育にかかる経済的支援

1 乳幼児保育・教育の充実

こども教育課

<p>重点施策</p>	<p>(1) 乳幼児が安全安心に保育・教育を受けるための環境の整備と安全指導の充実に努める。</p> <p>(2) 心豊かにたくましく生きる子どもたちを育成するため、知・徳・体バランスの取れた質の高い教育を推進する。</p> <p>(3) 特別な支援を必要とする乳幼児の支援体制の確立と指導力の向上に努める。</p> <p>(4) 異校種の教育内容や指導の在り方について共通理解を図り、円滑な接続を意図した保育・教育を推進する。</p> <p>(5) 家庭や地域社会との連携を図る。</p>
<p>重点項目</p>	<p>① 発達に即した環境の整備と施設・設備の点検を実施する。</p> <p>② 防災体制の確立及び日常生活における安全指導の徹底を図る。</p> <p>③ 食品等のモニタリングによる安全安心な給食を提供する。</p> <p>④ 保育所保育計画、幼稚園教育計画により保育・教育の充実を図る。</p> <p>⑤ 心の安定と自己肯定感を育む集団づくりに努める。</p> <p>⑥ 運動遊びを中心とした体を動かす活動の充実を図る。</p> <p>⑦ 読書活動の推進を図る。</p> <p>⑧ 文化や芸術など様々なものに触れ経験する中で豊かな心を育む。</p> <p>⑨ 英語に親しむ活動の充実を図る。</p> <p>⑩ 総合的な指導力、保育力の向上に努める。</p> <p>⑪ 特別な支援を必要とする乳幼児への支援体制を確立する。</p> <p>⑫ 特別な支援を必要とする乳幼児への支援内容の充実を図る。</p> <p>⑬ こども園内の連携・交流を推進する。</p> <p>⑭ 小・中学校との連携・交流を推進する。</p> <p>⑮ 望ましい生活習慣の確立に向けた取り組みを推進する。</p> <p>⑯ 虫歯予防の取り組みを推進する。</p> <p>⑰ 地域の教育力を生かした保育・教育を推進する。</p>
<p>具体的な活動</p>	<p><input type="checkbox"/> 日常的な施設・設備の安全点検の実施</p> <p><input type="checkbox"/> 実効性のある避難訓練等の実施</p> <p><input type="checkbox"/> 立哨指導による交通安全啓発活動の実施</p> <p><input type="checkbox"/> 食品のモニタリングと結果の公表</p> <p><input type="checkbox"/> 新保育所保育指針、新幼稚園教育要領を踏まえた保育所保育計画、幼稚園教育計画の作成</p> <p><input type="checkbox"/> 環境を通しての遊びを中心とした総合的に行う保育・教育活動の実施</p> <p><input type="checkbox"/> 幼児の言動を肯定的に受け止める保育・教育の実施</p> <p><input type="checkbox"/> 自己表出できる友達関係の育成</p> <p><input type="checkbox"/> 体力向上1園（学級）1実践の取組</p> <p><input type="checkbox"/> 外部講師による運動遊び、ダンス教室の実施</p> <p><input type="checkbox"/> 絵本コーナーの充実と活用</p> <p><input type="checkbox"/> 家庭での読み聞かせの推奨</p> <p><input type="checkbox"/> 異文化体験活動の推進</p> <p><input type="checkbox"/> 芸術鑑賞機会の充実</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 音楽に親しむ活動の充実</li> <li><input type="checkbox"/> 飼育、栽培活動の充実</li> <li><input type="checkbox"/> 外部講師による英語で遊ぼうの実施</li> <li><input type="checkbox"/> 一人1回以上の園内保育研究会の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 外部講師を招聘しての研修会の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 先進園への視察研修</li> <li><input type="checkbox"/> 小学校と連携した保育研究会の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 経営自己評価や指導の自己評価、保護者からの園（所）評価の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 学校評議員会の開催</li> <li><input type="checkbox"/> 保育補助・支援員の配置</li> <li><input type="checkbox"/> 園内委員会の定期的な開催</li> <li><input type="checkbox"/> 関係機関との連携強化</li> <li><input type="checkbox"/> 特別支援教育についての保護者の理解促進</li> <li><input type="checkbox"/> 特別支援教育に関する研修機会の確保</li> <li><input type="checkbox"/> こども園保育研究会の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 所児と園児の交流活動の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 小・中学校の授業研究会への参加</li> <li><input type="checkbox"/> 園児と小学生の交流活動の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 職場体験活動等の受け入れ</li> <li><input type="checkbox"/> 教育講演会の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 「家庭生活習慣のポイント」の推進</li> <li><input type="checkbox"/> フッ化物洗口の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 歯科衛生士による歯磨き指導の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 保護者の園行事等への参加</li> <li><input type="checkbox"/> 地域資源の積極的な活用</li> </ul>
<p>成果・評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達に即した環境及び施設設備の点検に万全を期したことで、大きな事故、怪我なく過ごすことができた。また火災、地震、不審者に対応できるよう避難訓練や交通事故防止のための交通安全教室を定期的実施し、危機管理体制の構築に努めると共に園児や教職員の意識の高揚を図ることができた。</li> <li>○ 保育所給食のモニタリングを行い、毎日保護者に公表したことで、より安心・安全な給食を提供することができた。</li> <li>○ 教育計画に基づき園の重点目標を意識し系統性を持った指導を行ったことで、一人一人が自分の力を発揮しながら友達と一緒に主体的に遊びを進めようとする姿が見られるようになり、小学校以降の生活や学習の基盤の育成に繋げることができた。</li> <li>○ 個に応じた指導を心掛けることで、一人一人に寄り添い心の安定を図ることができた。また、大きな行事や機会あるごとに頑張ったことや、出来るようになったことを皆の前で認めることで自己肯定感が高まるとともに、友達に対して優しく接することができるようになった。</li> <li>○ 年間を通し『毎日、合計60分以上楽しく体を動かすこと』を意識した運動遊びを取り入れるとともに外部講師を招きストリートダンスやサッカー教室元気っ子体操教室を実施した。そのことにより、肥満傾向の幼児が少なくなり体力面が向上してきた。</li> <li>○ 川島隆太教授に講話内容を『絵本カード』に記載し、保護者に本を読むこ</li> </ul>

	<p>との大切さを意識付けさせた。また、家庭での絵本の読み聞かせのアンケートを保護者に実施し、読書の現状を把握することにより、保護者への指導の効果を上げ、絵本を読まない家庭の減少に繋がった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ファミリーコンサートやシルエット劇、人形劇、手品などを鑑賞し、綺麗な物や感動するものに多く触れさせるようにした。特に今年度のファミリーコンサートは『和太鼓演奏』を通して、日本の伝統文化に触れ大きな感動を与えるとともに、豊かな心や感性を育てることができた。</li> <li>○ 今年度よりALT教諭に加え、ECCジュニアの先生に指導してもらい、年長児を中心に英語に親しむ活動を計画し、ゲームや英語の歌を取り入れ、遊びながら英語を学ぶことができた。</li> <li>○ 総合的な指導力を高めるために外部講師を招き保育研究会や現職教育のテーマに沿った研修会を行うとともに、学年主任や、教務主任との繰り返しの話し合いや、指導案の見直しなどを行なったことが一人一人の保育力向上につながった。</li> <li>○ 特別な支援を要する幼児には、家庭と十分に話し合う機会を持ち、関係機関と繋ぐことで、保護者との信頼関係を保持することができ指導の効果を上げることができた。</li> <li>○ 個別の指導計画を作ったり、職員同士でケース会議を行ったりし、共通理解を図るようにも努めた。また、研修会等にも積極的に参加し理解を深めた。</li> <li>○ こども園内の連携・交流を行うことで、あこがれの気持ちや思いやり、優しい気持ち等が育つように計画し実行することができた。</li> <li>○ 小・中学校との連携・交流を定期的に行うことで、幼稚園で育てていく部分が明確となり、日々の保育の中で意図的に指導する事ができた。</li> <li>○ 家庭及び小中学校と連携し、望ましい生活習慣の確立に向けた取り組みの啓発に努めた。特に昨年度に引き続き川島隆太先生の講話を昨年聞いていなかった年少組・保育所の保護者を中心にご講話いただいたことで、保護者の意識の高揚を図ることができた。</li> <li>○ 今年度より年長組において、フッ化物洗口を毎週1回行っている。虫歯予防集会日に保育参観を行ったこともあり、保護者の意識が高まり虫歯治療率が初めて99%となった。</li> <li>○ 地域の教育力を生かしお話会や演奏会、手品ショー等を経験する事が出来た。様々な経験をすることで得た感動や嬉しさは今後につながる。</li> </ul>	
改善・充実策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年間、乳幼児保育・教育の充実を図るために意図した活動に参加できるように計画したが、時に予定にない行事が急に入ってくる場合もあり、保育の流れを変えてしまうことがあった。乳幼児保育・教育のさらなる充実のために、行事等の見直しを図り精選していく。</li> <li>○ 保護者の意識の差がまだまだ見られる。家庭教育学級等を通して今後も啓発を図っていくが、家庭教育学級にすら参加しない保護者もいる。固くなく興味をもてる演題を考えていく必要がある。</li> <li>○ 3歳児向けの複合遊具がなかったので、次年度に向け充実できるようにする。</li> </ul>	
第三者評価委員評価	B	
教育委員評価	B	A大変良い B良い Cやや悪い D悪い
担当者自己評価	B	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価

重点施策…子ども・子育て支援事業の推進

青少年の健全育成、屋内遊び場を活用した子育て支援の充実

2 子ども・子育て支援事業の推進

こども教育課

重点施策	<p>(1) 多様な子育て家庭に対応した事業の推進に努める。                  (2) 桑折町子ども・子育て支援事業計画を推進する。</p>
重点項目	<p>① 子育て支援事業の充実を図る。                  ② 保護者の就労等へ対応した預かり保育・放課後児童健全育成事業の充実を図る。                  ③ 子育て家庭の経済的支援の推進に努める。                  ④ 子ども・子育て支援事業の総合的かつ計画的な推進に努める。                  ⑤ 分かりやすい子育て情報発信の工夫に努める。</p>
具体的な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 在宅児に対する親子遊び場、交流の場の提供</li> <li><input type="checkbox"/> 『頭のよい子に育てるために今すぐ絶対やるべきこと』(川島隆太 博士著)を活用した家庭の教育力向上</li> <li><input type="checkbox"/> 預かり保育・放課後児童保育支援員打合わせ・研修会の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 放課後児童保育運営体制の確立</li> <li><input type="checkbox"/> 児童館長による放課後児童保育の巡回指導</li> <li><input type="checkbox"/> 幼稚園や小学校との情報の共有化</li> <li><input type="checkbox"/> 長期休業中等を中心とした体験活動の充実</li> <li><input type="checkbox"/> 特別な支援を必要とする園児・児童に対する保育の充実</li> <li><input type="checkbox"/> 幼稚園入園祝い品(制服)支給事業の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 多子世帯の幼稚園授業料の軽減</li> <li><input type="checkbox"/> 在宅児の一時預かり保育及び在園・在宅児の病児・病後児保育利用料助成事業の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 桑折町子ども・子育て会議の開催</li> <li><input type="checkbox"/> 子育て世帯へのニーズ調査の実施</li> <li><input type="checkbox"/> 子育て支援情報誌等の作成及び町ホームページの活用</li> </ul>
成果・評価	<p>○子育て支援センター事業では、季節に応じた行事や保育所・幼稚園と連携した内容を取り入れ、乳幼児や保護者に好評であった。</p> <p>○妊婦全戸訪問の際に川島隆太先生の本を配付し、家庭の教育力向上に努めた。</p> <p>○預かり・放課後児童保育支援員の研修会や随時の指導、児童館長による巡回指導により、運営上の課題や保護者への対応等に早期に対応することができた。また、支援員が研修会等で学んだことを他の支援員に、伝達する機会を設け、支援員全体のスキルアップを図れ、特別に支援を要する園児・児童に対する対応もできたことにより、全園児・児童の保育の充実も図った。</p> <p>○預かり・放課後児童保育では、各施設でさまざまな体験活動を実施し、子どもたちの健全育成につなげることができた。また幼稚園・小学校と連携を密にし、情報の共有化に努め、園児・児童に対する保育の充実も図った。</p> <p>○多子世帯の幼稚園授業料軽減や入園祝い品(制服)支給事業、在宅児の一時預かり保育及び在園・在所児の病児・病後児保育利用助成事業を行い、保護者の経済的負担の軽減を図った。</p> <p>○桑折町子ども・子育て会議及び推進委員会を開催し、委員からの意見を参考にしうえて事業推進に努めた。また11月に子育てに関するニーズ調査を行い、2月に会議を開催しニーズ調査結果について報告を行った。</p>

	○「子育て総合情報誌」及び概要版『子育て応援ガイドブック』を作成し、関係機関等への配布、町ホームページへの掲載を行い、情報発信に努めた。	
改善・充実策	○預かり保育・放課後児童保育運営体制の確立を図り保育の充実に努める。 ○子育てに関するニーズ調査をもとに、第2期桑折町子ども・子育て支援事業計画の策定に努める。	
第三者評価委員評価	A	A大変良い B良い Cやや悪い D悪い
教育委員評価	A	
担当者自己評価	A	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価

重点施策…生涯学習活動の推進、芸術・文化の振興、公民館施設等の充実、多文化交流の促進  
 青少年の健全育成

I 生きがいと自己実現をめざす生涯学習の推進

生涯学習課

重点施策	1 生涯学習の推進 (1) 生涯学習推進体制の充実を図る (2) いつでも、どこでもだれでもが学び合える生涯学習社会の実現のため、情報の提供と町民ニーズに対応する事業を行う。	
重点項目	○ 「生涯学習推進基本計画」(第2次)に基づく推進体制の確立 ○ ICT講習会、持ち込み講座の開催支援、女性講座の開催支援	
具体的な活動	○ 「生涯学習推進基本計画」(第2次)に基づく推進体制の確立 ・半田公民館に地区公民館活動推進員を配置することができ、地区公民館活動の活性化をモデル的に図ることができた。 ・生涯学習のニーズに対応するため、「社会教育主事」講習を職員1名が受講し資格を取得した。 ○ ICT講習会、持ち込み講座の開催支援、女性講座の開催支援 ・パソコン教室(初心者向け・4回コース)やスマートフォン講座を、民間事業者のメニューを活用し開催した。 ・男女共同参画推進事業との共催で、講演会「災害に強い地域づくりのために-防災・減災に女性の力を活かす-」を開催した。	
成果・評価	○ 中央公民館・地区公民館活動の充実・展開に向けて、新たな仕組みづくりの方向性を見出すことができた。 ○ 専門的知識を有する職員により、きめ細やかな事業展開が期待できる。 ○ ICT講習会、持ち込み講座の開催支援、女性講座の開催支援 ○ パソコン・スマートフォン講座は、それぞれのツールを利用することで生活を豊かに過ごすための教室となっている。	
改善・充実策	○ 「生涯学習推進基本計画」に基づき、推進体制の充実及び魅力ある各種事業の展開を図る。 ○ より多くの町民が生涯学習の機会を得られるよう、ニーズの把握に努め、豊かな学びの機会を提供できるよう、企業や大学等との連携に努め、各種事業の展開を目指す。	
第三者評価委員評価	B	A大変良い    B良い    Cやや悪い    D悪い
教育委員評価	B	
社会教育委員評価	B	
担当者自己評価	B	

平成30年度「教育員会重点施策」点検・評価

重点施策…生涯学習活動の推進、芸術・文化の振興、公民館施設等の充実、多文化交流の促進  
 青少年の健全育成

I 生きがいと自己実現をめざす生涯学習の推進

生涯学習課

重点施策	2 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供と内容の充実 (1) 乳幼児期から高齢期までの各ライフステージに応じて、求められる知識や技能を適切に提供することができるよう内容の充実を図り、創造的で活力ある活動の展開に努める。	
重点項目	○ 姉妹都市交流事業 ○ こおりキッズスクール ○ こおり友遊くらぶ ○ かやのき学園	
具体的な活動	○ 姉妹都市交流事業 ・姉妹都市エリザベスタウン市からの訪問団を受入予定だったが、先方の都合により来日がかねわなかつたため事業中止となった。 ○ こおりキッズスクール ・年6回開催 のべ108名参加(カヌー体験、キャンプ、など) ○ こおり友遊くらぶ ・年8回開催 受講生28名(のべ139名参加) ○ かやのき学園 ・全体学習7回 地区館学習各3回 受講生94名	
成果・評価	○姉妹都市交流事業 ・諸事情により事業が中止となり、貴重な体験の機会を失ったことは非常に残念だった。 ○ こおりキッズスクール ・日常体験できない自然の素晴らしさや物作り、伝統文化などの体験ができた。 ○ こおり友遊くらぶ ・受講生の希望により、学習内容を吟味し仲間と共に学習し、いきいきと楽しく生活するための支援としての役割を担っている。 ○ かやのき学園 ・年間を通した活動により、生きがいづくり、仲間づくりの貴重な機会となっている。	
改善・充実策	○ 姉妹都市交流事業 ・近年は中学生を交流派遣することがメインになっており、この事業の役割分担等を庁内で再整理する時期と考える。 ○ こおりキッズスクール ・学校や家庭で体験できないことが学習できる機会であり、地域の仲間との交流も図ることのできる有意義な活動である。 ○ こおり友遊くらぶ ○ かやのき学園 ・生きがいづくりの上で、重要な価値ある事業である。より充実した講座にするためには男性の参加を促す必要がある。	
第三者評価委員評価	B	A大変良い B良い Cやや悪い D悪い
教育委員評価	B	
社会教育委員評価	B	
担当者自己評価	B	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価

重点施策…生涯学習活動の推進、芸術・文化の振興、公民館施設等の充実、多文化交流の促進  
 青少年の健全育成

I 生きがいと自己実現をめざす生涯学習の推進

生涯学習課

重点 施策	3 社会教育団体の活動奨励 (1) 家庭、学校、地域及び社会教育団体との連携を図るとともに、自主的学習を推進するサークル等の活動を奨励・支援する。	
重点 項目	○ 桑折町青少年育成町民会議事業の実施 ○ 親子教室の開催支援	
具体的な活動	○ 桑折町青少年育成町民会議事業の実施 ・青少年育成町民会議大会及び記念講演 7月11日(水) 参加者124名 「ならぬことはならぬ～現代の子どもたちにも学ばせたい教え～」 会津藩校日新館 館長 宗像 精 氏 ・各小学校意見発表会 各小学校で実施し、9名の児童が発表を行った。 ・青少年育成剣道大会(後援) 8月26日(日) 町内参加者15名 ○ 親子教室の開催支援 ・子ども会やPTA等が行う親子活動への支援、助成を行った。	
成果・評価	○ 桑折町青少年育成町民会議事業の実施 ・青少年の豊かな心と生きる力を養い、地域社会が一体となって非行防止などの健全育成に取り組んだ。 ・「青少年育成町民会議だより」を発行し、町民会議大会の記念講演の要点と参加者の感想を広く町民へ周知した。 ○ 親子教室 ・子供会を中心に6団体の利用あり、親子料理教室や親子体操教室の開催支援を行い、親子活動の絶好の機会となった。	
改善・充実策	○ 桑折町青少年育成町民会議事業の実施 ・青少年健全育成のために、国・県の施策と呼応し、各関係団体とともに事業充実を図る。 ○ 親子教室 ・親子の絆、保護者間のつながりが見て取れ、それを助成する価値がある。	
第三者評価委員評価	B	A大変良い B良い Cやや悪い D悪い
教育委員評価	B	
社会教育委員評価	B	
担当者自己評価	B	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価

重点施策…生涯学習活動の推進、芸術・文化の振興、公民館施設等の充実、多文化交流の促進  
 青少年の健全育成

I 生きがいと自己実現をめざす生涯学習の推進

生涯学習課

重点施策	4 青少年体験活動の積極的推進 (1)地域の教育力の活用を図り、青少年の体験活動・ボランティア活動を積極的に推進する。 (2)町の将来を担う青少年に、健全成長と郷土愛を育むために通過儀礼としての事業を行う。	
重点項目	○ 体験活動・ボランティア活動支援センター事業の充実 ○ 学校支援地域本部事業の充実 ○ こおり地域クラブの充実 ○ 中学2年生を対象に、将来への志を高める「立志式」 ○ 成人を祝い、大人としての自覚を促す「成人式」	
具体的な活動	○ 体験活動・ボランティア活動支援センター事業、学校支援地域本部事業、こおり地域クラブの実施 ・コーディネータ1名を配置し、学校等の要請に応じている。「地域人材支援バンク」のボランティアの協力により、学校支援及び地域クラブの活動運営を行うことができた。 ○ 「立志式」 ○ 「成人式」 ・桑折町立志式及び記念講演 2月8日(金) 醸芳中学校2年生95名および保護者 ・桑折町成人式 1月13日(日) 新成人 139名	
成果・評価	○ 体験活動・ボランティア活動支援センター事業、学校支援地域本部事業、こおり地域クラブの実施 ・学校等からの各種分野の要望に基づき、的確な人材を派遣することで、豊かな学びが醸成されている。また、指導者も地域や社会への還元により、新たな生きがいづくりにつながっている。 ・ボランティア指導者の熱心な指導により、小学生が土曜日を有効に活用し、有意義な時間を過ごしている。今年度は、文化・芸術・スポーツなどの15クラブに182名の児童が参加しての活動となった。 ○ 「立志式」 ○ 「成人式」 ・中学2年生の立志者及び新成人をそれぞれ激励した。	
改善・充実策	○ 体験活動・ボランティア活動支援センター事業、学校支援地域本部事業、こおり地域クラブの実施 ・有効な事業として、各方面から高い評価を受けている。コーディネーターを介し、学校及び地域ボランティアとの連携強化を引き続き図る。 ・「地域人材支援バンク」の新版に更新して、より指導者の発掘を図る必要がある。 ○ 「立志式」 ○ 「成人式」 ・それぞれの節目で、自覚を新たにできるような式典等となる内容にしたい。	
第三者評価委員評価	B	A大変良い B良い Cやや悪い D悪い
教育委員評価	B	
社会教育委員評価	B	
担当者自己評価	A	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価

重点施策…生涯学習活動の推進、芸術・文化の振興、公民館施設等の充実、多文化交流の促進  
 青少年の健全育成

I 生きがいと自己実現をめざす生涯学習の推進

生涯学習課

重点施策	5 心を豊かにする読書活動の充実 (1) 遊学館「よも～よ」の読書環境・学習環境の充実を図り、親しまれる運営に努める。 (2) 町民への図書の紹介や幼・小・中学校との連携を図り、図書の有効活用・読書活動の充実に努める。	
重点項目	○ 桑折町読書活動推進計画に基づく学校図書室との連携、図書ネットワークの推進 ○ ブックスタート事業の実施      ○ ファミリー文庫おはなしの会の実施	
具体的な活動	○ 学校図書室との連携、図書ネットワークの推進 ・睦合小・半田醸芳小・各幼稚園・預かり保育に計1,050冊の貸出しを行った。 ○ ブックスタート事業の実施 ・7ヶ月児健診時に、親子のふれあいを深める読み聞かせの奨励活動を実施し、絵本の進呈及び「よも～よ」の利用案内を行った。 ○ ファミリー文庫おはなしの会の実施 ・毎月1回、中央公民館おはなしの会を、ファミリー文庫の協力を得て、屋内遊び場を利用の幼児を対象に実施した。	
成果・評価	○ 学校図書室との連携、図書ネットワークの推進 ・おはなしの会、ブックスタート事業ともに、工夫をかさねながら開催することができた。 ○ 図書室運営の充実 ・遊学館「よも～よ」では、図書の貸出し、学習スペースの提供を行い、貸出冊数は18,000冊を超えた。	
改善・充実策	○ 図書室運営の充実 ・中央公民館おはなしの会は、ボランティアの協力を得ながら継続し、絵本の出張貸出しを行い、家庭での読み聞かせを推進する。また、新刊図書の充実にも努める。 ○ 小・中学校との連携 ・各小・中学校及び学校司書と連携しながら、図書ネットワークの活用を推進し、読書習慣の定着に努める。	
第三者評価委員評価	B	A大変良い    B良い    Cやや悪い    D悪い
教育委員評価	B	
社会教育委員評価	B	
担当者自己評価	B	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価

重点施策…生涯学習活動の推進、芸術・文化の振興、公民館施設等の充実、多文化交流の促進  
 青少年の健全育成

I 生きがいと自己実現をめざす生涯学習の推進

生涯学習課

重点施策	6 芸術・文化団体活動の奨励・支援	
	(1) 町民の自主的な芸術文化活動を奨励・支援するとともに、活動成果発表や鑑賞機会としての総合文化祭の充実に努める。	
重点項目	<input type="checkbox"/> 文化講演会の開催 <input type="checkbox"/> 高齢者作品展の実施 <input type="checkbox"/> 文化団体連絡協議会活動支援	
具体的な活動	<input type="checkbox"/> 文化講演会の開催 ・町民の豊かな感性を創出するため、元プロテニスプレーヤー杉山 愛 氏を講師に迎え、2月2日(土)イコーゼ！において開催した。 <input type="checkbox"/> 高齢者作品展の実施、文化団体連絡協議会活動支援 ・第43回町総合文化祭開催のため、文化祭実行委員会の支援補助をするとともに、児童・一般作品展や老人クラブ連合会の協力で高齢者作品展を同時開催した。また、文化団体連絡協議会への補助金交付、事務運営補助を行い自主的活動をサポートした。	
成果・評価	<input type="checkbox"/> 文化講演会の開催 ・小中学生から高齢者まで、多くの地域住民が来場し、杉山愛氏の現役生活や引退後の自己実現を叶える講演内容に引き込まれていた。 講師 杉山 愛 氏 演題「夢を叶える生き方～リスト100～」来場者250人 <input type="checkbox"/> 高齢者作品展の実施      ・多くの高齢者から205作品の出展があった。 <input type="checkbox"/> 文化団体連絡協議会活動支援 ・加盟団体は51団体、1,091人の会員となっており、総合文化祭は町最大の文化イベントであるため、補助金交付、事業支援は引き続き行う。 ・文化祭は、「総合展示会」「芸能・ダンス発表会」「ダンス交流会」を町民体育館及びイコーゼ！で開催し、2,233名の来場があった。また、芸能・ダンス発表会には、高校生や体育協会からの参加もあった。	
改善・充実策	<input type="checkbox"/> 文化講演会・総合文化祭・高齢者作品展等の開催実施 ・町民が地元で芸術・文化を気軽に楽しめる機会として、また児童生徒の豊かな感性を育む場として、今後もより充実した開催となるよう検討を重ねる。 ・高齢者が日ごろ創作した作品の発表の機会として、今後も作品展を継続する。また、総合文化祭についても創意工夫を重ね、子どもたちから高齢者まで幅広い年代がとどえる機会とする。	
第三者評価委員評価	B	A大変良い    B良い    Cやや悪い    D悪い
教育委員評価	B	
社会教育委員評価	B	
担当者自己評価	B	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価

重点施策…生涯学習活動の推進、芸術・文化の振興、公民館施設等の充実、多文化交流の促進  
 青少年の健全育成

I 生きがいと自己実現をめざす生涯学習の推進

生涯学習課

重点施策	7 社会教育施設の効果的・効率的な管理運営 (1) 各施設の効果的活用と安全維持管理に努める。	
重点項目	○ 地域に根ざした地区公民館運営管理体制の仕組みづくり ○ 各施設の安全点検・修理と効果的活用	
具体的な活動	○ 地域に根ざした地区公民館運営管理体制の仕組みづくり ・半田公民館をモデル地区として、地区公民館活動推進員を配置し、「防災合宿」「卓球ひろば」等の独自事業を展開した。日本間の簡易改修を行い、利用しやすい環境づくりも進めた。 ○ 各施設の安全点検・修理と効果的活用 ・日常からの安全点検を実施し、良好な利用環境の維持に努め、また、光熱水費などの施設管理費の節約にも併せて努めた。 ・施設の管理清掃業務を委託することにより、適正な施設管理に努めた。 ○ 桑折公民館 …1階トイレ洋式化改修工事、調理室改修工事 ○ 睦合公民館 …浄化槽付属設備修繕 ○ 伊達崎公民館…駐車場区画線設置、灯油配管修繕 ○ 半田公民館 …駐車場区画線設置 ○ 遊学館「よも～よ」…蔵書点検	
成果・評価	○ 地域に根ざした地区公民館運営管理体制の仕組みづくり ・モデルケースではあるが、地区館事業の充実に向け今後の方向性を見出すことができた。 ○ 各施設の安全点検・修理と効果的活用 ・委託業者による真摯な業務の遂行で、適切な点検・管理がなされている。 ・必要箇所の修繕を行い、利用環境の向上に努めた。	
改善・充実策	○ 地域に根ざした地区公民館運営管理体制の仕組みづくり ・他地区にも波及できるような体制を引き続き模索する必要がある。 ○ 各施設の安全点検・修理と効果的活用 ・各施設については、日常的な点検を行うことにより、適正管理に努め維持補修を計画的に進める必要がある。 ・利用環境の維持向上のため、利用者からの声に耳を傾け施設の管理運営に努める。	
第三者評価委員評価	B	A大変良い B良い Cやや悪い D悪い
教育委員評価	B	
社会教育委員評価	B	
担当者自己評価	B	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価

重点施策…健康・体力づくりをめざす生涯スポーツの推進、体育施設等の充実

屋内遊び場を活用した子育て支援の充実

II 健康づくりをめざす社会体育・生涯スポーツの振興

生涯学習課

重点 施策	<p>1 社会体育事業の推進</p> <p>(1) 身近な体育・スポーツ活動を通して、生涯にわたって健康の保持増進と生きがいづくりに努める。</p> <p>(2) 総合型地域スポーツクラブや体育協会の自主的活動を奨励するとともに、各種事業での連携を深め、生涯スポーツの振興に努める。</p>	
重点 項目	<p>○ 各種スポーツ大会の開催や健康づくり教室等の実施</p> <p>○ 町民体育祭及び各種スポーツ大会の開催と加盟団体主催大会の支援</p> <p>○ スポーツ関係団体間の連携強化による活性化の支援</p>	
具体的 な活動	<p>○各種スポーツ大会の開催や健康づくり教室等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の協力のもと、スポーツ協会と連携を計り、町民体育祭及び各種スポーツ大会、スポーツテストを開催した。また、「スポ少交流会」(ニュースポーツ&amp;ドッチボール大会)、「スポーツ体験教室」(ゴルフ教室・タグラグビー教室)を開催した。</li> </ul> <p>○「マルベリーこおり」「町スポーツ協会」との連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体への補助金交付、活動支援及び共催事業を行った。</li> </ul>	
成果・評価	<p>○ 各種スポーツ大会の開催や健康づくり教室等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回町民体育祭は、11種目700名を超える参加者があり、開催時期についても定着しつつある。また、「スポーツテスト」は、幅広い年代からの参加があり、継続している参加者も多く、自分の体力年齢を確認していた。「スポ少交流会」はスポーツ推進委員の協力のもと、多くの団員・指導者・保護者にとって有益な交流となった。</li> </ul> <p>○「マルベリーこおり」「町スポーツ協会」との連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「マルベリーこおり」は、totoから町に支援助成を受けており、さらに町独自にクラブ・協会の運営を支援している。</li> </ul>	
改善・充実策	<p>○ 体育祭・各種スポーツ大会の開催や健康関係の講演会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民体育祭等を継続して開催することにより、町民の健康意識、スポーツ意識の向上を図る。また、スポーツ推進委員との更なる連携強化を図る。</li> <li>・健康志向の高まりのなかで、「健康」に関連する事業は、庁内関係課及び公民館事業と連携または分担して進める必要がある。</li> </ul> <p>○「マルベリーこおり」「町スポーツ協会」との連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金は当面継続する必要がある、更に、両団体の連携も模索する必要がある。</li> </ul>	
第三者評価委員評価	B	<p>A大変良い B良い Cやや悪い D悪い</p>
教育委員評価	B	
社会教育委員評価	B	
担当者自己評価	B	

平成30年度「教育委員会重点施策」点検・評価

重点施策…健康・体力づくりをめざす生涯スポーツの推進、体育施設等の充実

屋内遊び場を活用した子育て支援の充実

II 健康づくりをめざす社会体育・生涯スポーツの振興

生涯学習課

重点施策	2 社会体育施設の効率的・効果的な管理運営 (1)「イコーゼ！」(屋内温水プール・多目的スタジオ)の安定的かつ効率的な利活用に努める。 (2)社会体育施設及び周辺施設の整備・安全維持管理に努める。	
重点項目	○ 水泳授業の実施、桑折町小学校水泳大会の開催 ○ 各種水泳教室の実施 ○ 夏季休業中におけるPTAと連携したプール開放の実施 ○ 屋内遊び場の活用コンテンツの提供 ○ 体育施設群活用促進のための充実策の検討 ○各施設の利用環境の向上、効果的利活用と安全維持管理	
具体的な活動	○ 水泳授業の実施、桑折町小学校水泳大会の開催、各種水泳教室の実施 ・水泳授業、夏休みプール開放、水泳大会を事故なく実施した。水泳教室には、幼児からシニアまで、幅広い年代の方が参加した。 ○ 屋内遊び場の活用コンテンツの提供 ・遊び場の利活用促進のため、イベント・ワークショップを開催した。 ○ 施設の利用環境の向上、効果的利活用と安全維持管理 ・桑折テニスコートの人工芝張替が完了し、4月から再オープンし多くの利用に供することが出来た。 ・ふれあい公園の芝生の損傷が激しかったことから、専門家からのアドバイスを受けて直営にて補修を進めている。	
成果・評価	○ 水泳授業、小学校水泳大会の開催 ○ 各種水泳教室の実施 ・学校授業等と一般開放が混在する中でのプール運営となっているが、3年目を向かえたこともあり大きな混乱もなく事故なく運営できた。 ○ 屋内遊び場の活用コンテンツの提供 ・木のおもちゃ遊び、バランススクーター、チャレンジスポーツ等を催し、常設遊具以外のイベントを実施することで利用促進につながった。 ○施設の利用環境の向上、効果的利活用と安全維持管理 ・施設管理で直営で出来る部分は限られるが、委託経費圧縮の観点からも効率的な施設管理に努める。	
改善・充実策	○ 社会体育施設の運営管理 ・社会体育施設群の拡充整備に向けた検討も必要だが、既存施設の「長寿命化計画」の策定を急ぐ必要がある。 ・既存体育施設の、適正管理に努め維持補修を計画的に進める必要がある。	
第三者評価委員評価	B	A大変良い B良い Cやや悪い D悪い
教育委員評価	B	
社会教育委員評価	B	
担当者自己評価	A	

平成30年度重点施策点検・評価

重点施策・・・文化財の保護と活用、「歴史的風致維持向上計画の推進」

Ⅲ 文化財の保護活用

生涯学習課

重点施策	<p>1 「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づく保護・調査・活用の推進</p> <p>(1) 「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財や歴史的遺産の保存と活用を図るとともに、歴史的風致の概念に合致しない歴史的文化遺産、民俗芸能については同計画と連携しながら調査保存・継承に取り組む。</p> <p>(2) 文化財や補修の必要な文化財の復旧に努めるとともに、文化財の調査成果の公表と未指定文化財の指定と保存を図り、文化財保護精神の継承と郷土の歴史的文化的継承の普及啓発に努める。</p>	
重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 補修が必要な文化財の復旧・修理</li> <li>○ 伊達郡役所をはじめとする復旧した文化財の公開と更なる活用</li> <li>○ 郷土の歴史的遺産の調査・保存・整備</li> <li>○ 未指定文化財の調査・指定・保存</li> </ul>	
具体的な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 旧伊達郡役所解説板の更新や英語版パンフレット作成、伊達氏発祥の地パンフレット等のソフト面の整備を行った。</li> <li>○ 種徳美術館企画展に合わせ、町内仏教美術や資料の調査や指定文化財の点検を行った。</li> <li>○ 歴史案内人育成事業を実施し、講座受講者を桑折町歴史案内人として認定し、活動に入ってもらった。</li> </ul>	
成果・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 旧伊達郡役所で老朽化した案内板の補修や、パンフレットにより伊達氏関連遺跡の効果的な案内やインバウンド客を迎える態勢を整えることができた。</li> <li>○ 企画展により、文化財指定候補となるような歴史的遺産の掘り起しができた。</li> <li>○ 桑折町歴史案内人を認定し、町内外の方を案内したり、小中学校の学習活動を支援することができた。</li> </ul>	
改善・充実策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 桑折宿の景観に配慮した改善に対する助成事業に向けた事業や、案内板等の整備、老朽化した案内板の改修が必要である。</li> <li>○ 歴史案内人の登録を増やし、町内外の方々に歴史的遺産の魅力発信を行う必要がある。</li> </ul>	
第三者評価委員評価	A	<p>A大変良い    B良い    Cやや悪い    D悪い</p>
教育委員評価	A	
文化財保護審議委員評価	B	
担当者自己評価	B	

平成30年度重点施策点検・評価

重点施策・・・文化財の保護と活用、「歴史的風致維持向上計画の推進」

Ⅲ 文化財の保護活用

生涯学習課

重点施策	2 史跡桑折西山城跡整備事業の推進 (1)「桑折西山城整備基本計画」「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づき、史跡及びその周辺の整備事業を推進するとともに、適切な保存管理及び公開に努める。	
重点項目	○ 史跡桑折西山城跡保存整備事業の推進 ○ 史跡周辺の整備事業	
具体的な活動	○ 史跡桑折西山城跡整備事業3年目の事業として、本丸の遺構復元、施設整備工事を行った。 ○ 大手道周辺に案内板等を整備するに当たり、砲台場に遺構保護のための盛土を施した。 ○ 本丸方面から平沢口まで周回できるよう、中館・西館の間の空堀に土橋を設置し、周回路沿線の樹木を伐採して通路を確保した。	
成果・評価	○ 本丸の遺構復元が完成し、園路・階段等の施設が設置されたことにより、戦国時代の山城が目に見えて分かるようになり、かつ順路を追って見学できるようになった。 ○ 大手道周辺や中館・西館を経由して平沢口へ抜ける城跡の見学ルートを確保することができた。	
改善・充実策	○ 全体の事業規模の見直しを図りながら、本丸を重点的に整備し、中館・西館を巡って平沢口に通じる周回ルートの整備を、史跡桑折西山城跡整備指導委員会や文化庁、県文化財課の指導を仰ぎながら進める必要がある。 ○ 整備された本丸を積極的に活用していく必要がある。	
第三者評価委員評価	A	A大変良い    B良い    Cやや悪い    D悪い
教育委員評価	A	
文化財保護審議委員評価	A	
担当者自己評価	B	

平成30年度重点施策点検・評価

重点施策・・・文化財の保護と活用、「歴史的風致維持向上計画の推進」

Ⅲ 文化財の保護活用

生涯学習課

重点施策	3 旧伊達郡役所・種徳美術館の適切な管理と活用の推進	
	(1) 旧伊達郡役所の適切な保存管理と建物の公開・活用に努める。 (2) 種徳美術館の適切な管理と所蔵品の公開に努める。	
重点項目	○ 旧伊達郡役所の公開と企画展の充実 ○ 種徳美術館所蔵美術品の管理と公開・活用	
具体的な活動	○ 種徳美術館企画展「桑折町の仏教文化」を開催した。 ○ 種徳美術館企画ワークショップの開催 ○ 活用事業「サンフォトこおり写真展」「献上桃の郷魅力発信プロジェクト」	
成果・評価	○ 文化財保存会と連携した企画展を町内寺院の協力を得ながら実施し、町内の歴史的遺産に親しんでもらうことができた。 ○ 企画展や収蔵品展に合わせた「写経・写仏」「ガーラントづくり」等ワークショップを開催したことにより、美術館の新たな観覧層を獲得することができた。 ○ 旧伊達郡役所活用事業に多くの方々に来場いただくことができた。	
改善・充実策	○ 文化財保護法改正の動向を見極めながら、適切な文化財建造物の活用を行う必要がある。 ○ 種徳美術館の収蔵品、寄託品を公開するとともに、町内外の文化財を借用するなどして、展示の充実を図る必要がある。	
第三者評価委員評価	B	A大変良い    B良い    Cやや悪い    D悪い
教育委員評価	B	
文化財保護審議委員評価	B	
担当者自己評価	B	

## 2 教育委員会の校長に委任する事務の管理 及び執行状況

学校名 桑折町立醸芳小学校

職氏名 校長 木村政文

## 平成30年度学校経営評価報告書

### 1 学校経営の方針

愛と英知と活力を身に付け、誇りを持って、自分の未来を切り拓いていく子どもを育てる。

- (1) カリキュラムの充実（完全実施）とワンランク上の教育活動を行う。
- (2) 「地域が学校を応援、学校が地域に貢献」を推進する。
- (3) 教育公務員としてのサービスの厳正、コスト意識を持った教育活動を推進する。

### 2 学校経営総合評価

- (1) 基本理念「愛と英知と活力」を教職員一人一人が意識して日々の教育活動に取り組むことができた。
- (2) 県「学びのスタンダード推進事業」パイロット校として2年目になり、成果（児童が学び合う姿、活用する力の向上等）が見られた。今後、読解力の育成、主体的な家庭学習へ取組を図っていきたい。
- (3) 学年の実態に応じた体験活動（地域素材の開発、人材の活用、諏訪神社例大祭への協力等）が図られるとともに、情報発信（HP、職員室だより、学年だより等）により、学校の教育活動への関心が高まり信頼感へとつながっている。
- (4) 新聞記事（切り抜きを毎日配付）、サービス倫理ニュース等の啓発、サービス倫理委員会における具体的な場面を想定した指導等により現在懲戒にかかわる不祥事は発生していない。また、昨年に引き続き、事務職員から月毎の予算執行状況を教職員に配付した結果、教職員のコスト意識が高まった。多忙化の解消については、まだ不十分なので教職員の意識の改革に努めていきたい。

### 3 学校経営課題の実施状況

- (1) カリキュラムの充実（完全実施）とワンランク上の教育活動

項目	主な実践事項	評価 達成状況
重点事項	カリキュラムを（教育課程）を軸とした教育活動の充実・改善	B
実践事項	〈英知〉 スタンダード&チャレンジ、教科担任制の充実、読書の習慣化	B
	〈愛〉 考える道徳、議論する道徳の授業の推進、子どもに寄り添った日々の指導	B
	〈活力〉 運動の日常化、肥満の解消	B
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 算数科における活用が伸びている（学習状況調査）が、複数の関係を読み取る力</li> <li>・ 考える力（読解力）が不十分である。</li> <li>・ 主体的な学習が身に付いていない児童が見られる。（教師、保護者評価）。</li> <li>・ 家庭学習ができていない。（保護者評価）</li> <li>・ 家庭での読書の習慣が身に付いていない。（児童評価、保護者評価）</li> <li>・ 生徒指導上課題がある児童に対して、組織的に対応することができたが、家庭環境の課題も見られるので、関係機関との連携を図った指導を充実する必要がある。</li> <li>・ 学校のなかでの挨拶は良くなっているが、登下校中や家庭での挨拶の習慣化が不十分である。</li> <li>・ 体力の向上が見られ、運動に対する関心が高まっている（児童評価が、低学年の児童に肥満の子どもが多く、食生活も含め家庭との連携が必要である）。</li> <li>・ 特別活動との関連を一層図り、運動の日常化に努める必要がある。</li> </ul>	

(2) 地域が学校を応援、学校が地域に貢献

項 目	主 な 実 践 事 項	評 価 達成状況
重点事項	学校教育を学校内に閉じずに、学校の目標を社会と共有	B
実践事項	地域の特色を生かした教育活動の推進	B
	学校評価の推進	B
	HP・マスコミ、職員室だより、学年だよりによる積極的な情報発信	B
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桑折町ボランティア活動支援センターとの連携をより一層密にし、地域素材のさらなる教材化とともに、地域林材の発掘・活用に努める必要がある。</li> <li>・ 地域の伝統文化の継承に向け、地域の祭り（諏訪神社例大祭等）への児童の参加を一層うながす必要がある。</li> <li>・ 学校関係者評価と保護者への説明責任が不十分であった。（保護者評価）</li> <li>・ 昨年から始めた学校評議員による学校関係者評価を充実する必要がある。</li> <li>・ タイムリーな情報発信に努めたがやや不十分であった。今後、一層HP、学校だより、学年だより、マスコミへの投げ込み等を充実していく必要がある。</li> </ul>	

(3) 教育公務員としての服務厳正・コスト意識

項 目	主 な 実 践 事 項	評 価 達成状況
重点事項	感度を高め、共有化を図る危機管理意識の徹底	B
実践事項	日常的な啓発、服務倫理委員会の活性化	B
	予算執行状況の周知	B
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 服務倫理委員会の時間の確保、外部講師の招聘が不十分であった。</li> <li>・ 多忙化解消に向け、学校行事の精選、校務運営組織の見直しが図られたが、教職員一人一人の意識改革までいかなかった。</li> <li>・ 昨年課題であった見通しを持った予算執行伺い（学級費等）の提出に改善が見られたが、安易な学級徴集金の集金が見られた。教育活動にとって必要な教材等の購入について共通理解を図り執行することに努める必要がある。</li> <li>・ 月毎の予算執行状況の整理と教職員への周知が日常化しているが、教職員一人一人の自覚へと深めていきたい。</li> </ul>	

評価は、A, B, C, Dの4段階評価とする。  
A (4) : 十分に目標を達成している。  
B (3) : おおむね、目標を達成している。  
C (2) : やや目標の達成には至っていない。  
D (1) : 目標を達成していない。

【校長学校経営評価】

平成 31 年 2 月 22 日

学校名 桑折町立桑折町立睦合小学校  
職氏名 校長 大 槻 誠

## 平成 30 年度学校経営評価報告書

### 1 学校経営の方針

- (1) 安全・安心，信頼される学校づくりの推進。
- (2) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着とともに，その活用を図る学習活動の推進。
- (3) 新学習指導要領を踏まえた指導充実（移行 2 年次）。
- (4) 共生の心を育み「いじめのない学校」をめざす。（特別教科「道徳科」指導充実）
- (5) 健やかな心身を育てる健康教育の推進心を育てる道徳教育と人間尊重の精神に立つ人権教育の推進
- (6) 読書指導の充実
- (7) 特別支援教育の充実
- (8) 指導力を培う校内研究・研修充実

### 2 学校経営総合評価

- (1) 「向上心を持ち，実践力のある児童の育成」の教育目標と児童像の具現に向け，教職員が一丸となり教育活動を進めてきた。方針第一に「安全・安心，そして信頼される学校であること」を掲げ，家庭や地域の信頼なくして豊かな教育活動はできないことを全職員で常に確認してきた。年度当初より，強盗事件等が発生し，家庭と連携を密にして対応することとなったが，それが連携を強くさせた。年度末の学校評価関係項目でも高い評価を得ることができた。
- (2) 事業「学びのスタンダード」，町事業，現職教育の相互関連を密にして取り組むことができた。現職教育では，共同歩調で研究主題に沿って実践を進めてきた。成果を共有し，自らの実践に活かす職員の姿勢はとて前向きであった。児童も進んで学ぶ姿勢が身に付き，確実に変容してきている。  
さらに，基礎的基本的内容の理解と定着を目指し，個別指導やくり返し学習を継続している。それが全国学力調査でも成果を修める要因となっている。児童アンケートでも「分かるように教えてくれる。」「友達の考えで自分も分かった。」と多くの児童が答えていた。
- (3) 「いじめのない学校」をめざし，調査や日常観察を重視し，個に応じたきめ細やかな指導を徹底してきた。職員の人事異動後も，迅速に「全校担任」体制を整え，些細なことでもチームで情報交換して対応することができた。このような迅速な早期対応が事案の未然防止につながっている。
- (4) 「1 校 1 実践」は，授業や学校行事との関連から，課題をもって実践して，体力を向上させてきた。課題は「投の力」であり，継続的な取組を進めることが肝要である。

### 3 学校経営課題の実施状況

#### (1) 「進んで学ぶ子ども」の育成（学力の向上）

項 目	主 な 実 践 事 項	評 価
		達成状況
重点事項	① 「主体的，対話的で深い学び」をめざす授業を実践する。	A
	② 自ら学ぶ学習習慣を育成する。	A
	③ 読書習慣を育成する。	B
実践事項	① ア 学び方を身に付け，活用・表現力を高める授業づくり。	A
	イ 読み書き計算のくりかえし学習の充実。	A
	ウ 授業ノートづくりと活用。	B
	② ア 家庭と連携した家庭学習の推進（家庭学習スタンダード）	A
	イ 自主学習の工夫。	A
	③ ア 学年必読書の設定と読書奨励。/家読の推進。	B

課題等	① イ 反復学習（漢字）方法等に課題も残り，次年度工夫改善を進める。 ① ウ ノート作りは方向性を確認し，継続して指導しなければならない。 ② アイ 自主学習の充実のために，中学校との連携を強くしたい。 ③ ア 司書来校により環境が整備された。来校回数増を望む。
-----	--

(2) 「思いやりのある子どもの育成」(豊かな人間関係づくり)

項目	主な実践事項	評価
		達成状況
重点事項	① 望ましい集団を作る。 ② 自他の命を大切にす豊かな心を育む。 ③ 体験活動・ボランティア活動充実。	A B A
実践事項	① ア支持的風土ある学級づくり。イ自分の思いや願いを表現する力の育成。 ② ア授業「道徳科」を充実する。イよさを伸張する指導を充実する。 ウ自己肯定感・存在感を醸成する。 ③ ア直接体験やボランティア活動の機会を充実する。 イ縦割活動（異年齢）を充実する。	A・A B・A B A A
課題等	②ア 道徳科指導方法・評価が課題となった。研修成果を伝達し，趣旨理解と改善に努めたが，今後も継続しかねばならない。 ③ア 体験活動や出前授業を多く実施した。効果を考慮し，次年度も実施したい。	

(3) 「元気でねばり強い子どもの育成」(健やかな心と体の育成)

項目	主な実践事項	評価
		達成状況
重点事項	① 基本的な生活習慣を育成する。 ② 体力を向上させる。 ③ 健康・安全教育を充実させる。	A A B
実践事項	① ア 心身の健康を保つ能力の育成（早寝早起き朝ごはん） ② ア「体力向上1校1実践」・授業充実（運動身体プログラムの実践） ③ ア 専門家による食育授業と健康管理を推進する。 イ 健康，安全，放射線教育の充実	A A B A
課題等	①ア 養護教諭の積極的な関わりで，虫歯治療率が向上した。啓発を継続したい。 ③ア 栄養士の協力により，食育指導が充実した。今後，肥満傾向の児童もいることから，養護教諭と連携した取り組みを充実させたい。	

(3) 「教職員の管理」(信頼される学校づくり・不祥事防止)

項目	主な実践事項	評価
		達成状況
重点事項	① 授業力向上の研修充実・実践 ② 適切な情報発信 ③ 不祥事防止の徹底	A B A
実践事項	① ア 共通実践の確認と同僚性の発揮 ② ア ホームページや学校・学年だよりの発行 ③ ア 服務倫理委員会の機能と服務行動計画の適宜確認	A B A
課題等	①ア 県事業と本校の実践を関連づけて成果を集約したい。 ②ア 学校だよりは定期的に発行したい。	

評価は，A，B，C，Dの4段階評価とする

A（4）：十分に目標を達成している。

B（3）：おおむね，目標を達成している。

C（2）：やや目標の達成には至っていない。

D（1）：目標を達成していない。

## 【校長学校経営評価】

平成31年2月19日

学校名 桑折町立半田醸芳小学校

職氏名 校長 宋戸 広子

## 平成30年度 学校経営評価報告書

## 1 学校経営の方針

- (1) 「桑折町教育委員会重点」に基づいて、重点目標を掲げその実現を図る。
- (2) 教育目標達成のための3本の柱（徳力・健康体力・知力）（知力・心力・健康体力）を軸とした確かな実践を推進する。
- (3) 目指す子どもの育成のため、全教職員の創意工夫による特色ある教育活動を展開する。
- (4) 信頼を基盤として、家庭や地域との連携を強化し、教育活動を効果的に進める。
- (5) 新学習指導要領の施行を見据え、教師の指導力・教師力の向上に向けた、研修会の充実と自己研修を積極的に推進する。
- (6) 安心・安全、子どもが大好きな学校環境・学級経営を推進する。

## 2 学校経営総合評価

- (1) 学校経営・運営ビジョンの具現に向け、毎月の職員会議示達でビジョンの具体的な取組みを明確に示し、教職員一人一人に学校経営参画意識をもたせ、学校課題の解決に向けて取り組んだ。「前年度よりワン・アクション」を継続し学校、児童、保護者等の実態に応じた教育活動の展開を行ってきた。

地域学習「ふるさと学」を学びの中心にすえ、地域の高い教育力により、半田醸芳小ならではの特色ある教育活動を展開することができた。町無形文化財「半田銀山祇園ばやし」の継承、産が沢のほたる学習、半田銀山を中心に歴史学習など密度の濃い学習を行うことができ、郷土半田を愛する心の育成に努め、児童の社会性を育てることができた。

二年次となる福島県教育委員会の「学びのスタンダード推進事業」の協力校として、町内の幼小中学校、及び家庭・地域と連携を深め、さらには、「桑折町学びのスタンダード」を取り入れた授業を展開してきた。今後も「桑折町の15歳のめざす姿」を保護者と共有する機会を多くし、学校と保護者・地域の両輪で児童を育てる意識をもっと高めていきたい。
- (2) 学力向上、豊かな心の育成、体力向上、を「夢いっぱい（確かな学力）」「笑顔いっぱい（豊かな心）」「元気いっぱい（健康体力）」のスローガンを掲げ、児童の目線に立った指導とその成果を捉え、教育課程や諸行事等の反省を生かしながら、生き生きと学校生活を送る児童の育成と教育活動に取り組み、「明日も学校に来たい」「明日も勤務したい」「通わせてよかった」「おらが半田の学校」と思える学校づくりに取り組んだ。日常生活、定期の教育相談、Q Uテストによる児童の実態の的確な把握と問題の早期発見、早期対応、早期解決、生徒指導協議会での教職員の共通理解を図りながらいじめ、不登校出現ゼロをめざしたが、韓国からの転入生1名がホームシックとなり、不登校となった。担任が週1回家庭訪問し、状況を把握しながら少しずつ登校刺激を与えている。「6年生になったら登校したい。」という気持ちも芽生えてきた。町SCにもつながり、アドバイスを受けながらよりよい解決に向けて努力した。
- (3) 教職員人事評価制度を活用し、教職員が教育目標の具現化に主体的に参画することにより、責任感や職務への意欲が高め、能力開発に努めた。また、教職員がよりいっそう高い能力を獲得し、高い指導力を身に付けることができるように、教職員の能力や勤務の状況を把握し、主題研修の現職研修や、定期の研究協議会、研修会等を充実させてきた。指導力の個人差はまだ大きい。高い指導力をもつ教員と同じレベルになるように組織の活性化を図った。

不祥事を自分のことと置き換えてとらえることができるように、ねらいを絞った具体的な実践事例と内容等の研修を担当が中心になって提案し、ボトムアップ型の服務倫理委員会を実施した。教職員一人一人の倫理観を高め、不祥事ゼロを達成し、半田醸芳小学校には不祥事は無縁の事であることを確認することができた。
- (4) 今年度の教育活動から半田醸芳小学校の強みと弱みを教職員とともに洗い出した。まじめで素

直、とても落ち着いている児童だが、自己表現が苦手で表現力も低く、受け身、指示待ちが多く、少人数のため人間関係の固定化が見られる。

教職員においては、意思疎通、共通理解が図られ、組織としては同じベクトルで一丸となって教育活動を行った。授業力に差があり、教員一人一人の負担が大きい。

保護者・地域においては、家庭力や地域の教育力が高く、子供を大切に育てている地域・家庭ではあるが、学校へ期待が大き過ぎる。

このことをふまえ、平成 31 年度の学校経営の戦略として、今まであやふやだった目指す児童像を明確にした。「半田プライドを胸に、ふるさとを愛し、高い志と強い意志をもち地域と共に学ぶ「半田っ子」の育成」とした。

### 3 学校経営課題の実施状況

#### (1) 学校経営全般について

項 目	主 な 実 践 事 項	評 価
		達成状況
重点事項	1 教育目標の達成に向けて、 ・明日も学校に来たい ・明日も勤務したい ・通わせて良かった ・おらが半田の学校 と言える学校をつくり、学校評価 「教育目標」の自己評価 3.6 以上を達成する。 2 「桑折町の 15 歳のめざす姿」を見すえた教育活動を推進する。	B
実践事項	○ 学校経営・運営ビジョンの具現に向け、毎月の職員会議示達でビジョンの具体的な取組みを明確に示し、教職員一人一人に学校経営参画意識をもたせる。	A
	○ 「前年度よりワン・アクション」を念頭に置き、実態分析に基づく提案型の校務分掌運営を進めさせることにより、組織力を向上させる。	B
	○ 幼小中の連携を図り、「桑折町のめざす 15 歳の姿」への共通理解を持ち、自立（自律）して生きる児童を育てる。 ・学校経営・運営ビジョンとのリンク	B
課題等	○ 教職員の組織力アップを目指し、「前年度よりワン・アクション」の校務分掌運営を進めたが、教育目標自己評価は考える子（3.4）思いやりのある子（3.5）たくましい子（3.5）で総合評価 3.5 となり、目標の 3.6 まで届かなかった。ワンアクションをするには、時間が必要でありなかなかその考える時間が取れないという反省があった。 ○ 「桑折町のめざす 15 歳の姿」の項目を「学校経営・運営ビジョン」に明記し、相互リンクをすることにより、教職員が共通理解を持ち、自立（自律）して生きる児童を育てることへの意識が高まった。	

評価は、A, B, C, D の 4 段階評価とする

A (4) : 十分に目標を達成している。

B (3) : おおむね、目標を達成している。

C (2) : やや目標の達成には至っていない。

D (1) : 目標を達成していない。

#### (2) 学校教育の管理について

項 目	主 な 実 践 事 項	評 価
		達成状況
	1 「夢いっぱい（確かな学力）」において、本校の実態「知識・理解、活用力」の停滞を克服するために、校内研修で全員が授業研究を行い、指導力を向上させることにより、各種学力テスト 105% を目指す。 2 「笑顔いっぱい（豊かな心）」において、児童が個々のよさを発揮	

重点事項	<p>して成長できる学級集団を形成させ、昨年度1件あった不登校・昨年度2件あったいじめはゼロをめざす。</p> <p>3 「元気いっぱい（健やかな体）」において、系統性を重視した意図的・計画的な健康教育、体育活動を進め、年間無欠席50日以上を達成する。</p> <p>4 安心・安全・美しい環境の学校を整える。</p>	A
実践事項	<p>○ 校内研修（現職教育）講師招聘による一人一授業の実践と付箋を活用した事前事後研究会の充実を図る。</p> <p>・「型に縛られない互見授業」の活用（まねる）</p>	A
	<p>○ 児童の課題意識と解決意欲を大切にしたい問題解決型の授業を実施する。</p> <p>・子供の問いになっている「めあて」とめあてに呼応した「まとめ」</p>	B
	<p>○ 全校で取り組む「15分チャレンジタイム（徹底反復練習）」の確実な実施と指導方法を工夫し、基礎的・基本的な事項の確かな定着を図る。</p>	A
	<p>○ 家庭学習スタンダードを活用し、時間だけに拘らず質の高い家庭学習をさせる。</p>	B
	<p>○ 特別支援教育の充実を図る。</p> <p>・通級指導学級との連携</p>	A
	<p>○ 基本的な生活習慣の育成を目指し、「早寝・早起き・朝ご飯」「二言挨拶・返事、靴そろえ、ありがとうの感謝の心」の指導をする。</p>	B
	<p>○ 仲間、本物、感動のある諸体験を多く取り入れた、半田醸芳ならではの体験活動と思考活動を実践する。</p> <p>・伝承文化継承（半田銀山祇園ばやし）</p> <p>・ふるさと学（ほたる学習・だんごさし・地域歴史）</p> <p>・環境学習（緑の少年団・学校田・森林学習）</p> <p>・春夏秋冬読み聞かせ会</p>	A
	<p>○ 定期、チャンスの教育相談，QUテストによる児童の実態の的確な把握と問題の早期発見，早期対応，早期解決を行い、生徒指導協議会での教職員の共通理解を図る。</p>	A
	<p>○ 体育の授業、体育活動の充実を推進する。</p> <p>・運動身体づくりプログラムの確実実施</p> <p>・朝のマラソン，業間遊びの継続・推進。</p>	A
<p>○ 学校施設の日常，定期点検と、子供の目線に立った安全点検を実施し、安全の確保と校外での事故防止に取り組む。</p> <p>・子供と一緒に「合同安全点検」の実施</p> <p>・地域「見守り隊」との連携・連絡強化</p>	A	
課題等	<p>○ 「学びのスタンダード」事業とタイアップし校内研修の充実を図るために一人一授業、カジュアルな互見授業を実践させて指導力向上に取り組んだ。互見授業は教師の方から研究授業の次時を公開したいと願い出て、積極的に取り組み、意識の向上が図られた。</p> <p>○ 「徹底反復練習」は陰山先生の研修会を通して、どの学年も同じレベルで指導ができるようになった。チェックテストからは子供たちの大きな伸びが見られ意欲が高まった。</p> <p>○ 道徳科の指導力向上を図るために、道徳科先進校に2名を派遣し研修させた。伝達講習を行い、「考え・議論する」道徳科のスタイルの共通理解を図った。</p> <p>○ 半田ならではの特色ある教育活動においては、地域の教育力を活かしながら、「ふるさと学」のねらいを明確にして取り組ませた結果、成果をあげることができた。</p>	

	<p>特に学校再開まで漕ぎ着けることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめはゼロだったが、不登校においては、韓国からの転入生が不登校となり、年間無欠席は16日だった。</li> <li>○ 安全・安心な学校を目指し「児童・教師合同安全点検」の新設、教師の研修DIG(図上災害訓練)を実践させたことにより、教師と児童の危機管理意識を高めることができ事故や大きなけがはゼロだった。</li> </ul>
--	--

評価は、A, B, C, Dの4段階評価とする

A(4):十分に目標を達成している。

B(3):おおむね、目標を達成している。

C(2):やや目標の達成には至っていない。

D(1):目標を達成していない。

(3) 教職員の指導・監督、その他について

項 目	主 な 実 践 事 項	評 価
		達成状況
重点事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教職員一人一人の危機管理意識を高め、事故や不祥事の絶無を期す。</li> <li>2 地域に開かれた学校づくりに努め、学校、家庭・地域双方向の関わりを具体化し、学校評価の保護者アンケート評価4以上を達成する。</li> </ol>	A
実践事項	○ 教職員人事評価制度の面談の有効活用を図り、職員とのあたたかい人間関係を築き、日頃の声かけと教職員の話に丁寧に耳を傾け、教育活動に一丸となって取り組めるようにする。	A
	○ 心に響くサービス倫理委員会を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボトムアップのサービス倫理委員会の開催</li> <li>・ 外部講師を招いてのサービス倫理委員会開催</li> </ul>	B
	○ アンテナを高くし、情報の収集、発信を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校だより、ホームページブログ、PTA全体会、学校評議員会、第三者評価委員会</li> </ul>	A
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人事評価制度を活用し、「認め、励まし、自信」の3点で職員とのあたたかい人間関係を構築した。</li> <li>○ トップダウンにならぬよう、ボトムアップのサービス倫理委員会を継続した結果、不祥事ゼロを継続できた。</li> <li>○ 多忙化解消を図るため、日課表の改訂、学校行事の実施方法の改善を図ってきたが、多忙感を感じない職員がいることや、集団下校の時間制限により、子供と向き合う時間がなかなか取れないことが今年度の課題として残った。</li> <li>○ 地域に開かれた学校づくりにおいては、学校だよりを週2回発行し、2月末現在46号発行した。タイムリーな情報提供に努めた結果、保護者アンケートの「教育方針を説明している」「保護者の願いに応えた」がほぼ100%の評価だった。ホームページアクセス数も10万件を超えることができた。更新した日のアクセス数はぐんと増える傾向にあるので、週2回と言わずに、さらに更新回数を増やしていきたい。</li> </ul>	

評価は、A, B, C, Dの4段階評価とする

A(4):十分に目標を達成している。

B(3):おおむね、目標を達成している。

C(2):やや目標の達成には至っていない。

D(1):目標を達成していない。

【校長学校経営評価】

平成 31 年 2 月 1 日

学校名 桑折町立伊達崎小学校  
職氏名 校長 半澤 正保

平成 30 年度学校経営評価報告書

1 学校経営の方針

- (1) 「知徳体」の調和のとれた豊かな人間性と実践力のある子どもを育てるため、組織を生かした学校経営を推進する。
- (2) 教職員の職務遂行能力の向上を図る。
- (3) 「安全・安心な学校づくり」の具現化を通して、「生き抜く力」を育む。
- (4) 「教師の資質向上と不祥事を防止」するために、実態に応じた指導を推進する。

2 学校経営総合評価

- (1) 「知徳体」の調和のとれた豊かな人間性と実践力のある子どもを育てるため  
教職員の共通実践を通して「思考力・表現力・読解力」の育成に努めてきた。特に、地域人材や地域素材を生かした体験活動を基盤として取り組み、子どもの姿から着実に力が高まっていることが諸検査を通して確認できた。  
学びの土台づくりのため「音読・漢字・百マス計算の徹底反復」を朝学に位置づけ実践を積み重ねてきた。結果、児童の集中力が高まり着実に基礎基本の定着を図ることができた。  
教育活動全体を通して、「自己肯定感の向上」を目指してきた。子どもの頑張りや良さを見取り賞賛することや、自主性や主体性を育てるために児童会活動や各種行事で意図した児童への働きかけを全教員が同一歩調で取り組み、各種行事での子どもの姿に成長の様子を伺うことができた。また、ふれあいタイムや清掃活動などの各種活動を意図的に縦割り班で行い、上級生が下級生を思いやり、下級生が上級生を慕う姿が見られ、重点事項である「親切・思いやり」といった道徳心の向上が見られた。  
体力向上については、体育専科教員を活用した T T による授業やブロック合同体育を実施したり、あぶくまマラソンの推進や芝生の校庭を活用した多様なスポーツに触れる機会を多くすることで、運動が習慣化され持久力の向上がみられた。
- (2) 教職員の職務遂行能力の向上  
「授業第一」と考え「桑折町授業の改善・充実の視点」と県施策「授業スタンダード」をもとに、話し合いを重ね本校の研究の方向性について全教員の共通理解のもと授業実践することができた。特に、個々の教師が自らの授業力を高めたい視点を明らかにし、一人一研究授業等（算数科に限定）を行えたことは、自身の授業力向上だけでなく、小学校 6 年間の算数科の学びの系統性を確認し、「つなぐ」ことを意識した授業実践となった。今後は、日々の授業の充実を図っていききたい。  
生徒指導力に関しては、児童理解のために多面的・多角的に「児童一人一人を視る」ために定期的ないじめ調査アンケートや S S W を招聘したいじめ防止委員会の開催、Q-U テストの実施と分析、校内の生徒指導委員会や就学指導委員会の開催による情報交換を定期的に行い、問題点を全職員で共有し組織的に対応することで、教職員の生徒指導観が改善されてきた。  
学級経営力については、「教師の笑顔、愛と信頼」を基盤として、各学年の発達段階や児童一人ひとりの特性に応じた指導助言を心がけてきた。その中で、特に 6 年生は大きな成長を感じることができた。学習習慣や生活習慣については、学校独自で行っている「伊達崎小学びの強化週間」と関連させながら取り組んできた。保護者に対しても、ホームページ、懇談会等で学校の取り組みに対する理解と啓発活動を行ってきた。今後、特別な支援が必要な児童に対しての指導のあり方が課題となった。
- (3) 施設設備の定期点検を実施し、改善点を町教委に報告し、町教委ですぐ対応していただいた。実際に即した避難訓練、防犯訓練等関係機関の協力を得て工夫改善しながら行った。また、子どもの事故防止のため時期に応じた指導を行うとともに緊急の不審者情報対応が確認できた。
- (4) 職員会議等で各種通知や新聞報道に即したチェックリストを活用してきた。また、各学期末ごとに不祥事根絶のための行動計画に基づくアンケートを実施して、分析と対応を講じたり、教職員との個別面談時に自己を客観的に分析する時間を取り、不祥事根絶に向けて取り組んできた。白石方面や福島市内方面から遠距離通勤をしている教職員が多く、悪天候時や降雪時の注意喚起を適宜に行ってきた。
- (5) 保護者・地域への情報発信について  
ホームページ 1 日平均約 1000 件アクセスがあり、県内学校のトップクラスの閲覧回数となった。4 月～1 月末までの閲覧者が約 20 万件を超えた。昨年の約 3 倍の閲覧数となっている。ホームページを中心に、学校の教育活動の見える化により保護者との信頼関係を強化することができた。

3 学校経営課題の実施状況

- (1) 「知徳体」の調和のとれた豊かな人間性と実践力のある子どもを育てるために

項 目	主 な 実 践 事 項	評 価
重点事項	㊸ 確かな学びを実現する。「共に学び合い、高め、つなぐ」	B
	㊹ 豊かな心を育む。「教育活動全体を通して」	B
	㊺ 健やかな体を育む。「自分を知り、高める」	A

実践事項	① 教育活動全体を通して「思考力・表現力・読解力」を育成する。 ② 個に応じた学習指導を推進する。 ③ 地域外部講師の積極的活用を通して、体験的活動の充実を図る。 ④ 基礎・基本の確実な定着を図る。 ⑤ 読解力向上のため「読書活動」を推進する。	B
	① 道徳の時間を要とし、各教科や行事と関連を図り教育活動全体を通して道徳性を培う。 ② 道徳の授業時数の確保と指導法の工夫改善を図る。 ③ 「礼儀」「親切・思いやり」に重点を置き、教育活動全体を通して育成する。 ④ 心のケアと潤いのある環境づくりに取り組む。 ⑤ 郷土愛・愛校心を育むため、地域の教育力を生かすとともに地域の素材を積極的に活用する。 ⑥ 開かれた道徳の授業づくりに取り組む。	B
	① 自己の体力を知る。(体力テスト年2回実施、自分手帳の利用) ② 運動の日常化を図る。(年間を通してのあぶくまマラソンの励行、芝生を利用した多様な遊びの工夫) ③ 合同体育の実施と体育専科教師と担任によるTT授業を推進する。 ④ 体育の授業づくりと運動の日常化を図る。	A
	① 「学びのスタンダード推進事業」との連携を図る。 ② 教員の各研修会や授業研究会への積極的参加を促す。 ③ 「読み・書き・計算の徹底反復」活動を推進する。	A
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせボランティアにより、読書への意欲を高めようと努めてきた。また、月1回配置された学校司書により図書室内が充実してきた。23日が桑折町家読の日であることをホームページを通してPTAに読書活動を啓蒙してきた。様々な工夫をすすめてきたが朝読の時間が確保できないため読書の量は減少してきている。次年度は、日課表に読書に時間を位置づけられるよう検討していく。</li> <li>通常学級に特別な支援を要する子どもが多く、特別支援協力員が配置されているが集中した授業が展開できないこともあり、一人ひとりを大切に指導ができる環境を整えていくことができるよう改善していかなければならない。</li> <li>運動の日常化を図るため、あぶくまマラソンの実施により、走力・持久力ともに高めることができるのであるが、その力を年間を通じて持続させることができるよう工夫していく必要がある。</li> </ul>	

(2) 教職員の職務遂行能力の向上を図るために

項目	主な実践事項	評価
重点事項	① 授業力向上 ② 生徒指導力向上 ③ 学級経営力向上	B A B
実践事項	① 現職教育の中で「授業改善7つの視点」「学びのスタンダード」を基盤に、本校としての取り組む視点を焦点化・明確化を図りながら 授業研究会を実施する。 ② 管理職による日々の授業参観及び指導助言を行う。 ① 生徒指導対応について、管理職がリーダーシップをとって教職員に 指導・助言する。 ② 生徒指導の機能を生かした、授業や学級経営ができるように、指導と助言を行う。(Q-Uテストや各種調査の活用) ① 学級経営については「教師の笑顔、愛と信頼」を基盤として、各学年の発達段階や児童一人一人の個に応じた指導助言を心がける。 ② 学習習慣や生活習慣について、学校独自で行っている「伊達崎小学びの強化週間」アンケートをもとにPDCAサイクルを活用して、個別指導と学級経営に役立てる。 ③ 保護者との連携を深めるため、連絡帳や学級通信、懇談会等でこまめな連絡を行う。	B A B
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の授業の質的改善のために1日1回以上の教室訪問等を行っているが、指導助言については今後とも工夫していかなければならない。なお、授業の学習内容とその活動のようすについては、全学年ホームページに掲載し、保護者・地域・教職員への学校教育のありのままを見える化することを推進してきた。様々な視点から教育活動を振り返る素材としていく。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別な支援を要する児童の保護者と定期的に情報交換会を開催し、徐々にではあるが本音で話せる信頼関係を構築してきた。さらに、特別支援教育充実のためSC、SSWとの連携を強化し適切に対応できるように研修を深める必要がある。</li> <li>・ 学級経営については、各種アンケートやQ-Uテスト結果の分析を生かし、学級経営の一人ひとりに寄り添ったものとなるよう改善していく必要がある。</li> </ul>
--	---

(3) 「安全で安心な学校づくり」の具現化を通して、「生き抜く力」を育てために

項 目	主 な 実 践 事 項	評 価
重点事項	① 教職員の危機管理意識の高揚 ② 児童の事故防止 ③ 危険予知と回避能力の向上を図る	B A A
実践事項	① 会議や研修会等でリスクマネジメント、クライシスマネジメントについて教職員の意識の高揚を図る。 ① 「報告・連絡・相談」がスムーズに行われるよう職員間との信頼関係を構築する。 ② 定例の校内生徒指導協議会（いじめ対策委員会、不登校対策委員会、校内適性就学委員会）を開催し、共通理解や共通指導による迅速な対応に心がける。（早期発見・早期対応） ③ 「ホームページ」や「学年だより」等で安全教育について広く家庭に啓発する。 ④ 熊出没や不審者情報など、町教委や近隣学校と連携し、速やかに保護者への連絡と対応ができるようにする。 ① 関係機関と連携した避難訓練・防犯教室等による、危険予知と回避能力の育成を図る。	B A A
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例のいじめ防止対策委員会にSSWを招聘して開催したり、特別支援教育充実のため、ケース会議の開催、SCや通級指導教諭と連携を密に行い、対応の意識共有を図ってきたが、現在も日々の授業や学校生活において特別な支援を必要とする児童への対応に追われている。次年度、特別支援学級が設置されるよう計画的に準備をしていく。</li> <li>・ 多くの目で確認し「気付いたことは言葉にする」ことを教職員に周知し、「報告・連絡・相談」の体制は確立されているので、生徒指導上の小さな問題でも早急に初期対応する体制に強化していきたい。</li> <li>・ 緊急時の連絡方法について、「ホームページ」や「学校だより」で随時、保護者に知らせる体制ができています。今後、豪雪時の通学路を確保するための除雪について、PTAと協議していく必要がある。</li> </ul>	

(4) 「教師の資質向上と不祥事を防止」するために

項 目	主 な 実 践 事 項	評 価
重点事項	① 「不祥事根絶のための行動計画」を基にした取り組み ② 教職員の不祥事防止のための工夫・改善（面談時の自己の客観視、アンケート） ③ 体罰、わいせつ、セクハラ、交通事故防止に重点を置いた取り組み	A B B
実践事項	① 「不祥事根絶のための行動計画」をもとに、不祥事根絶に向けて取り組む。特に、期首面談や中間面談での自己の客観視の場を設け自分を見つめさせるとともに学期ごとに自己評価アンケートを実施する。その結果から、課題を把握し改善策を講じる。 ② 教頭と連携し、普段から教職員とのコミュニケーションを密にし、風通しのよい職場作りを行い、職員の心身の状況を把握する。 ③ 事例をもとにした服務理倫理委員会を開催する。	B
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「不祥事根絶のための行動計画」をもとに職員会議等で注意喚起している。また、不祥事防止のためのチェックリストの活用や新聞記事の配付、期首中間面談で一人一人に自己の行動を見つめ直す機会を設定してきた。更に、学期末に不祥事防止アンケートを実施して、課題を把握し課題を明らかにし不祥事根絶してきた。今後も、本校職員から不祥事を起こさないよう、一人ひとりの人生観と教育理念を明確にさせ風通しの良い職場づくりを行い厳正な指導を継続していく。</li> </ul>	

## 【校長学校経営評価】

平成31年2月22日

学校名 桑折町立醸芳中学校

職氏名 校長 大木 修

## 平成30年度学校経営評価報告書

## 1 学校経営の方針

- (1) 自ら学び、学力を高める生徒を育成する。(知)
- (2) 正しく判断し、思いやりをもって行動できる生徒を育成する。(徳)
- (3) 体力の向上と健康づくりに進んで取り組む生徒を育成する。(体)
- (4) 他者に貢献し、自らの志を育む生徒を育成する。

## 2 学校経営総合評価

- (1) 全国学力・学習状況調査において、国語・数学・理科の全3教科で県及び全国平均を上まわることができた。また、福島県教育委員会発行の「授業スタンダード」をもとにして授業の改善を図り、生徒が落ち着いて意欲的に取り組む授業を展開できるようになりつつある。また、「家庭学習スタンダード」をもとにして、学習・生活習慣の改善を図っている。
- (2) 大きないじめ事案はなく、落ち着いた学校生活を保持している。また、醸中祭(学校祭)や生徒会総会などの行事で、生徒たちが積極的に運営にあたる姿も見られる。
- (3) 「ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト事業」において昨年に続き2年連続で優秀校に選ばれた。明るく元気に体育の授業や部活動に取り組む雰囲気ができている。
- (4) 「職場体験学習」「立志式」「高校体験入学」「キャリア集会(模擬面接)」などをおして、自分の将来について考え、目標をもって学習や諸活動に取り組む様子が見られる。
- (5) 全校で不登校生徒が11名いる。復帰傾向がみられる生徒も多いとはいえ、厳しい状況である。生徒及び家庭を支えるために、関係機関と連携しながら組織的に指導・対応していく必要がある。

## 3 学校経営課題の実施状況

- (1) 自ら学び、学力を高める生徒を育成する。(授業改善と学力向上)

項目	主な実践事項	評価
		達成状況
重点事項	① 醸芳中学校の研究主題と「授業スタンダード」をもとにして、授業の改善を図る。	B
	② 学力向上に向けて、授業、朝自習での問題練習の機会を多くするとともに、家庭学習の充実を図る。	B
	③ 落ち着いた授業の基盤をつくる。	B
実践事項	①・ 学習形態を工夫するとともに、自分の考えを発表して話し合い、練り上げるためのコーディネートを工夫する。	B
	②・ 日常の自主学習を充実させ、定期的に定着確認シートやフォローアップシートを活用するとともに、各種テスト前の家庭学習を充実させる。	B
	③・ 授業1分前着席など「学習5つの約束」を徹底させる。	B
課題等	授業の改善を基盤に、授業の流れをふまえた学習の仕方や、テスト勉強の仕方を身に付けさせ、主体的、自覚的に学習に取り組む生徒を育てることが課題である。	

(2) 正しく判断し、思いやりをもって行動できる生徒を育成する。(道徳性, 社会性)

項 目	主 な 実 践 事 項	評 価
		達成状況
重点事項	① 道徳の授業を要として心の教育を充実させる。	B
	② 生徒会活動を活性化させ、学校生活を主体的に創る意識を高める。	A
	③ 規範意識を高め、落ち着いた学校生活をつくる。	A
	④ いじめ、不登校に対して組織的な対応をする。	B
実践事項	①・ 道徳の授業を充実させるとともに、日常生活指導、学校行事を通して思いやりの心を育てる。	B
	②・ 委員会活動の活性化を図るとともに、学校行事(醸中祭等)に生徒が主体的に企画運営に携われるような指導体制を整える。	A
	③・ 「静かな朝自習」「落ち着いた給食」「無言清掃」の取組を充実させる。	A
	・ QUテストを活用し、生徒一人一人の学級内における様子について把握し適切な指導助言を行う。	B
	④・ 共通理解、早期発見。早期対応をチームで行う。	B
・ SC, SSWに生徒指導委員会に参加するようにして、生徒の動向を把握してもらうとともに、各担任による二者相談、SCによる1年生の全員面談を実施する。	B	
課題等	他を思いやる行為の意義、大切さを理解し、TPOに応じた行動、明るくさわやかなあいさつができることなど社会性を高め、親和的でいじめのない集団、個々の社会に通用する力を育てたい。	

(3) 体力向上と健康づくりに進んで取り組む生徒を育成する。(体力向上と健康づくり)

項 目	お も な 実 践 事 項	評 価
		達成状況
重点事項	① ねらいを明確にした保健体育の授業を充実させる。	A
	② 運動の楽しさを味わい、意欲的に運動できる環境をつくる。	B
	③ 健康に関する知識を身につけ、自ら実践する力を育成する。	B
実践事項	①・ 陸上競技や球技など、それぞれの種目について生徒が活動の見通しを持てる単元構成となるように工夫する。学習カードを活用し、学んだことを振り返ることができるようにする。	A
	②・ 基礎基本をしっかりと身につけさせ、走る楽しさや球技におけるゲームの楽しさを実感できるようにする。	B
	・ グランドや体育館が広く十分に生徒が活動できるので、活動時間をできるだけ確保し、運動することに充実感を持てるようにする。	A
	・ 運動部の部活動を活性化させ、体力の向上を図る。	B
	③・ 薬物乱用防止教室、情報モラル教室などを開催し、健康を守るとともに、事件事故に巻き込まれないよう、知識と意識を高める。	B
課題等	う歯治療の促進、肥満の解消に努める必要がある。また、部活動において、各領域、各種競技の技能を高める取組を進めたい。	

(4) 他者に貢献し，自らの志を育む生徒を育成する。

項 目	主 な 実 践 事 項	評 価
		達成状況
重点事項	① 高い志を持って，自分の将来を切り拓いていくことのできる生徒を育成する。(志の教育を推進する。)	A
	② 望ましい学習・生活習慣を身につけさせる。	B
	③ 奉仕活動に積極的に取り組ませる。	A
実践事項	①・ 1年生は「職業人に学ぶ」において，2年生は「職場体験学習」において職業観や勤労観を深める。3年生は「高校調べや高校体験入学」「キャリア集会（模擬面接）」において進路への見通しを持つ。 ・ 入学式，立志式，卒業式をとおして，志をしっかりと持てるようにする。	A
	②・ 生徒一人一人の家庭学習，スマホやゲームの時間，就寝時間を把握し，望ましい学習生活習慣について指導する。	B
	③・ サマーショートボランティアや地域清掃等に，積極的に取り組む。	A
課題等	学級活動の時間に望ましい学習・生活習慣について考えさせるとともに，「学習・生活の記録」に家庭学習などの時間を記録させ，助言する。さらに，志を支える教養を高めるための読書活動を充実させる。	

評価は，A，B，C，Dの4段階評価とする

A（4）：十分に目標を達成している。

B（3）：おおむね，目標を達成している。

C（2）：やや目標の達成には至っていない。

D（1）：目標を達成していない。

## 【校長自己評価】

平成31年 2月5日

学校名 桑折町立醸芳小学校

職氏名 校長 木村 政文

## 平成30年度学校経営自己評価票

## 1 校長の学校経営・運営上のリーダーシップ

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教育目標の具現のため学校経営・運営ビジョンを教職員に周知し、その浸透と理解に努めたか。	B
2	校長は、学校経営上の課題を明確に示し、その遂行に当たって教職員を指導し、教職員人事評価システム制度の面接等において個々の取り組みを評価し、教職員の指導力及び資質の向上に努めたか。	B
3	校長は、児童生徒の学習権の堅持と生命の尊重を学校経営の柱とし、知・徳・体の調和のとれた学校経営に努めたか。	B
4	校長は、めざす学校経営の理念を児童生徒及び保護者や学校評議員に具体的に示し、地域と連携して教育課題の解決に当たったか。	B
5	校長は、児童生徒が夢や希望をもって学び、教職員が意欲をもって学校経営に参画できるよう、校風や伝統の確立及び職場環境の整備に努めたか。	B
6	校長は、教育の機会均等及び義務教育の理念を正しく理解し、公教育の最高責任者としての立場から保護者や地域の実態を正しくとらえ、共に協力して児童生徒の自己実現が図れるよう全力を挙げて学校経営に努めたか。	B

## 2 学校運営及び児童生徒、学校施設の管理

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教員の授業実施状況の管理及び指導力の向上や道德、特別活動の充実など、バランスのとれた学校運営に努め、教育委員会に届け出た教育課程を確実に実施したか。	B
2	校長は、児童生徒に確かな学力を身につけさせるため、教職員ともども児童生徒の特性や能力等の実態に応じ、特色ある学習活動を工夫し、学力の向上に努めたか。	B
3	校長は、児童生徒の健やかな成長に資するため、定期的に児童生徒の健康状態を把握し、事故ある時は養護教諭と連携し医師の診断を仰ぐ等、適切に対応するとともに保護者に対し説明責任・結果責任を果たしたか。	B
4	校長は、生徒指導上の諸問題について、日々積極的な生徒指導に努め、学習不適應やいじめ問題等にきめ細かな対応を行い、児童生徒の人格の尊重と命の遵守に努めたか。	B
5	校長は、定期的に学校施設内の点検に努め、破損箇所をはじめ危険箇所等の発見と修理を適切に行い、児童生徒や教職員及び保護者・地域の学校利用者の事故防止に努めたか。	B

### 3 教職員の指導・監督

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教職員の勤務状況を的確に把握するとともに、適正な服務監督に努め、児童生徒をはじめ保護者や地域から不信感を持たれることのないよう絶えず指導と監督に努めたか。	B
2	校長は、教職員の資質や能力及び教職年数等を勘案し、絶えず教職員個々の指導力の向上に努め、児童生徒が教職員を信頼し、楽しく充実した学校生活を送れるよう指導・監督に努めたか。	B
3	校長は、児童生徒の学級担任をはじめ他の教職員に対する苦情や訴え、声なき声に敏感に対応できる体制を構築し、児童生徒が安心して学校生活を送れるように努めたか。	B
4	校長は、教職員に対して常に「わかる授業」、「魅力ある授業」の創造に努めさせ、かつ教師一人一人の資質・能力の向上と教師としての豊かな人間性の高揚に努めたか。	B
5	校長は、日頃、教職員が学校施設の破損箇所及び危険個所を発見した場合、速やかな報告と危険個所の表示等、事故防止のための校内体制を整えるように努めたか。	B
6	校長は、教職員が常に働きやすい職場環境の整備に努めるとともに、「労働安全衛生管理体制」を整え、教職員の労務管理の重要性を認識し、健康管理の徹底と職務の効率的な遂行に努めたか。	B

### 4 教育委員会及び関係諸団体との連携

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、児童生徒及び教職員の事故や不祥事が発生した場合、速やかに教育委員会に報告し、指導を仰ぐとともに適切な事故の対応に努めたか。	B
2	校長は、町教育委員会の重点施策を理解し、校内体制を整え、組織を挙げて実現のために努力したか。	B
3	校長は、地域の各種団体の要請に誠意をもって応え、学校としてよく連携して地域の教育力の向上に努めたか。	B
4	校長は、町の青少年健全育成、学警連、交通安全協会等の関係団体との連携・協力や参画・活動の推進に努めたか。	B
5	校長は、学力向上のための「つなぐ教育」推進事業の趣旨に基づき、幼・小・中及びPTAとの連携に努めたか。	B

評価は、A, B, C, Dの4段階評価とする。

A (4) : 十分に目標を達成している。

B (3) : おおむね、目標の達成している。

C (2) : やや目標の達成には至っていない。

D (1) : 目標を達成していない。

※ 記入にあたって、形式・内容は同じ、評価のみ記入

【校長自己評価】

平成31年2月22日

学校名 桑折町立睦合小学校

職氏名 校長 大槻 誠

## 平成30年度 学校経営自己評価票

### 1 校長の学校経営・運営上のリーダーシップ

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教育目標の具現のため学校経営・運営ビジョンを教職員に周知し、その浸透と理解に努めたか。	B
2	校長は、学校経営上の課題を明確に示し、その遂行に当たって教職員を指導し、新人事評価制度の面接等において個々の取り組みを評価し、教職員の指導力及び資質の向上に努めたか。	B
3	校長は、児童生徒の学習権の堅持と生命の尊重を学校経営の柱とし、知・徳・体の調和のとれた学校経営に努めたか。	A
4	校長は、めざす学校経営の理念を児童生徒及び保護者や学校評議員に具体的に示し、地域と連携して教育課題の解決に当たったか。	A
5	校長は、児童生徒が夢や希望をもって学び、教職員が意欲をもって学校経営に参画できるよう、校風や伝統の確立及び職場環境の整備に努めたか。	B
6	校長は、教育の機会均等及び義務教育の理念を正しく理解し、公教育の最高責任者としての立場から保護者や地域の実態を正しくとらえ、共に協力して児童生徒の自己実現が図れるよう全力を挙げて学校経営に努めたか。	A

### 2 学校運営及び児童生徒、学校施設の管理

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教員の授業実施状況の管理及び指導力の向上や道徳、特別活動の充実など、バランスのとれた学校運営に努め、教育委員会に届け出た教育課程を確実に実施したか。	A
2	校長は、児童生徒に確かな学力を身につけさせるため、教職員ともども児童生徒の特性や能力等の実態に応じ、特色ある学習活動を工夫し、「授業スタンダード」を活用して学力の向上に努めたか。	B
3	校長は、児童生徒の健やかな成長に資するため、定期的に児童生徒の健康状態を把握し、事故ある時は養護教諭と連携し医師の診断を仰ぐ等、適切に対応するとともに保護者に対し説明責任・結果責任を果たしたか。	A
4	校長は、生徒指導上の諸問題について、日々積極的な生徒指導に努め、学習不適應やいじめ問題等にきめ細かな対応を行い、児童生徒の人格の尊重と命の遵守に努めたか。	A
5	校長は、定期的に学校施設内の点検に努め、破損箇所をはじめ危険箇所等の発見と修理を適切に行い、児童生徒や教職員及び保護者・地域の学校利用者の事故防止に努めたか。	A

### 3 教職員の指導・監督

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教職員の勤務状況を的確に把握するとともに、適正な服務監督に努め、児童生徒をはじめ保護者や地域から不信感を持たれることのないよう絶えず指導と監督に努めたか。	B
2	校長は、教職員の資質や能力及び教職年数等を勘案し、絶えず教職員個々の指導力の向上に努め、児童生徒が教職員を信頼し、楽しく充実した学校生活を送れるよう指導・監督に努めたか。	A
3	校長は、児童生徒の学級担任をはじめ他の教職員に対する苦情や訴え、声なき声に敏感に対応できる体制を構築し、児童生徒が安心して学校生活を送れるように努めたか。	A
4	校長は、教職員に対して常に「わかる授業」、「魅力ある授業」の創造に努めさせ、かつ教師一人一人の資質・能力の向上と教師としての豊かな人間性の高揚に努めたか。	B
5	校長は、日頃、教職員が学校施設の破損箇所及び危険箇所を発見した場合、速やかな報告と危険個所の表示等、事故防止のための校内体制を整えるように努めたか。	A
6	校長は、教職員が常に働きやすい職場環境の整備に努めるとともに、「労働安全衛生管理体制」を整え、教職員の労務管理の重要性を認識し、健康管理の徹底と職務の効率的な遂行に努めたか。	B

### 4 教育委員会及び関係諸団体との連携

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、児童生徒及び教職員の事故や不祥事が発生した場合、速やかに教育委員会に報告し、指導を仰ぐとともに適切な事故の対応に努めたか。	A
2	校長は、町教育委員会の重点施策を理解し、校内体制を整え、組織を挙げて実現のために努力したか。	A
3	校長は、地域の各種団体の要請に誠意をもって応え、学校としてよく連携して地域の教育力の向上に努めたか。	B
4	校長は、町の青少年健全育成、学警連、交通安全協会等の関係団体との連携・協力や参画・活動の推進に努めたか。	B
5	校長は、「学びのスタンダード」推進事業の趣旨に基づき、幼・小・中並びに家庭との連携の下に、授業改善・充実及び読書活動の定着に努めたか。	B

評価は、A, B, C, D の4段階評価とする

A (4) :十分に目標を達成している。

B (3) :おおむね、目標の達成している。

C (2) :やや目標の達成には至っていない。

D (1) :目標を達成していない。

※ 記入にあたって、形式・内容は同じ、評価のみ記入

## 【校長自己評価】

平成31年2月19日

学校名 桑折町立桑折町立半田醸芳小学校

職氏名 校長 宍戸 広子

## 平成30年度 学校経営自己評価票

## 1 校長の学校経営・運営上のリーダーシップ

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教育目標の具現のため学校経営・運営ビジョンを教職員に周知し、その浸透と理解に努めたか。	A
2	校長は、学校経営上の課題を明確に示し、その遂行に当たって教職員を指導し、新人事評価制度の面接等において個々の取り組みを評価し、教職員の指導力及び資質の向上に努めたか。	B
3	校長は、児童生徒の学習権の堅持と生命の尊重を学校経営の柱とし、知・徳・体の調和のとれた学校経営に努めたか。	A
4	校長は、めざす学校経営の理念を児童生徒及び保護者や学校評議員に具体的に示し、地域と連携して教育課題の解決に当たったか。	A
5	校長は、児童生徒が夢や希望をもって学び、教職員が意欲をもって学校経営に参画できるよう、校風や伝統の確立及び職場環境の整備に努めたか。	B
6	校長は、教育の機会均等及び義務教育の理念を正しく理解し、公教育の最高責任者としての立場から保護者や地域の実態を正しくとらえ、共に協力して児童生徒の自己実現が図れるよう全力を挙げて学校経営に努めたか。	A

## 2 学校運営及び児童生徒、学校施設の管理

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教員の授業実施状況の管理及び指導力の向上や道徳、特別活動の充実など、バランスのとれた学校運営に努め、教育委員会に届け出た教育課程を確実に実施したか。	A
2	校長は、児童生徒に確かな学力を身につけさせるため、教職員ともども児童生徒の特性や能力等の実態に応じ、特色ある学習活動を工夫し、「授業スタンダード」を活用して学力の向上に努めたか。	B
3	校長は、児童生徒の健やかな成長に資するため、定期的に児童生徒の健康状態を把握し、事故ある時は養護教諭と連携し医師の診断を仰ぐ等、適切に対応するとともに保護者に対し説明責任・結果責任を果たしたか。	A
4	校長は、生徒指導上の諸問題について、日々積極的な生徒指導に努め、学習不適応やいじめ問題等にきめ細かな対応を行い、児童生徒の人格の尊重と命の遵守に努めたか。	A
5	校長は、定期的に学校施設内の点検に努め、破損箇所をはじめ危険箇所等の発見と修理を適切に行い、児童生徒や教職員及び保護者・地域の学校利用者の事故防止に努めたか。	A

### 3 教職員の指導・監督

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教職員の勤務状況を的確に把握するとともに、適正な服務監督に努め、児童生徒をはじめ保護者や地域から不信感を持たれることのないよう絶えず指導と監督に努めたか。	B
2	校長は、教職員の資質や能力及び教職年数等を勘案し、絶えず教職員個々の指導力の向上に努め、児童生徒が教職員を信頼し、楽しく充実した学校生活を送れるよう指導・監督に努めたか。	B
3	校長は、児童生徒の学級担任をはじめ他の教職員に対する苦情や訴え、声なき声に敏感に対応できる体制を構築し、児童生徒が安心して学校生活を送れるように努めたか。	A
4	校長は、教職員に対して常に「わかる授業」、「魅力ある授業」の創造に努めさせ、かつ教師一人一人の資質・能力の向上と教師としての豊かな人間性の高揚に努めたか。	A
5	校長は、日頃、教職員が学校施設の破損箇所及び危険個所を発見した場合、速やかな報告と危険個所の表示等、事故防止のための校内体制を整えるように努めたか。	A
6	校長は、教職員が常に働きやすい職場環境の整備に努めるとともに、「労働安全衛生管理体制」を整え、教職員の労務管理の重要性を認識し、健康管理の徹底と職務の効率的な遂行に努めたか。	B

### 4 教育委員会及び関係諸団体との連携

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、児童生徒及び教職員の事故や不祥事が発生した場合、速やかに教育委員会に報告し、指導を仰ぐとともに適切な事故の対応に努めたか。	A
2	校長は、町教育委員会の重点施策を理解し、校内体制を整え、組織を挙げて実現のために努力したか。	B
3	校長は、地域の各種団体の要請に誠意をもって応え、学校としてよく連携して地域の教育力の向上に努めたか。	A
4	校長は、町の青少年健全育成、学警連、交通安全協会等の関係団体との連携・協力や参画・活動の推進に努めたか。	A
5	校長は、「学びのスタンダード」推進事業の趣旨に基づき、幼・小・中並びに家庭との連携の下に、授業改善・充実及び読書活動の定着に努めたか。	A

評価は、A、B、C、Dの4段階評価とする

A（4）：十分に目標を達成している。

B（3）：おおむね、目標の達成している。

C（2）：やや目標の達成には至っていない。

D（1）：目標を達成していない。

※ 記入にあたって、形式・内容は同じ、評価のみ記入

## 【校長自己評価】

平成 31 年 2 月 1 日

学校名 桑折町立伊達崎小学校

職氏名 校長 半 澤 正 保

## 平成 30 年度学校経営自己評価票

## 1 校長の学校経営・運営上のリーダーシップ

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教育目標の具現のため学校経営・運営ビジョンを教職員に周知し、その浸透と理解に努めたか。	A
2	校長は、学校経営上の課題を明確に示し、その遂行に当たって教職員を指導し、新人事評価制度の面接等において個々の取り組みを評価し、教職員の指導力及び資質の向上に努めたか。	B
3	校長は、児童生徒の学習権の堅持と生命の尊重を学校経営の柱とし、知・徳・体の調和のとれた学校経営に努めたか。	A
4	校長は、めざす学校経営の理念を児童生徒及び保護者や学校評議員に具体的に示し、地域と連携して教育課題の解決に当たったか。	B
5	校長は、児童生徒が夢や希望をもって学び、教職員が意欲をもって学校経営に参画できるよう、校風や伝統の確立及び職場環境の整備に努めたか。	B
6	校長は、教育の機会均等及び義務教育の理念を正しく理解し、公教育の最高責任者としての立場から保護者や地域の実態を正しくとらえ、共に協力して児童生徒の自己実現が図れるよう全力を挙げて学校経営に努めたか。	B

## 2 学校運営及び児童生徒、学校施設の管理

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教員の授業実施状況の管理及び指導力の向上や道徳、特別活動の充実など、バランスのとれた学校運営に努め、教育委員会に届け出た教育課程を確実に実施したか。	A
2	校長は、児童生徒に確かな学力を身につけさせるため、教職員ともども児童生徒の特性や能力等の実態に応じ、特色ある学習活動を工夫し、「授業スタンダード」を活用して学力の向上に努めたか。	B
3	校長は、児童生徒の健やかな成長に資するため、定期に児童生徒の健康状態を把握し、事故ある時は養護教諭と連携し医師の診断を仰ぐ等、適切に対応するとともに保護者に対し説明責任・結果責任を果たしたか。	B
4	校長は、生徒指導上の諸問題について、日々積極的な生徒指導に努め、学習不適應やいじめ問題等にきめ細かな対応を行い、児童生徒の人格の尊重と命の遵守に努めたか。	B
5	校長は、定期に学校施設内の点検に努め、破損箇所をはじめ危険箇所等の発見と修理を適切に行い、児童生徒や教職員及び保護者・地域の学校利用者の事故防止に努めたか。	A

### 3 教職員の指導・監督

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教職員の勤務状況を的確に把握するとともに、適正な服務監督に努め、児童生徒をはじめ保護者や地域から不信感を持たれることのないよう絶えず指導と監督に努めたか。	A
2	校長は、教職員の資質や能力及び教職年数等を勘案し、絶えず教職員個々の指導力の向上に努め、児童生徒が教職員を信頼し、楽しく充実した学校生活を送れるよう指導・監督に努めたか。	B
3	校長は、児童生徒の学級担任をはじめ他の教職員に対する苦情や訴え、声なき声に敏感に対応できる体制を構築し、児童生徒が安心して学校生活を送れるように努めたか。	A
4	校長は、教職員に対して常に「わかる授業」、「魅力ある授業」の創造に努めさせ、かつ教師一人一人の資質・能力の向上と教師としての豊かな人間性の高揚に努めたか。	B
5	校長は、日頃、教職員が学校施設の破損箇所及び危険箇所を発見した場合、速やかな報告と危険個所の表示等、事故防止のための校内体制を整えるように努めたか。	A
6	校長は、教職員が常に働きやすい職場環境の整備に努めるとともに、「労働安全衛生管理体制」を整え、教職員の労務管理の重要性を認識し、健康管理の徹底と職務の効率的な遂行に努めたか。	B

### 4 教育委員会及び関係諸団体との連携

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、児童生徒及び教職員の事故や不祥事が発生した場合、速やかに教育委員会に報告し、指導を仰ぐとともに適切な事故の対応に努めたか。	B
2	校長は、町教育委員会の重点施策を理解し、校内体制を整え、組織を挙げて実現のために努力したか。	B
3	校長は、地域の各種団体の要請に誠意をもって応え、学校としてよく連携して地域の教育力の向上に努めたか。	A
4	校長は、町の青少年健全育成、学警連、交通安全協会等の関係団体との連携・協力や参画・活動の推進に努めたか。	B
5	校長は、「学びのスタンダード」推進事業の趣旨に基づき、幼・小・中並びに家庭との連携の下に、授業改善・充実及び読書活動の定着に努めたか。	A

評価は、A、B、C、Dの4段階評価とする

A（4）：十分に目標を達成している。

B（3）：おおむね、目標の達成している。

C（2）：やや目標の達成には至っていない。

D（1）：目標を達成していない。

※ 記入にあたって、形式・内容は同じ、評価のみ記入

## 【校長自己評価】

平成31年 2月22日

学校名 桑折町立醸芳中学校

職氏名 校長 大木 修

## 平成30年度 学校経営自己評価票

## 1 校長の学校経営・運営上のリーダーシップ

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教育目標の具現のため学校経営・運営ビジョンを教職員に周知し、その浸透と理解に努めたか。	A
2	校長は、学校経営上の課題を明確に示し、その遂行に当たって教職員を指導し、新人事評価制度の面接等において個々の取り組みを評価し、教職員の指導力及び資質の向上に努めたか。	B
3	校長は、児童生徒の学習権の堅持と生命の尊重を学校経営の柱とし、知・徳・体の調和のとれた学校経営に努めたか。	B
4	校長は、めざす学校経営の理念を児童生徒及び保護者や学校評議員に具体的に示し、地域と連携して教育課題の解決に当たったか。	A
5	校長は、児童生徒が夢や希望をもって学び、教職員が意欲をもって学校経営に参画できるよう、校風や伝統の確立及び職場環境の整備に努めたか。	B
6	校長は、教育の機会均等及び義務教育の理念を正しく理解し、公教育の最高責任者としての立場から保護者や地域の実態を正しくとらえ、共に協力して児童生徒の自己実現が図れるよう全力を挙げて学校経営に努めたか。	B

## 2 学校運営及び児童生徒、学校施設の管理

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教員の授業実施状況の管理及び指導力の向上や道徳、特別活動の充実など、バランスのとれた学校運営に努め、教育委員会に届け出た教育課程を確実に実施したか。	B
2	校長は、児童生徒に確かな学力を身につけさせるため、教職員ともども児童生徒の特性や能力等の実態に応じ、特色ある学習活動を工夫し、「授業スタンダード」を活用して学力の向上に努めたか。	A
3	校長は、児童生徒の健やかな成長に資するため、定期的に児童生徒の健康状態を把握し、事故ある時は養護教諭と連携し医師の診断を仰ぐ等、適切に対応するとともに保護者に対し説明責任・結果責任を果たしたか。	B
4	校長は、生徒指導上の諸問題について、日々積極的な生徒指導に努め、学習不適応やいじめ問題等にきめ細かな対応を行い、児童生徒の人格の尊重と命の遵守に努めたか。	B
5	校長は、定期的に学校施設内の点検に努め、破損箇所をはじめ危険箇所等の発見と修理を適切に行い、児童生徒や教職員及び保護者・地域の学校利用者の事故防止に努めたか。	B

### 3 教職員の指導・監督

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、教職員の勤務状況を的確に把握するとともに、適正な服務監督に努め、児童生徒をはじめ保護者や地域から不信感を持たれることのないよう絶えず指導と監督に努めたか。	A
2	校長は、教職員の資質や能力及び教職年数等を勘案し、絶えず教職員個々の指導力の向上に努め、児童生徒が教職員を信頼し、楽しく充実した学校生活が送れるよう指導・監督に努めたか。	A
3	校長は、児童生徒の学級担任をはじめ他の教職員に対する苦情や訴え、声なき声に敏感に対応できる体制を構築し、児童生徒が安心して学校生活を送れるように努めたか。	B
4	校長は、教職員に対して常に「わかる授業」、「魅力ある授業」の創造に努めさせ、かつ教師一人一人の資質・能力の向上と教師としての豊かな人間性の高揚に努めたか。	B
5	校長は、日頃、教職員が学校施設の破損箇所及び危険個所を発見した場合、速やかな報告と危険個所の表示等、事故防止のための校内体制を整えるように努めたか。	B
6	校長は、教職員が常に働きやすい職場環境の整備に努めるとともに、「労働安全衛生管理体制」を整え、教職員の労務管理の重要性を認識し、健康管理の徹底と職務の効率的な遂行に努めたか。	B

### 4 教育委員会及び関係諸団体との連携

番号	主な評価事項	評価
1	校長は、児童生徒及び教職員の事故や不祥事が発生した場合、速やかに教育委員会に報告し、指導を仰ぐとともに適切な事故の対応に努めたか。	A
2	校長は、町教育委員会の重点施策を理解し、校内体制を整え、組織を挙げて実現のために努力したか。	B
3	校長は、地域の各種団体の要請に誠意をもって応え、学校としてよく連携して地域の教育力の向上に努めたか。	B
4	校長は、町の青少年健全育成、学警連、交通安全協会等の関係団体との連携・協力や参画・活動の推進に努めたか。	B
5	校長は、「学びのスタンダード」推進事業の趣旨に基づき、幼・小・中並びに家庭との連携の下に、授業改善・充実及び読書活動の定着に努めたか。	A

評価は、A、B、C、Dの4段階評価とする

- A (4)：十分に目標を達成している。
- B (3)：おおむね、目標の達成している。
- C (2)：やや目標の達成には至っていない。
- D (1)：目標を達成していない。

※ 記入にあたって、形式・内容は同じ、評価のみ記入

### 3 教育委員会の園長に委任する事務の管理 及び執行状況

## 【こども園長園経営評価】

平成31年2月28日

職氏名 園長 三村 孝子

## 平成30年度 こども園経営評価報告書

## 1 園経営の方針

- (1) 「15歳のめざす姿」の実現に向けて、保育所、幼稚園、小、中学校それぞれの教育内容や指導の在り方について共通理解を図り、小学校への円滑な接続を意図した保育・教育を推進する。
- (2) 『心豊かにたくましく生きる子ども』の育成のために、「丈夫な体をもつ子ども」、「友達とよく遊ぶ子ども」、「進んで活動する子ども」を目指す。
- (3) 幼稚園の統合を受け、事故なく安心して生活ができるような環境を提供する。

## 2 園経営総合評価

- (1) 小・中学校の授業研究会への参加や小学校長を講師に招いての保育研究会を実施したり、各学年毎に講師の先生を招いてご指導いただいたことで、小学校との連続性のある指導法について学ぶことができ、一人一人の指導力アップにもつながった。
- (2) 体力、運動能力向上のため、1学年1実践の取組みや外部講師による運動遊びを実施するとともに、戸外での活動を意図的に多く取り入れたことで、園児たちが自ら積極的に体を動かす姿が多くみられるようになった。また、あいさつや集団生活の中の決まりや約束をきちんと守る姿も見られ多くの友達と関わって遊ぶことができた。  
4園統合により園児数が増えたことで、刺激し合える環境の場が増え、意欲的に活動したり、頑張ろうとしたりする場面が増えた。結果、一人一人が生き生きと楽しそうに活動し、成長の幅が広がっていたと感じた。
- (3) 「家庭生活習慣のポイント」の重点である「早寝、早起き、朝ご飯」、「元気なあいさつ」、「絵本の読み聞かせ」、について、家庭や園でも取り組むとともに、今年度は保育所と幼稚園の3歳児を対象に川島隆太先生をお招きしご講話をいただいた。そのことにより、多くの家庭で実践しようとする意欲が感じられた。
- (4) 安心して生活ができるような環境を提供することにより、大きな事故やけがなく1年間過ごすことができた。

## 3 園経営重点事項の実施状況

- (1) 幼児の健康な心と体を育むために

項目	主な実践事項	評価
		達成状況
重点事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体を動かす心地よさや楽しさを感じ取らせる教師のかかわりの工夫</li> <li>○ 体の基礎をつくり運動機能を発達させる遊びの充実</li> </ul>	A
実践事項	・ 体を動かす遊びの継続的な取り組みの推進	A
	・ 1学年1実践、1学級1実践	A
	・ 外部講師による幼児への運動遊びの指導	A
	・ 運動遊びを誘発する環境の構成	B
	・ 身体諸機能の発達に応じた場の工夫	B
	・ 意欲を引き出す教材や教具の提示	B
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前年と比較し運動能力は高まってきた。今後も、戸外での遊びや園外保育などを多く取り入れ運動能力、体力向上に向け様々な取り組みを行っていききたい。</li> <li>○ 体を支えたり、投げたりする力が男女共に劣っている結果が出ている。手や腕を使った遊びを取り入れていききたい。</li> </ul>	

(2) 豊かな心を育むために

項 目	主な実践事項	評 価
		達成状況
重点事項	○ 絵本に興味や関心を持てるような場や提示の工夫	A
	・ 経験や体験、または季節や時期に応じた絵本の提示の工夫	A
実践事項	・ 1日1冊絵本を読む時間の確保	A
	・ 絵本の部屋の充実	A
	・ 家庭での読み聞かせの啓蒙（1日1冊）	B
課題等	○ 町からの予算を大いに活用し、絵本の充実を図った。また、寄贈などもあり、より絵本の部屋の充実が図れた。 ○ 毎週全家庭に幼稚園の絵本を持ち帰るようにしたことで最低でも週1冊は読めるように家庭と関わっている。そのため、4冊以上読んでいる家庭が増えてきている。	

(3) いろいろな事に興味や関心を持たせるために。

項 目	主な実践事項	評 価
		達成状況
重点事項	○ いろいろな経験や活動の提示の工夫 ○ 知的好奇心を満足させるような環境の工夫	B
実践事項	・ 年齢に合った、様々な経験や活動の精選	A
	・ 四季折々の自然事象や動植物や園内外の自然に触れさせる実体験の充実	A
	・ 行事に伴う意味や由来の理解	A
	・ 周囲の友達や環境などに関心を持たせるための言葉かけの工夫	B
	・ 十分に遊びを楽しませる時間と場の確保	B
	・ 絵本や図鑑などの活用	A
課題等	○ 年齢に応じた興味や関心の持てる経験や活動を提示してきた。特に行事に参加することで季節を感じたり、行事の意味や由来を知ったりすることができた。 ○ いろいろな事に興味や関心を持たせたいばかりに、単発的な行事が多く、十分に遊びを楽しませるまでの時間が確保できない時があった。	

4) 事故なく安心な生活を送るために。

項 目	主な実践事項	評 価
		達成状況
重点事項	○ 幼稚園統合を受け、安心、安全な幼稚園生活の確保	A
実践事項	・ 月1回の安全点検の実施やその都度の各担任の見回り	A
	・ 朝の立哨指導の実施	B
課題等	○ 大きな事故、けがなく1年過ごすことができた。安全点検の実施に伴い、危険な箇所は早期に改善してきたこともあり安心・安全な生活を送る事が出来た。 ○ 交通指導員の要請や保護者の交通ルールへの意識付けを行うことで、交通事故を防止することができた。ただ、大きな行事等により立哨指導ができない日もあり残念であった。 ○ 安全・安心な生活を送るために、避難訓練（火災・地震・不審者・弾道ミサイル）などを年間10回実施した。	

評価は、A、B、C、Dの4段階評価とする。

A(4)：十分に目標を達成している。B(3)：おおむね、目標を達成している。

C(2)：やや目標の達成には至っていない。D(1)：目標を達成していない。

## 【園長自己評価】

平成 3 1 年 2 月 2 8 日

桑折町立 醸 芳 幼稚園

職氏名 園長 三村 孝子

## 平成 3 0 年度 幼稚園経営自己評価票

## 1 園長の学校経営・運営上のリーダーシップ

番号	主な評価事項	評価
1	園長は、教育目標の具現のため、園経営・運営ビジョンを教職員に周知し、その理解に努めたか。	B
2	園長は、園経営上の課題を明確に示し、その遂行に当たって教職員を指導し、その取り組みを評価したか	B
3	園長は、めざす園経営の理念を保護者に具体的に示し、園経営上の課題の解決に当たったか。	B
4	園長は、園児が毎日を楽しみ通園し、教職員が意欲をもって園経営に参画できるように、「園風」や伝統及び職場環境の整備に努めたか。	A
5	園長は、幼稚園教育の理念を深く理解し、園の最高責任者としての立場から保護者や地域の実態を正しくとらえ、共に協力して園児の自己実現が図れるよう全力を挙げて園経営に努めたか。	B

## 2 教育（保育）及び園施設の管理

番号	主な評価事項	評価
1	園長は、教員（保育士）の保育実施状況の管理及び指導力の向上に努め、教育課程（保育）を確実に実施したか。	B
2	園長は、教職員ともども園児の特性や能力等の実態に応じ、特色ある保育活動を展開し、園児の遊びの充実に努めたか。	B
3	園長は、園児の健やかな成長に資するため、定期に園児の健康状態を把握し、事故ある時は教職員及び保護者と連携し医師の診断を仰ぐ等、適切に対応するとともに保護者に対し説明責任・結果責任を果たしたか。	A
4	園長は、園生活不適應やいじめ問題等にきめ細かな対応を行い、園児の人格の尊重と命の遵守に努めたか。	A
5	園長は、定期に園内の施設の点検に努め、破損箇所をはじめ危険箇所等の発見と修理を適切に行い、園児や教職員及び保護者・地域の園利用者の事故防止に努めたか。	A

### 3 教職員の指導・監督

番号	主な評価事項	評価
1	園長は、教職員の勤務状況を的確に把握するとともに、適正な服務監督に努め、園児をはじめ保護者や地域から不信感を持たれることのないよう絶えず指導と監督に努めたか。	B
2	園長は、教職員の資質や能力及び経験年数等を勘案し、絶えず教職員個々の指導力の向上に努め、園児が教職員を信頼し、楽しく充実した園生活を送れるよう指導・監督に努めたか。	B
3	園長は、園経営に対する苦情や教職員に対する苦情・訴え等に敏感に対応できる体制を構築し、園児が安心して学校生活を送れるように努めたか。	A
4	園長は、日頃、教職員が園施設の破損箇所及び危険個所を発見した場合、速やかな報告と危険個所の表示等、事故防止のための園の体制を整えるように努めたか。	B
5	園長は、教職員が常に働きやすい職場環境の整備に努めるとともに、健康管理の徹底と職務の効率的な遂行に努めたか。	A

### 4 教育委員会及び関係諸団体との連携

番号	主な評価事項	評価
1	園長は、園児及び教職員の事故や不祥事が発生した場合、速やかに教育委員会に報告し、指導を仰ぐとともに適切な事故の対応に努めたか。	A
2	園長は、町教育委員会の重点施策を理解し、その実現のために組織を挙げて努力したか。	B
3	園長は、地域の各種団体の要請に誠意をもって応え、園としてよく連携して地域の保育力の向上に努めたか。	A
4	園長は、町の青少年健全育成、ボランティアセンター、交通安全協会等の関係団体との連携・協力や参画・活動の推進に努めたか。	B
5	園長は、「学びのスタンダード」推進事業の趣旨に基づき、小・中及び家庭との連携推進に努めたか。	B

※ 4-(5)の項目は、保育所において評価対象外

評価は、A, B, C, Dの4段階評価とする。

A(4)：十分に目標を達成している。

B(3)：おおむね、目標を達成している。

C(2)：やや目標の達成には至っていない。

D(1)：目標を達成していない。

## 【所長自己評価】

平成31年2月28日

桑折町立 醸 芳 保育所

職氏名 所長 片平 真由美

## 平成30年度 保育所経営自己評価票

## 1 所長の学校経営・運営上のリーダーシップ

番号	主な評価事項	評価
1	所長は、保育目標の具現のため、所経営・運営ビジョンを教職員に周知し、その理解に努めたか。	A
2	所長は、所経営上の課題を明確に示し、その遂行に当たって教職員を指導し、その取り組みを評価したか	B
3	所長は、めざす所経営の理念を保護者に具体的に示し、所経営上の課題の解決に当たったか。	B
4	所長は、入所児が毎日を楽しみ通所し、教職員が意欲をもって所経営に参画できるよう、「所風」や伝統及び職場環境の整備に努めたか。	B
5	所長は、所保育の理念を深く理解し、所の最高責任者としての立場から保護者や地域の実態を正しくとらえ、共に協力して所児の自己実現が図れるよう全力を挙げて所経営に努めたか。	B

## 2 保育及び所施設の管理

番号	主な評価事項	評価
1	所長は、保育士等の保育実施状況の管理及び指導力の向上に努め、保育課程を確実に実施したか。	B
2	所長は、職員ともども入所児の特性や能力等の実態に応じ、特色ある保育活動を展開し、入所児の遊びの充実に努めたか。	A
3	所長は、入所児の健やかな成長に資するため、定期に入所児の健康状態を把握し、事故ある時は職員及び保護者と連携し医師の診断を仰ぐ等、適切に対応するとともに保護者に対し説明責任・結果責任を果たしたか。	A
4	所長は、所生活不適応やいじめ問題等にきめ細かな対応を行い、入所児の人格の尊重と命の遵守に努めたか。	A
5	所長は、定期に所内の施設の点検に努め、破損箇所をはじめ危険箇所等の発見と修理を適切に行い、入所児や職員及び保護者・地域の所利用者の事故防止に努めたか。	A

### 3 教職員の指導・監督

番号	主な評価事項	評価
1	所長は、教職員の勤務状況を的確に把握するとともに、適正な服務監督に努め、入所児をはじめ保護者や地域から不信感を持たれることのないよう絶えず指導と監督に努めたか。	A
2	所長は、職員の資質や能力及び経験年数等を勘案し、絶えず教職員個々の指導力の向上に努め、入所児が職員を信頼し、楽しく充実した所生活が送れるよう指導・監督に努めたか。	B
3	所長は、所経営に対する苦情や職員に対する苦情・訴え等に敏感に対応できる体制を構築し、入所児が安心して学校生活が送れるように努めたか。	B
4	所長は、日頃、職員が所施設の破損箇所及び危険箇所を発見した場合、速やかな報告と危険箇所の表示等、事故防止のための所の体制を整えるように努めたか。	A
5	所長は、職員が常に働きやすい職場環境の整備に努めるとともに、健康管理の徹底と職務の効率的な遂行に努めたか。	A

### 4 教育委員会及び関係諸団体との連携

番号	主な評価事項	評価
1	所長は、入所児及び教職員の事故や不祥事が発生した場合、速やかに教育委員会に報告し、指導を仰ぐとともに適切な事故の対応に努めたか。	A
2	所長は、町教育委員会の重点施策を理解し、その実現のために組織を挙げて努力したか。	B
3	所長は、地域の各種団体の要請に誠意をもって応え、所としてよく連携して地域の保育力の向上に努めたか。	A
4	所長は、町の青少年健全育成、ボランティアセンター、交通安全協会等の関係団体との連携・協力や参画・活動の推進に努めたか。	A

評価は、A, B, C, Dの4段階評価とする。

A(4)：十分に目標を達成している。

B(3)：おおむね、目標を達成している。

C(2)：やや目標の達成には至っていない。

D(1)：目標を達成していない。

※ 記入に当たって、自己評価の内容・形式は同じですので、評価の欄のみ記入となります。

## 4 第三者評価委員会による評価

桑折町教育委員会の所管事務に係る点検及び評価に関する第三者評価委員会設置に関する規則

平成23年4月1日

教委規則第2号

(設置の目的)

第1条 桑折町教育委員会（以下「教育委員会」という。）の所管事務に係る管理及び執行状況について地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条1項に規定する点検及び評価を実施するにあたり、教育施策の改善・充実に向け、同条第2項の規定により外部有識者の知見を活用するため、第三者評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置する。

(所管事務)

第2条 評価委員会は、当該年度における次の各号に掲げる事項について評価し、その結果を教育委員会に報告する。

- (1) 教育委員会関係の管理及び執行状況及び事務局の事務執行に関する自己評価
- (2) 町立小・中学校の学校経営報告及び自己評価
- (3) 町立幼稚園経営報告及び自己評価

(組織)

第3条 評価委員会は、委員3名をもって組織する。

2 委員は、有識者のうちから教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から2年間とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長等)

第5条 評価委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 評価委員会の会議は委員長が招集し、これを主宰する。

(報告書)

第7条 評価委員会は、当該年度の評価結果を評価報告書にまとめ、翌年度6月までに教育委員会に報告する。

(守秘義務)

第8条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(庶務)

第9条 評価委員会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(委任規定)

第10条 この規則に定めるものの他、評価委員会の運営に関し必要場事項は教育委員会が別に定める。

附則 この規則は、平成23年4月1日より施行する。

この規則は、平成24年4月1日より施行する。

## 平成30年度 第1回 第三者評価委員会要項

- ◇ 平成30年6月26日(火)
- ◇ 13:00~14:00
- ◇ 桑折町役場 第2会議室

### 1 開会のことば

### 2 教育長あいさつ

### 3 協議(委員長)

#### (1) 委員長あいさつ

#### (2) 平成30年度評価の進め方について

#### (3) 平成30年度桑折町教育委員会の重点について

#### (4) 質疑

#### (5) その他

### 4 閉会のことば(副委員長)

## 平成30年度 第1回「第三者評価委員会」で話し合われた主な内容（要点）

出席者：高橋委員長、鈴木副委員長  
教育長、こども教育課長、生涯学習課長  
事務局

### □ 教育長あいさつ

- 第三者評価委員会の持ち方について変更させていただく。これまでは、教育委員会の業務全体についての説明が不足していた。そのため、今年度からは、1回目で教育委員会の業務について各課長より説明し、2回目で学校経営について園長校長より説明をさせていただくことにする。ご理解いただきたい。
- 平成30年度も3か月が過ぎようとしている。町の総合計画に基づく教育施策の実施に努めているところである。その総合計画の方針「志高い人材を育む学びの醸成」の実現を目指してしっかりと取り組んで参りたい。

### □ 協議

座長 高橋 徹委員長

#### (1) 委員長あいさつ

- 醸芳小学校で「学びのスタンダード」について他県から視察が来たとのニュースが載っていた。町民としても喜ばしいことである。
- 醸芳中学校の学力テストの結果がすべてに渡って県平均を超えている。教育委員会の指導の下に順調に成果を発揮していたと思う。

#### (2) 平成30年度評価の進め方について（事務局説明）

- 平成30年度の第三者評価委員会の年間計画の説明

#### (3) 平成30年度桑折町教育委員会の重点について

- こども教育課長、生涯学習課長より「今年度の重点」について説明

#### (4) 質疑（○ 質問・意見、→ 応答）

- 保育所の評価について。（高橋委員長）

Q 保育所についても評価するのか。

A 保育所と幼稚園をこども園として運営しているので、保育所の評価もお願いしたい。（課長）

- いじめ問題について

Q いじめられている者に対処法を教えているのか。（鈴木副委員長）

A 教育委員会、各学校でいじめ防止基本方針を作っていて、子ども、保護者に周知している。その中で、いじめは絶対に許されない行為、犯罪であることを伝えるとともに、いじめを受けた、見た時は、親、教員に相談するよう指導している。（教育長）

# 平成30年度 第2回 第三者評価委員会要項

日時 平成30年10月26日(金)

午後3時30分～

場所 桑折町役場 第2会議室

1 開会のことば

2 教育長あいさつ

3 協議(委員長)

(1)幼稚園、小中学校「今年度の重点」の説明及び中間報告

(2)質疑

(3)その他

4 閉会のことば

平成30年度 第2回「第三者評価委員会」で話し合われた主な内容（要点）

出席者：高橋委員長、鈴木副委員長、蓬田委員  
教育長、幼稚園長、各小学校長、中学校長、こども教育課長、事務局

□ 教育長あいさつ

□ 協議

座長 高橋 徹委員長

(1) 幼稚園、小中学校「今年度の」重点の説明及び中間報告(核施設7分程度で説明)

- ① 醸芳幼稚園 →② 醸芳小学校→③ 睦合小学校→④ 半田醸芳小学校→  
⑤ 伊達崎小学校→⑥ 醸芳中学校の順に説明を行った。

(2) 「学びのスタンダード」推進事業の進捗状況について

※ 蓬田指導主事がP13～P20までの内容を説明した。

特に、徹底反復練習の取組、11月7日の川島教授の幼稚園家庭教育学級での講演、11月10日の醸芳小授業公開、11月17日の醸芳中授業公開、アンケート結果から今後の取組について説明した。

(3) 質疑（○：質問・意見、→：応答）

- 読書の量に関して多少の発言はあったが、具体的な学年では何冊という目安があるのか。読書経験段階に応じた目標はあるのか。学校と家庭とで共有して取り組めると効果が上がる。（鈴木副委員長）  
→幼稚園…精神安定を目指して、毎日1冊の読み聞かせの目標設定とカードの記録・提出を義務づけている。差が出てきている。
- 絵本等の紹介はしているのか。（高橋委員長）  
→幼稚園…本を借りていく方は限られているので、絵本の紹介やお薦めの本などを紹介するなど推進していきたい。
- 絵本を読むにしてもどんな本を読めばいいのか明確ではないので、保護者が選ぶ際に戸惑っていると感じられる。（鈴木副委員長）  
→睦合小…秋田の研修で見たことだが、「必読書〇〇冊」が設定されていた。家読の日には、保護者が取り組みやすい絵本関係を薦めている。
- 桑折町にサンキョーハイヤーとのつながりで絵本作家を招いて、イベントをやったり授業をしたりしている。「読み聞かせ」ではなく、「読み語り」と言っていた。そんな方を紹介するのも良いと思う。（高橋委員長）
- 漫画でも良いと思う。「怪傑ゾロリ」など漫画が少ないと感じた。日本史や世界史、偉人とかでも、読まないよりは漫画であっても良いのではないか。かたい本が多いような気がする。（鈴木副委員長）  
→睦合小…蔵書については全ジャンルについて揃えるのは、少人数で選出することやそれなりの予算、司書等が必要である。
- 桑折町には本を買いに行ったり借りに行ったりする環境が少ない。施設では子供たちの意見を入れて本を選択することが必要である。（鈴木副委員長）  
→半田醸芳小…本屋からたくさん本を借りてきて、子供たちに選ばせることもある。
- 国見町では演劇などを行い、その際、本を並べて紹介するなど、町内各学校を巡回するなどの実践があった。（高橋委員長）  
→醸芳中…学校側は保護者がどんな本を読み、どんな本を読んでもほしいと願っているのか知らないなので、アンケートを実施し、その結果を公表した。子供たちが本を読む場では、保護者も是非読むように共通理解を図りたい。
- 子供たちに読みなさいと言うのは簡単だが、大人が自ら読んでいない傾向が見られる。強制するのはおかしいが、大人から範を示すような呼びかけをしていきたい。（高橋委員長）  
→醸芳中…「こんな本を紹介してください」という返答が結構あった。だが、その本が新刊が多かったために紹介できない場合もあった。家庭によって差はあるものの、こんな本を子どもに読ませたいと考えている保護者が、少なからず居ることが確認できた。
- 国語の教科書の巻末等に「こんな本を読ませてください」というページがあることを知らない保護者もいる。中学生くらいまでは、その本の価値や読む目的を知らせて読ませることが大切である。（鈴木副委員長）
- 「学びのスタンダード」でも学校と家庭との連携を図ることで図書館教育にも

触れていると思うし、保護者のレベルも上げていかなければならない。（高橋委員長）

- PTAの方でも23日を家読の日として実施しているが、実践している家庭は少ないと思う。この運動を広げるために、絵本を子どもと同じ空間で読めるような環境づくりを推奨していきたい。（蓬田委員）
  - 幼稚園と小学校4校と同じように交流していきたいという意見が幼稚園長から出たが、幼稚園の子供たちにとって必要と考えているのか。（鈴木副委員長）
  - 醸芳幼…幼稚園が今年から統合されたことに関わって、各進学先の小学校を園児に体験させたいが、町バスや福祉バスの都合が悪く出かけられないことがある。今後も計画的に実施していきたい。
  - 伊達崎小から「言語環境の悪さ」という言葉があったが、子どものことか。（高橋委員長）
  - 伊達崎小…教師が率先垂範すべきであり、今後も指導していきたいと考えている。
  - 醸芳中から「品性を伴った言葉遣い」という言葉があったが、以前の醸芳中の校長から「お祭りの後に子供たちの品性が悪くなる」と言われた。お祭り開催時の中学生の生活について留意すべき必要がある。（高橋委員長）
  - 醸芳中…様々な祭りがある中、子供たちが持つ活発さなどに良い意味で影響していると思う。また、主催者側も気を遣っていただいているようである。やはり、時と場所を踏まえて礼節を重んじるなどの家庭・地域の教育力が落ちてきている。いざというときに、落ち着いてしっかりと対応できるような力を公の場に行ってもできるようにつけていきたい。
  - 子供たちへの教員の言動が、印象の善し悪しに影響する場面がある。大会等の引率の先生方に見られた。子供たちとの信頼関係にも関わるので注意したい。（鈴木副委員長）
  - 中間反省を聞いていただき、各教育施設の行事等をご覧いただき、各委員の方からご感想・ご意見をいただきたい。（教育長）
  - 高橋委員長…中間反省から、校長がきめ細かく具体的に先生方を指導している様子がうかがえる。第1回で話題になった「ハザードマップ」を活用したり、先生方や保護者、子供たちとの関わりについて努力している。「学びのスタンダード」では、スキルを身につけ、教科の特質・内容を楽しみ、思考・表現・判断する力を子供たちに身につけさせるように期待している。
  - 鈴木副委員長…学校が抱える課題と保護者が気づいている課題、子供たちが考えていることとの乖離がないので安心している。
  - 蓬田委員…朝早くから夜遅くまで学校に電気がついている様子から、先生方が頑張っていることに頭が下がる。あと半期、大きな事案が起こらないようによろしくお願ひしたい。
  - 高橋委員長より  
最近、精神障害（うつ病、統合失調症等）の就労相談が多く、集団面接の場に3倍の人が集まる。企業も2%の採用枠があることから求人を出すのが、本当に障がい者のことを理解しているとは思えない。義務教育からのキャリア教育の大切さを感じている。
- (4) その他
- ① 11月7日（火）に醸芳幼稚園で川島隆太教授による「家庭教育学級」がある。小・中学校で時間がある先生方に聴講を勧めていただきたい。（教育長）

# 平成30年度第3回桑折町第三者評価委員会要項

日 時 令和元年9月20日（金）  
場 所 桑折町役場第2会議室

- 1 開 会
  
- 2 教育長あいさつ
  
- 3 第三者評価の実施にあたって
  - (1) 評価の概要説明
  - (2) 質疑
  
- 4 第三者評価の実施（座長：評価委員会委員長）
  - (1) まとめ
    - ア 評価について
    - イ 意見・感想について
  - (2) その他
  
- 5 評価の結果報告
  - (1) 答申
  - (2) 意見（感想）の報告
  
- 6 閉 会

平成30年度第3回桑折町第三者評価委員会次第

日 時 令和元年9月20日(金)  
場 所 桑折町役場第2会議室

進行：総務係担当

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 第三者評価の実施にあたって

(1) 評価の概要説明 ※総務係担当

(2) 質疑 ※評価の概要及び「点検・評価原簿」説明についての質疑  
※終了後、教育長・二課長は退席。総務係担当はその場に  
残り、「第三者評価の実施」に対応。

4 第三者評価の実施（座長：評価委員会委員長）

(1) まとめ

ア 評価について

イ 意見・感想について ※評価の記入後、委員3名でまとめの話し合いをする。  
3人で確認・同意したものを「感想（意見）」とし、  
委員長が読み上げる。

(2) その他

※評価委員の報告書準備（リハーサルを含む？）が終  
わってから、担当が教育長に評価が終わった旨を報  
告する。

◆総務係担当は、ボイスレコーダーを用意し、まとめ  
の原稿を作成。

5 評価の結果報告（教育長のみ出席）

※委員長より教育長へ「報告書（評価原簿）」の提出。

(1) 答申 委員長から教育長へ

※「報告書（評価原簿）」を教育長正面で渡した後、  
委員長・教育長は自席に戻る。

(2) 意見（感想）の報告

※委員長は、評価の実施時にまとめた「感想（意見）」  
を教育長に報告する（リハーサルで確認しておく）。

6 閉 会

## 平成30年度 第3回「第三者評価委員会」で話し合われた主な内容（要点）

日時 令和元年9月20日（金）  
場所 桑折町役場第2会議室

- 教育長あいさつ
  - まず、例年この会議は6月に開催しておりましたが、今年は諸事情により本日になってしまったことをお詫びを申し上げます。  
さて、平成30年度教育委員会の所管に係る事務については、それぞれ担当において点検・評価を行ってまいりましたので、第三者協会の皆様にもご協力をお願いしたいと思います。
  - 平成30年度は、町の総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」、桑折町教育大綱に基づく教育施策実施の2年度目でありました。お配りいたしました「桑折の学校教育」にもありますように理念を掲げ、目標に向けてそれぞれの施策を実施してきたところですが、成果の出たところ、課題が残ったところがありました。第三者評価委員の皆様から総合的、客観的なご指摘、また、次年度に向けたご指導をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。
  
- 異動職員紹介                      こども教育課長、総務係担当
- 評価の概要説明                    事務局より説明。
- 質疑
  - (1) 「行事等検討委員会」について（高橋委員長）
    - 平成30年度に設置され、今年度にかけて7回の会議を開催し、提言を受けている。今後、この提言を受けて町、関係団体で検討・対応し、早ければ来年度から実施していきたいと考えている。  
(長谷部こども教育課長回答)
  - (2) 制服の贈呈について（高橋委員長）
    - 子育て支援の一環として平成29年度から実施している。  
(長谷部こども教育課長回答)
    - 保護者においては入学時の負担が大きいので、入学時の保護者負担の軽減を図ることで、子育て世帯の支援の一環として、平成29年度から実施している。  
(会田教育長回答)
  
- 第三者評価の実施    座長：高橋委員長
  
- 評価の結果報告
  - 高橋委員長より教育長へ報告
    - ・ 評定原簿の提出
  
- 《高橋委員長からのまとめと報告》
  - 町教育委員会が「15歳のめざす姿」を明示し、保育園・幼稚園・小学校・中学校がそれに向かって、つなぎを意識しながらも、それぞれの特色を生かしながら知・徳・体のバランスのとれた保育・教育に取り組んでいます。
  - 川島隆太先生の脳科学を基に学習習慣や生活習慣（学校でも家庭でも）の確立や学びのスタンダードを基本とした学習スタイルの確立の取り組み、Q-U検査、町独自の学力検査、34回の授業研究会、教育委員会自らの指導訪問等、生活習慣の改善や学力向上に取り組む計画的・継続的実践が行われています。一部マンネリ化が見られるという反省もあります。先生方はすでにご存じではあり行っておりますが、強化の本質や特質に応じたその教科の楽しさ・おもしろさ・すばらしさを子どもたちが味わう、体得する授業研究もお願いしたいです。
  - 読書活動の推進については、過程での格差が大きいようです。図書館司書の活躍に期待します。もっと積極的に学校に家庭に地域に活動を展開してほしいと思います。桑折町でも、PTAや関係機関と連携し、町をあげて地道に根気強く読書の風土を醸成していかなくてはならないと思います。
  - 行事検討委員会が立ち上がったようですが、先生方の忙しさはさらに増している

ことと思います。先生方の行事等にまたは学級事務にかかる時間を少しでも削減し、教材研究に臨む時間、子どもとかかわる時間が増えるように願います。

- 新体力テストの結果、全国や県に比べて上回り改善傾向が見られることは、学校体育の成果と思われます。多くの運動量を確保することは、学校だけでは不十分で、保護者、地域、関係団体等との連携が必要です。
- 不登校児童・生徒が昨年より増加したようですが、これは全国的にもそうになっており、寛容でない社会の影響もあるかと思われます。桑折町では、SC、SSWの配置、QU検査の活用等よくなされています。発達障がい等の二次障がいとしての不登校も考えられると思います。積極的な生徒指導、関係機関と連携などが重要です。
- 昨年度から行われた巡回型の通級指導教室は非常に画期的なことです。児童・生徒も保護者も安心して自校にいて、専門的な支援を受けられますし、学級担任との連携もとりに安いと思われます。また、醸芳小だけでなく、他の学校にもユニバーサルデザインの考え方が広がっていくことを期待します。
- 町ボランティア支援センターと各学校の連携もよく行われていると思います。
- 子どもも貧困、母子家庭の貧困が言われている中で、奨学金制度や入学祝い品に制服贈呈とはすばらしい経済的な支援です。
- フッ化物洗口、保護者の意識の向上により、虫歯治療率99%とはすばらしい成果です。おおいに宣伝し、これをきっかけに他の生活習慣の改善・育成につながっていくことを期待します。
- 子育て総合誌、子育て応援ガイドブックの作成・配布、町ホームページの掲載等、保健福祉課との連携を図りながら進めているようすばらしいことです。幼児の育て方に不安を抱く母親も多い中、安心して相談できる体制があります。
- 少子高齢化するなかで、認知症になる高齢者も増えていきます。外で活動することが一番いいことかと思われます。保健福祉課や社会福祉協議会、各種老人団体と連携を図りながら、さらに魅力ある各種事業を展開していただければと考えます。
- 町図書館の活動もさらなる工夫を期待します。各種イベントの開催等総意工夫し、貸し出し冊数を2万冊、3万冊と増やしてほしいと思います。
- 町の文化財に関しては、西山城の調査・公開、桑折町歴史案内人の認定等充実がうかがえます。9月14・15日に行われた西山城の復興祭ごくろうさまでした。2021年開催される全国山城サミットへ向けて準備大変ですが、町民の一人としてとても楽しみにしています。

(鈴木紀子委員の意見・感想)

- テレビでヨーグルトなどは就寝前に食べると体に良いという内容の放送があった乳酸菌は体にはよいが虫歯にはよくない。就寝前に食べた場合、歯磨きをすることをPRしてほしい。
- Eタウンとの交流にあたって経済的な問題もあるのなら、インターネット等を通じた交流の方法もあるので方法は検討してほしい。
- 西山城のPRにあたっては桑折町だけでなく、梁川の伊達家関連史跡や国見の阿津賀志山防塁など連携して行えば、集客効果がより高まると思われるので検討してほしい。

## 5 今後の方針

- (1) 評価の主な改善点
- (2) 評価の方法

## 平成30年度 第三者評価委員会による評価の主な内容について

### 1 学校経営（運営）における評価内容について

学校経営（運営）について前年度の反省を踏まえ。評価の4つの観点から「今年度の課題と改善策」を明確にした取組を評価できるようにする。

### 今年度の重点

園・校名

評価の視点	目標（課題解決の視点から）	手だて（具体的な改善策等）
1 学校経営		
2 学校教育の管理		
3 人事管理（教職員の指導・監督）		
4 その他		

### 2 第三者評価委員会による中間反省

実効性のある評価とするために、年度の中間で「目標と手だて(改善策)」等について反省する機会を設け、以後の学校経営に生かすことができるようにする。

### 3 訪問調査（学校訪問・授業研究時）を含めた評価資料の収集

学校訪問・授業研究時を含め、授業参観する機会を増やすとともに、学校行事・学校だよりや桑折町教育ポータルサイト等の活用により園・学校の情報提供に努める。

### 4 評価内容と方法の改善

大震災・原発事故以後7年が経過し、復旧・復興から創生をめざす桑折町総合計画『献上桃の郷こおり創生プラン』に基づき、町の未来像の実現に向けての諸取組が始まった。また、新たに県の「学びのスタンダード」推進事業も3年計画で始まる等、教育環境や社会の変化に伴い実態に即した評価となるように評価の項目、内容と方法も含め適宜改善する。

平成30年度 桑折町教育委員会の所管事務に係る点検  
及び評価に関する「第三者評価委員」による評価方法

時期	主な点検・評価	出席者等
4月	○ 評価委員への事前評価資料の提出 教育委員会 ・平成30年度教育委員会重点（施策） 園・学校 ・平成29年度の評価報告書、自己評価票 ・園・学校要覧 ・教育計画 ・園・学校経営の「課題と改善策」 ・園・学校経営ビジョン ・学力向上グランドデザイン	* 教育委員会へ各 5部提出
6月	○ 第1回第三者評価委員会 主な内容 ・園、学校経営概要説明 ・委員による質疑	・評価委員 ・事務局 ・幼稚園長 ・小中学校長
6月～ 12月	○ 訪問調査（学校訪問、授業公開時） 幼稚園 小学校 中学校	
10月	○ 第2回第三者評価委員会 主な内容 ・園、学校より中間報告 ・委員による質疑	・評価委員 ・事務局 ・幼稚園長 ・小中学校長
2月	○ 評価委員への評価資料の提出 教育委員会 園・学校 ・平成30年度教育委員会重点施策点検及 び評価 ・評価報告書 ・自己評価票 ・学校評価関係資料	* 教育委員会へ各 3部提出
翌年度 5月	○ 第3回第三者評価委員会 主な内容 ・教育委員会及び園・学校よりの評価資料 に基づく評価の実施	・評価委員 ・事務局

〈参考資料〉

○平成30年度 桑折町教育委員会の重点施策全体構想

○桑折町の15歳のめざす姿

○平成30年度 学力向上推進計画

○平成30年度 桑折町子どもの体力向上プラン

◇平成30年度 「醸芳保育所」経営・運営ビジョ

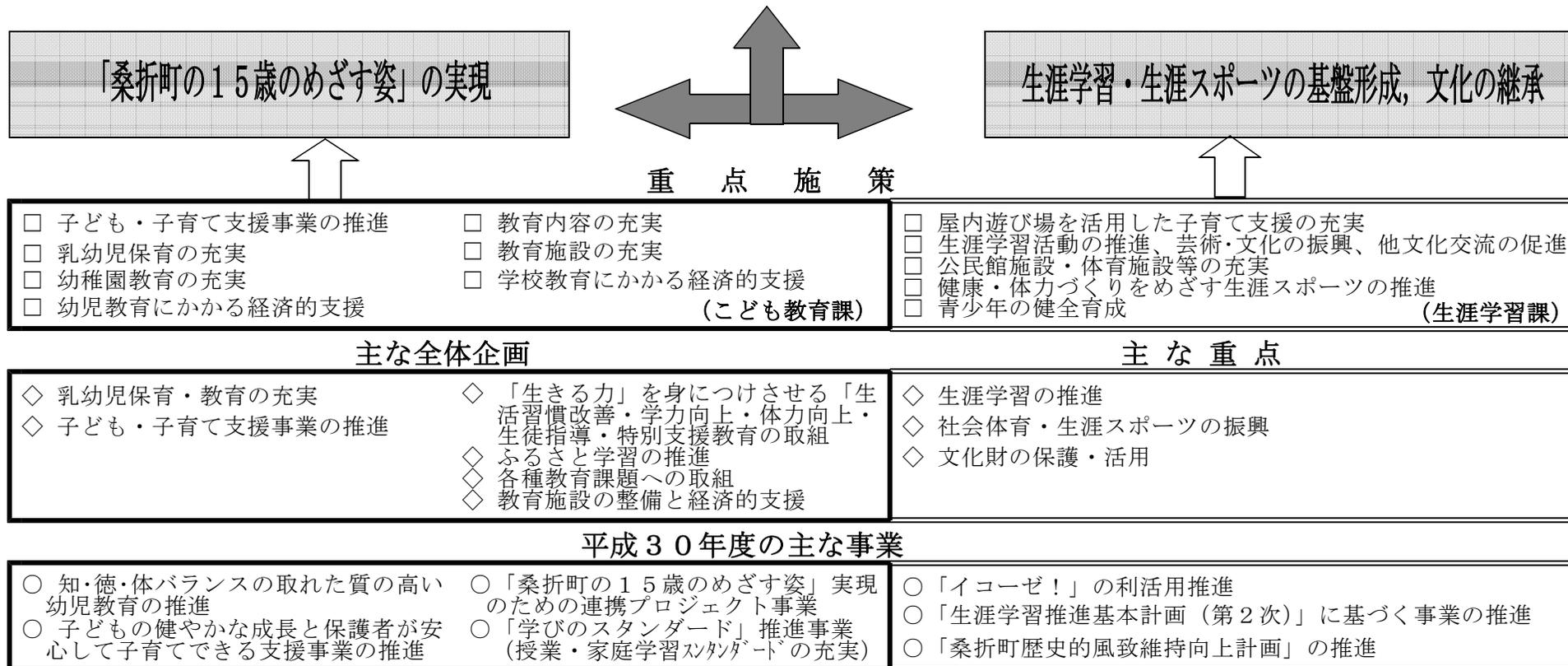
◇平成30年度 「醸芳幼稚園」経営・運営ビジョン

◇平成30年度 「学校経営・運営ビジョン」 &  
「学力向上グランドデザイン」

- ・桑折町立醸芳小学校
- ・桑折町立睦合小学校
- ・桑折町立半田醸芳小学校
- ・桑折町立伊達崎小学校
- ・桑折町立醸芳中学校

# 平成30年度 桑折町教育委員会の重点全体構想

基本方針	復旧と復興から創生をめざす桑折町総合計画『献上桃の郷こおり創造プラン』に基づき、町の未来像「みんなとつながり みんなが活躍できる 安心のまち桑折」の実現に向け、教育・文化・スポーツ行政を推進する。
基本目標	<p>「志高い人材を育む“学び”の醸成」を推進するため</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 知・徳・体の基礎を身につけ、高い志を持った「桑折町の15歳のめざす姿」の実現</li> <li>2 保育所・幼稚園から小学校・中学校までの育ちと学びの一貫性を大切にした教育の推進</li> <li>3 各世代の学びを醸成する生涯学習活動の推進、社会体育、生涯スポーツ活動、文化芸術活動の振興</li> </ol>



# 桑折町の15歳のめざす姿

桑折町教育委員会

桑折町においては、0歳から15歳の義務教育修了時までの、子どもの15年間の成長を見据えた教育を実施しています。その最終的な目標について、保護者・地域・こども園・学校等の教育にかかわる者すべてで共有するとともに、発達段階に応じて子ども自身にも理解させることにより、家庭・地域・学校等のそれぞれの教育の充実を図り、桑折の子どもたちの望ましい成長の実現をめざします。

## 高い志を持って、自分の将来を切り拓いていこうとしている15歳

～社会的自立の基礎を身に付け、よりよい生き方を追求するとともに、社会の形成者としての基礎的資質を身に付け、共に生きようとしている15歳～

### 家庭

**【知】** 学ぶ意義を理解し、習得した知識や技能を進んで生かそうとしている。

変化の激しいこれからの社会において、一人一人が自立して生きるとともに、社会の発展を支えることができるように、確かな学力を身に付けてほしいという願いのもと、具体的には次のような姿をめざします。

- よりよい学習習慣・家庭習慣を身に付け、自ら進んで学習に取り組むことができている。
- 基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得している。
- 習得した知識や技能をもとに、自ら考え、判断し、表現している。



### 地域

**【徳】** 郷土愛に充ち、自他を大切にし、社会に貢献しようとしている。

ふるさと桑折町に生まれ育ったことに感謝しながら、今後もよりよい家庭・地域・社会を築いていくことができるように、郷土愛・礼節・思いやりを身に付けてほしいという願いのもと、具体的には次のような姿をめざします。

- 歴史と伝統を尊び、郷土に誇りを持っている。
- 自他を思いやり、よりよい人間関係を築いている。
- 社会の一員として決まりを守り、礼節を重んじる態度を身に付けている。

### こども園

**【体】** 心身ともに健康で、たくましく生きるための体力を備えている。

### 学校

一人一人が生涯を通して生き生きとした生活を送ることができるように、心身ともに健やかで、どんな困難にも負けない精神力や体力を身に付けてほしいという願いのもと、具体的には次のような姿をめざします。

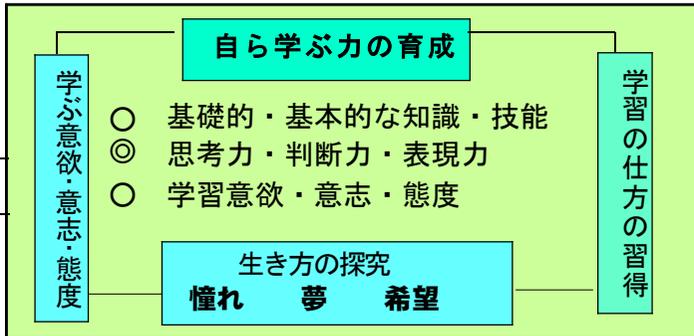
- 健康で安全に生きていくための知識や能力を身に付けている。
- 望ましい生活習慣や食習慣を身に付けている。
- 運動、スポーツに親しみ、心身の健康保持増進を図り、たくましい体力を身に付けている。

# 平成30年度 学力向上推進計画

桑折町教育委員会重点から  
「志高い人材を育む“学び”の醸成」の推進  
基本目標1：知・徳・対の基礎を身につけ、高い志を持った「桑折町の15歳のめざす姿」の実現  
基本目標2：保育所・幼稚園から小学校・中学校までの育ちと学びの一貫性を大切にした教育の推進

**桑折町の15歳のめざす姿（知）**  
 ○ よりよい学習習慣・家庭習慣を身に付け、自ら進んで学習に取り組むことができる。  
 ○ 基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得している。  
 ○ 習得した知識や技能をもとに、自ら考え、判断し、表現している。

## 生きる力をはぐくむ「確かな学力」の向上



福島県「学びのスタンダード」推進事業から「授業スタンダード」「家庭学習スタンダード」を基盤とした  
 ・より質の高い授業の創造と展開  
 ・家庭学習の質的向上と習慣化  
 ・各校における（校内）研修の充実  
 に努め、教員の授業改善と指導力の向上を図る

**めざす教師の姿**  
 ○ 教職に対する強い情熱をもつ教師  
 ○ 教育の専門家としての確かな力量を備えている教師  
 ○ 総合的な人間力を高める教師

	<p>学力の向上を支える生活と学習の基盤づくり</p> <p>◎ 学力を向上させる生活と学習の基盤づくりに努める。                  □ 教員の専門性を活かす教科担任制(小)と指導方法の共有化をめざす縦持ち(中)                  □ 「桑折町学びのスタンダード(約束)」の徹底                  □ 学びの質を高める学習集団の育成                  □ 保・幼・小・中及び家庭との連携による、望ましい生活習慣の定着や学習習慣の確立                  □ 「読み書き計算」徹底反復の実施(週3回)                  □ 「家庭学習スタンダード」に基づく家庭学習の推進                  □ 「家読」を基にした読書習慣の確立</p>	<p>確かな学力を育てる授業づくり</p> <p>◎ 個の確かな学びをめざし「わかる・できる授業づくり」に努める。                  □ 「授業スタンダード」による授業改善                  ・主体的・対話的で深い学びの実現                  □ 幼稚園、小・中学校の連携による授業研究                  ・「共通の視点」を基にした事前・事後研究会                  □ 指導と評価の一体化                  ・「活用力育成シート」の実施と活用                  □ 活用力の向上を図る単元指導の充実</p>	<p>教師の力量を高める校内体制づくり</p> <p>◎ 校内研修を充実させ、教師の専門性を高める。                  □ 研修意欲を基盤とした計画的・継続的な実効性のある校内研修の推進(外部講師の活用)                  □ 幼・小・中連携による授業(保育)研究会と研修の推進                  □ 新学習指導要領についての研修を深め、趣旨を踏まえた教育内容、指導内容の明確化と授業改善に努める。                  ・移行期における外国語活動等の指導法研修                  □ 各種研修の積極的な活用による専門性、実践的指導力の向上                  □ 得意分野を生かし相互に認め、高め合う校内研修の推進</p>
	<p>園・校の実践の情報交流 &lt;幼小中の研修交流・ICT研修交流(デジタル教科書活用方法等)・研修便りの発行&gt;</p>		
主な実践事項	<p>※「学びのスタンダード」推進事業との関連</p> <p>○ 互いに認め合う、思いやりのある学級集団づくり(安心感・存在感・向上心/QU検査の活用)                  ○ 発達段階に応じた「学び方」「学習規律」「学習習慣」の確立                  ※「授業の約束(学習の手引き)」の共通した指導と改訂                  ○ 家庭学習・生活習慣の確立                  ※「家庭生活習慣確立のポイント」の啓発活動の推進                  ※自己マネジメント力の向上を図る家庭学習の質的向上                  ○ 保護者との連携・協力による「家読(うちどく)」の推進                  ○ 「元気な脳が君たちの未来をひらく」の活用と特別授業の実施</p>	<p>○ 実態を踏まえ、ねらいとまとめを明確した授業設計                  ・指導内容の精選と重点化(単元、本時)                  ※桑折町「授業改善・充実の視点」の活用                  ○ 幼・小・中合同での教材研究や授業研究                  ※1校1指定授業研究の充実                  ※幼小中「つなぎ」の内容等の共通理解と実践(好奇心、意欲、学び方、教材の系統等)                  ○ 評価を生かした学習指導の工夫                  ・形成的評価、総括的評価と補充学習、発展学習等                  ※学力調査(全国・県)、学力検査の結果分析、課題と対策</p>	<p>○ 子どもの姿の変容を基盤に研修意欲を高める校内研修の活性化                  ・外部講師を招聘した授業研究・研究協議会                  ○ 幼小中連携に基づく「学び」「育ち」の効果的支援                  ※発達段階に応じた指導内容、教材等と学習                  ○ 校内外の各種研修等の研修成果の共通理解と実践                  ・学習指導要領で求めている学力についての共通理解                  ・授業スタンダード[チェックリスト]の活用                  ※教材の本質にせまる研修                  ・思考力を育てる教材の活用と指導の工夫                  ・単元末の「子どもの姿」を明確し、他教科と共有した指導計画</p>
基盤	<p>安心感・居場所・向上心を育む学級・学習集団づくり 学校・家庭・地域が一体となった生活習慣・家庭学習習慣づくりの推進 家庭や地域の教育力を生かした教育活動の充実</p>		
目標・評価	<p>○ 家庭学習時間の増加                  ・TV視聴・ゲーム、SNS時間利用を減少(メディアコントロール)                  ○ 読書調査による読書時間と読書量の実態把握                  ・調査結果を踏まえた家庭で読書する人数の更なる増加</p>	<p>○ 全国学力テスト・NRT                  ・県平均以上                  ・アンダーアチーバー 0                  ・4段階の層のアップ                  ○ 活用力の育成</p>	<p>○ 経営と研修の一体化                  ・カリキュラムマネジメントの充実                  ○ 事前や事後研究会を含めた検証授業の改善                  ・授業の省察と改善案を基にした指導方法の改善や授業づくり</p>



# 平成30年度 桑折町子どもの体力向上プラン

桑折町教育委員会

## 醸芳幼稚園

醸芳小学校  
睦合小学校  
半田醸芳小学校  
伊達崎小学校  
醸芳中学校

## 体力向上推進目標

桑折町の児童・生徒の心身の健康増進と体力の向上を目指す  
(平成18年から平成20年における最高水準に近づける)

## 桑折町の15歳のめざす姿

【体】

心身ともに健康で、たくましく  
生きるための体力を備えている。

## 基本方針 重点課題

- 1 運動する「場・時間・仲間・手間」を確保し、運動習慣の確立
- 2 発達段階に応じた体力の向上と「する・見る・支える・知る」の多様な関わり
- 3 家庭と地域の連携を図りながら、生活習慣・食生活の改善

## 学校・家庭・地域との連携

### 基本的な生活習慣の確立

- 全幼児、児童、生徒の実態把握(保健、健康調査)
- ◎「早寝・早起き・朝ご飯」の推進
- ◎自力登下校の推進(運動の習慣化)
- よい姿勢の保持
- ◎肥満傾向児の出現率の減少
- ◎適切なテレビ等(TV、PC、ゲーム等)の視聴時間(PTAとの連携:メディアコントロールへの幼小中連携した取組)
- 十分な睡眠の確保
- 毎月23日「家読」の推進(PTAと連携)

### 学校体育・幼稚園の充実

- 全児童生徒の実態把握(新体力テストの実施)
- ◎学校教育活動中での毎日の運動時間と運動量の確保
- ◎幼児の様々な動きや遊び体験(毎日1時間の運動時間)
- ◎体力向上に向けた一園一校一実践運動(教科外体育も)
- ◎授業の充実(PDCAサイクルの確立、指導と評価の一体化)
- ◎体力向上を意図した研修の実施(授業研究会等)
- ◎「運動身体づくりプログラム」の継続的、効果的実践
- 体育的行事・部活動等の充実
- 教員の指導力の向上(指導法、実技等の研修)
- ◎幼小中の連携した取組

### 食育の推進

- 全児童生徒の実態把握(食生活)
- バランスの摂れた食事
- 発達段階に応じた食育の推進
- ◎家庭・地域との連携による食育の推進  
PTA・学校給食・町保健センター
- 朝食摂取の重要性の周知:朝食に一品追加で学力アップ

○遊びの奨励(「場」「時間」「仲間) ○地域連携で運動機会の充実 ○地域体育的行事への積極的参加 ○町給食センターと連携した食指導 ○町健康教室との連携 ○地域人材の活用

## 子どもの体力・運動能力・生活習慣・食習慣の現状

### 全国の子どもの体力・運動能力の現状

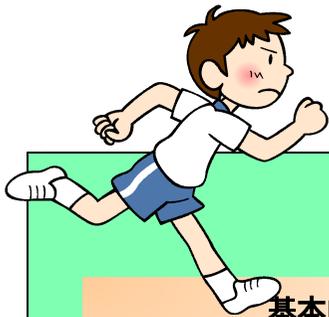
- 昭和60年以降長期的に低下傾向
- 体力の高低の二極化傾向
- 身体操作能力の低下
  - ・顔面のけが、骨折の増加
  - ・靴紐を結べない 等
- 運動経験の二極化

### 桑折町の子どもの体力・運動能力・生活習慣・食習慣の現状

- 全国・県と同様の傾向
- 平成23年度は一時屋外活動制限
- 平成29年度新体力テストからの課題
  - ・走、跳、投力
  - ・全身持久力(ねばり強さ)
  - ・筋持久力
- 肥満傾向児童出現率がかなり高い
- 基本的な生活習慣を徹底できない
- 朝食摂取率が100%でない
- 就寝時刻の遅い児童がいる
- TV視聴・ゲーム時間が多い
- 日常の運動時間の二極化

### 福島県内の子どもの現状

- 全国と同様の傾向
- 本県児童生徒の体力・運動能力は全国で中位
- 肥満傾向出現率が全国平均より高い
- 原発問題から体力の低下に少しずつ歯止め傾向



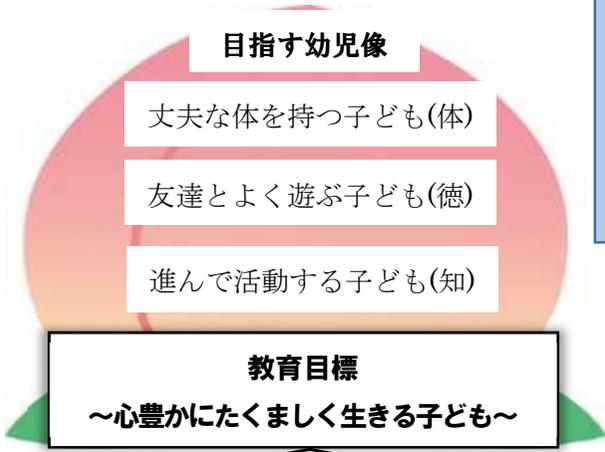
# 平成30年度 醸芳保育所 所経営・運営ビジョン

**【目指す保育所像】**  
 ～笑顔と歓声あふれる保育所～  
 ◆乳幼児が健康で、安心して笑顔で生活できる保育所  
 ◆幼児が清潔な環境で生き生きと活動している保育所  
 ◆人々が親しむ、和やかさが醸し出されている保育所

**【目指す保育士像】**  
 ◆専門性の研鑽を積む保育士  
 カリキュラムマネジメントにおける PDCA の実施  
 研修等に積極的に参加し多角的な視点で保育にあたる  
 ◆個々の特性を生かして保育にあたる保育士  
 発達段階を踏まえ、個々の乳幼児理解を深めながら保育にあたる  
 ◆人間性豊かな保育士  
 所を取り巻く様々な人との信頼関係のもと、仕事に真摯に取り組む  
 ◆保護者に寄り添いながら乳幼児の育ちを援助できる保育士  
 乳幼児に実態を把握し、保護者と共により良い保育をめざす

**【乳幼児の実態】**  
 ◆母親や家人・保育士に甘えたい気持ちが大きい  
 ◆受容されることで、安心して過ごす  
 ◆生活習慣の一つ一つを保育士と一緒にじっくり取り組む  
 ◆経験したことや感じたこと、考えたことを自分なりの言葉や身振りなどで伝えようとしている  
 ◆友達や保育士と一緒に遊ぶことを喜んでいる  
 ◆絵本やお話を見たり、読んでもらったりすることを好む乳幼児が多い  
 ◆幼児自ら積極的に体を動かす姿が見られる

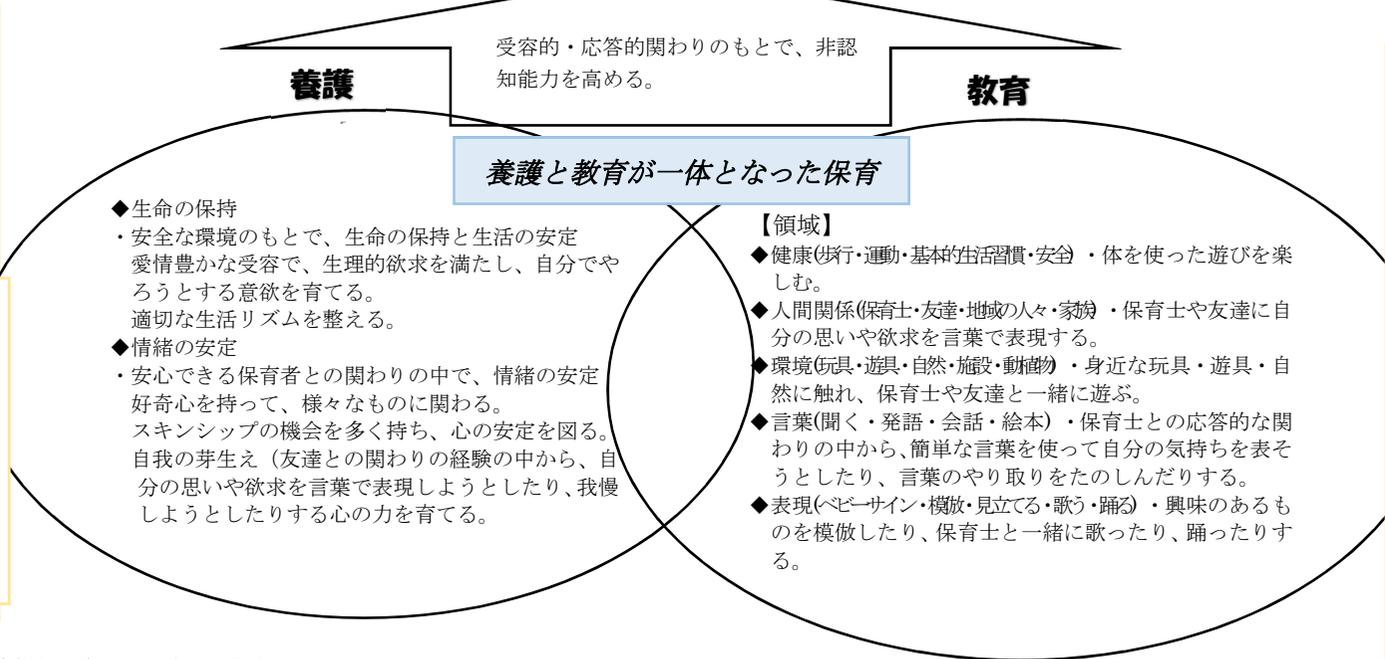
**【保護者・地域の願い】**  
 ◆安全、安心な環境での生活  
 ◆基本的生活習慣の確立  
 ◆友達とのかかわりの経験  
 ◆心身の健やかな成長  
 ◆『桑折町目指す15歳の姿』に向けた素地の形成



**【食育】**  
 ・食事の環境を整備し、食べたという意欲を育て、食事のリズム・生活リズムを確立する。

**【重点実践事項】**  
 ◆乳幼児の健康な心と体を育てるために、意図的・計画的に体を動かす経験を取り入れ、自ら体を動かそうとする意欲を育てる工夫。  
 ◆年齢にあった絵本に親しめる環境を工夫し、絵本への興味関心を育てる。  
 ◆新保育指針についての研修を行い、保育の質を高める。

**【その他の事項】**  
 ◆保護者の養育力につながるよう支援し、家庭との連携を図る。  
 ◆自己評価を基本にしながら、保育指導力の向上につながるよう、研修を深め、保育の充実をめざす。  
 ◆日本の伝統的な食事を取り入れ、栄養のバランスを考え、衛生的で安全な食事を提供する。  
 ◆アレルギー食への対応も行い、ヒューマンエラーを最大限防ごう対応する。  
 ◆乳幼児の望ましい「家庭生活のポイント」の確立を促して、家庭との連携を図った取り組み。



**◆生命の保持**  
 ・安全な環境のもとで、生命の保持と生活の安定  
 愛情豊かな受容で、生理的欲求を満たし、自分でやろうとする意欲を育てる。  
 適切な生活リズムを整える。  
**◆情緒の安定**  
 ・安心できる保育者との関わりの中で、情緒の安定  
 好奇心を持って、様々なものに関わる。  
 スキンシップの機会を多く持ち、心の安定を図る。  
 自我の芽生え（友達との関わりからの経験の中から、自分の思いや欲求を言葉で表現しようとしたり、我慢しようとしたりする心の力を育てる。

**【領域】**  
 ◆健康(歩行・運動・基本的生活習慣・安全) ・体を使った遊びを楽しむ。  
 ◆人間関係(保育士・友達・地域の人々・家族) ・保育士や友達に自分の思いや欲求を言葉で表現する。  
 ◆環境(玩具・遊具・自然・施設・動物) ・身近な玩具・遊具・自然に触れ、保育士や友達と一緒に遊ぶ。  
 ◆言葉(聞く・発語・会話・絵本) ・保育士との応答的な関わりの中から、簡単な言葉を使って自分の気持ちを表そうとしたり、言葉のやり取りをたのしんだりする。  
 ◆表現(ペーサイン・模造・見立て・歌う・踊る) ・興味のあるものを模倣したり、保育士と一緒に歌ったり、踊ったりする。

家庭や地域等との連携計画による。

**【家庭との連携】**  
 ◆保育所便りを通して、保育目標・保育所での様子・行事・健康管理・連絡事項を知らせる。  
 ◆毎日の連絡帳の記入を行い、健康状態・食事の内容や量・家庭や保育所での様子を知らせ合う  
 ◆降所時には、直接保護者と話せる機会を作り、信頼関係を深めて、家庭と一緒に乳幼児の成長を援助する。  
 ◆規則正しい生活環境づくりの推進保育所便り等で知らせる。(生活リズム『早寝早起き朝ご飯』の励行)  
 ◆幼児教育への理解促進(家庭教育学級の実施・ホームページの充実)

**【幼・小・中との連携】**  
 ◆異年齢交流 (幼保)  
 ◆憧れの気持ち、いたわりの気持ちを持つ機会  
 ◆ボランティア、実習等の受け入れ

**【地域との連携】**  
 ◆地域の人や施設とのかかわり  
 ・サロン交流会・『イコーゼ』利用  
 ボランティア支援センターの活用

# 平成30年度 醸芳幼稚園 園経営・運営ビジョン

**【目指す園像】**  
 ～笑顔と歓声あふれる幼稚園～  
 ◆子どもも教師も生き生きと活動している園  
 ◆人々が親しみ、和やかさが醸し出されている園  
 ◆様々な遊びを誘発する新鮮で清潔な環境の園

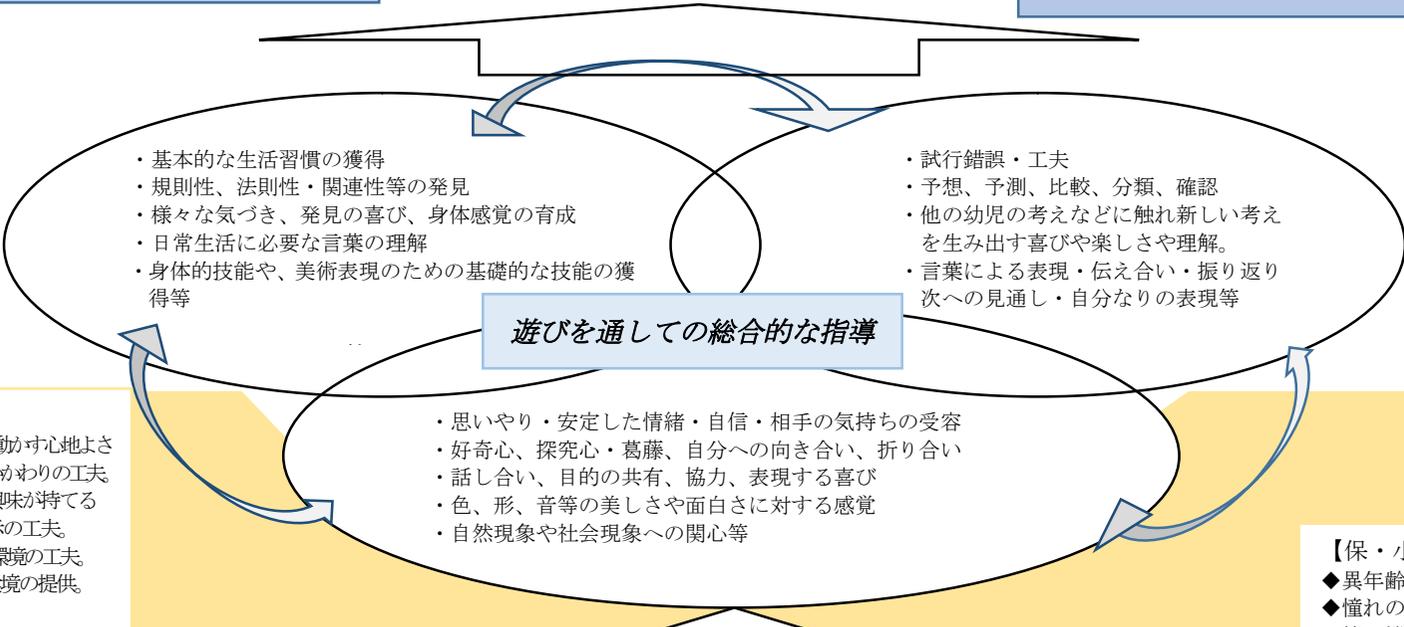
**【目指す教師像】**  
 ◆専門性の研鑽を積む教師  
 カリキュラムマネジメントにおける PDCA の実施  
 研修等に積極的に参加し多角的な視点で保育にあたる  
 ◆個々の特性を生かして保育にあたる教師  
 発達段階を踏まえ、個々の幼児理解を深めながら保育にあたる  
 ◆人間性豊かな教師  
 園を取り巻く様々な人との信頼関係のもと、仕事に真摯に取り組む



**【幼児の実態】**  
 ◆経験したことや感じたこと、考えたことを自分なりの言葉で伝えようとする幼児が多い  
 ◆友達や教師と一緒に遊ぶことを喜んでいる  
 ◆絵本やお話を好む幼児が多い  
 ◆幼児自ら積極的に体を動かす姿が見られ、それに伴い体力・運動能力が向上している。  
 ◆多くの友達とふれあうことで、お互いに刺激し合い切磋琢磨している姿が見られる。

**【保護者・地域の願い】**  
 ◆安全、安心な環境での生活  
 ◆基本的な生活習慣の確立  
 ◆たくさんの友達との円滑なかわり  
 ◆心身の健やかな成長  
 ◆『桑折町の目指す15歳の姿』に向けた素地の形成

**【領域】**  
 ◆健康  
 (運動・基本的な生活習慣・安全)  
 ◆人間関係  
 (教師・友達・地域の人々・親)  
 ◆環境  
 (自然・物・施設・動植物)  
 ◆言葉  
 (聞く・話す・絵本)  
 ◆表現  
 (感性・閃き・創造性)



家庭や地域等との連携計画による。

**【家庭との連携】**  
 ◆園便り◆園生活の様子  
 ◆家庭訪問・学級懇談  
 個別懇談・降園時の  
 連絡等◆PTA活動  
 ◆ファミリーティー  
 チャー活動  
 ◆規則正しい生活環境  
 づくりの推進  
 (生活リズム『早寝早  
 起き朝ご飯』の励行)  
 ◆幼児教育への理解促進  
 (家庭教育学級の実施・ホ  
 ームページの充実)

**【重点実践事項】**  
 ◆幼児の健康な心と体を育て、体を動かす心地よさ  
 や楽しさを感じ取らせる教師のかかわりの工夫  
 ◆豊かな心が育つように絵本に興味を持てる  
 場や提示及び経験や活動の提示の工夫  
 ◆知的好奇心を満足させるような環境の工夫  
 ◆事故なく安心して生活できる環境の提供

**【保・小・中との連携】**  
 ◆異年齢交流 (幼保、幼小、幼中)  
 ◆憧れの気持ち、いたわりの気持ちを持  
 つ機会  
 ◆ボランティア、実習等の受け入れ

**【その他の事項】**  
 ◆支援を要する幼児への適切な指導と保護者支援。  
 ◆「家庭生活習慣のポイント」の確立に向けた取り組みの推進  
 ◆自己評価、外部評価を生かした保育の改善及び質の向上  
 ◆食の充実 (偏食・アレルギー対応・マナー・雰囲気づくり)  
 ◆家庭的雰囲気の中での預かり保育の充実した環境

**環境を通して行う教育**

◆ 幼児一人一人の行動の理解と予想に基づいた意図的、計画的な環境の構成  
 ◆ 幼児期にふさわしい生活の展開 ◆ 一人一人の特性に応じた指導

**【地域との連携】**  
 ◆地域の人や施設とのかわり  
 ・サロン交流会・『よもよ』『イコーゼ』利用  
 ボランティア支援センターの活用

# とびっきりの笑顔を求めて アクション2018

《愛と英知と活力》「誇りを持って、自分の未来を切り拓いていく」

醸 芳 小 学 校

教師・保護者・地域の  
願い・児童の長所

教育目標

地域貢献

- ・話をよく聞き、自分の考えをもつ
- ・主体的に学び、集中して取り組む
- ・心が優しい
- ・礼儀正しく素直
- ・善悪の判断ができる

【児童の長所】

- ・運動や遊びに目標を持って取り組む
- ・学習態度や学び方が定着しつつある
- ・あいさつや思いやりが育ちつつある
- ・きまりを守る大切を理解している

- ・健康で明るい子ども  
(困難に負けない精神力・体力、活力)
- ・よく考えて学ぶ子ども  
(研ぎ澄まされた知恵)
- ・親切で思いやりのある子ども  
(あふれる愛)

- ・桑折町総合計画の推進(献上桃の郷プロジェクト等)
- ・ふるさと学習の推進
- ・子どもがふれあう世代間交流
- ・地域人材バンクの積極的活用
- ・ボランティア活動
- ・積極的な街頭活動(朝、放課後)
- ・町、地区への協力、地域行事への参加

## ワンランク上の教育活動(カリキュラムの充実とチャレンジ)

知(英知)

- (1)確かな学力の確立
  - ①小学校のこの時期に身に付ける基礎基本の徹底
  - ②ワンランク上の授業の構想  
スタンダード&チャレンジ、教科担任制の推進  
(算数・数学オリンピック、6年生全員、他の学年50%参加)
  - ③授業スタンダードを活用した授業の充実
  - ④各教科におけるアクティブラーニングの充実
  - ⑤家庭学習と学校での学習のリンク  
家庭学習スタンダード、桑折町学びのスタンダードの活用
- (2)積極的な読書活動
  - ①朝の読書活動の継続、家読の積極的な推進
  - ②家読の推進、ピピオバトルへの取組
  - ③各種コンクールへの参加

教員の実践的指導力の向上

- (1)ワンランク上の指導
- (2)小学校のこの時期に身に付ける基礎基本の徹底
- (3)教師が子どもと向き合う時間の確保
  - ①組織力の向上(校務運営の充実)
  - ②多忙化解消(削る努力、重点化)
- (4)校内研修の充実(外部講師の活用)
  - ①現職教育(算数科を視点とする)の充実
  - ②積極的な授業公開(パイロット校の実践)
- (5)自己研修の充実
  - ①研修会等への積極的参加

徳(愛)

- (1)道徳的実践力の向上
  - ①考える道徳・議論する道徳の授業の推進
  - ②礼節、自尊感情、規範意識、畏敬の念
  - ③和顔愛語の実践
- (2)落ち着いた生活態度形成の場の重視
- (3)道徳的実践の場の充実
  - ①体験活動の充実
  - ②魅力ある教材・体験の開発
- (4)挨拶の励行
- (5)無言移動・無言清掃の徹底
- (6)17字のよめい参加(99%)

ふるさと学習(シビックプライド)

- (1)地域に残る伝統文化に関心尊重する態度の育成
  - ①地域の残る文化遺産を活用した学習(追分、伊達氏ゆかりの史跡、西根堰、半田の歴史など)
  - ②地域の行事(祭り)などへの参加
- (2)町(歴史まちづくり推進プロジェクト)・保存会等とのパートナーシップ
  - ①外部人材の積極的な活用

食育

- (1)食に関する知識と望ましい食習慣の育成
  - ①学校給食を活用した食育の充実
  - ②家庭の啓発と連携(PTAとの連携など)
  - ③外部講師の活用
- (2)食育関係機関(関係者)とのパートナーシップ

体(活力)

- (1)体力の向上
  - ①身体測定、健康診断、体カテストの活用
  - ②運動身体づくりプログラムの活用
- (2)健康教育の推進
  - ①保健室経営の充実
  - ②早寝早起き、3食、歯磨き、遊び
- (3)安全教育の充実
  - ①交通安全防止・防災への取組
- (4)はやぶさ活動の継続  
ふくしま体力向上総合プロジェクトへの参加

態度を高め共有化を図る危機管理意識の徹底

## 地域が学校を応援、学校が地域に貢献(シビックプライド)

郷土愛からシビックプライド

- (1)地域の特色を生かした教育活動の推進
  - ①地域教材の積極的活用の継続
  - ②地域人材(伝統文化保存会など)の積極的活用
- (2)保護者・地域住民との連携の推進
  - ①基本的な生活習慣(地域や家庭での挨拶、SNSとの関わり等)の育成
  - ②地域行事(祭り)への積極的な参加等
  - ③学校・PTA行事の地域発信(運動会、バザーなど)
- (3)学校評価の推進
  - ①自己評価・学校関係者評価の充実(学校評議員による評価)
- (4)職員室だより、HP・マスコミによる情報の積極的発信

P  
D  
C  
A  
が  
ス  
バ  
イ  
ラ  
ル  
に  
作  
用

## 評 価

- 評価(指導力等)
- ・教師の変容を見る  
(授業研究会、各種研修会等への参加)
  - ・日々の教室訪問

- 評価(指標、意欲等)
- ・子どもの変容を見る  
(学習(学力調査)、生活等の面での変容)
  - ・先生への手紙

- 学校評価・人事評価
- ・自己評価、学校関係者評価
  - ・児童アンケート
  - ・保護者アンケート

「未来を拓く子育て支援と学びの町」(桑折町教育委員会重点の基本方針)

目が届く 手が届く 心が届く (チームビルディング)

コラボレーションを重視した迅速かつ適切な職務の遂行

# 『主体的・対話的に深く学ぶ児童の育成』アクション2018

○授業改善（スタンダード&チャレンジ） ○教師の指導力の向上（ワンランク上の指導） ○評価（指標・子どもの姿）

## 醸芳小学校の実践の主な成果と課題

### 【成果】

- 実践を通して、学年・単元に応じた教師のコーディネートが明らかになりつつある
- 授業実践に意欲的に取り組む姿が見られる
- 発展的な問題で改善が見られる（学力調査等）

### 【課題】

- 数量関係（割合の考え方）
  - 複数の関係を考える、読み取る力
  - 家庭での学習や読書の習慣
- 等

## ＜授業改善（スタンダード&チャレンジ）＞

- ◎ 授業改善による学力向上を学校の最重要課題にする
- 授業スタンダードに基づく授業スタイルの確立（どの学年・学級でも）
  - ・ 児童生徒の学習状況の把握（学びの履歴等）
  - ・ 「教材との出会い」→「学習課題の把握」→「追究・解決」→「まとめ・振り返り」→「新たな学び」のサイクルの確立（スタンダード）
  - ・ 板書、ノート指導の徹底（スタンダード）
- 教科担任制による授業の在り方の追究（チャレンジ）
- 個に応じた指導の一層の充実
  - ・ 子どもありきの授業改善（チャレンジ）
  - ・ 家庭学習スタンダードに基づく家庭との一体化（自己マネジメント力の育成）
- 指導内容の重点化（学力調査等の分析）
  - ・ 一層向上させたい部分（内容、領域）の重点化
- 学力向上対策プランと一体化した実践
- 指標の明確化（学力調査等）
  - ・ 国語、算数（本年度は理科も）の総合、領域別、観点別で全国正答率をこえる
  - ・ 算数数学オリンピック（6年生全員、他学年50%以上の参加）（チャレンジ）
  - ・ 17字のふれあい参加（80%）（チャレンジ）

## ＜教師の指導力の向上＞

- ◇ 学びのスタンダード推進事業による授業改善（指導力向上）
  - ・ 授業スタンダード
  - ・ 授業改善グランドデザイン
  - ・ 家庭学習スタンダード
  - ・ 桑折町学びのスタンダード
- ◇ 講師招聘による専門性ある研修
  - ・ 各教科、道徳、外国語、特別支援等
- ◇ 県版 資質向上に関する指標に応じた研修
  - ・ 校内研修の充実、悉皆研修への参加等
- ◇ 新学習指導要領への対応

## ＜評価＞

- 授業公開の実施（校内・校外）、保護者、学校評議員、地域への説明責任を果たし、指標・子どもの姿による評価を実施する（子どもの学びの姿（授業、家読、ビブリオバトル等）の累積、学力調査等の結果、算数数学オリンピック等）
  - ・ 評価を授業改善、指導力向上に生かす

平成 30 年度

# 学校経営・運営ビジョン

桑折町立睦合小学校

## 学校の経営方針

- 1 安全・安心、信頼される学校づくりの推進
- 2 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着とともに、その活用を図る学習活動の推進
- 3 共生の心を育み「いじめのない学校」をめざす
- 4 健やかな心身を育てる健康教育の推進
- 5 心を育てる道徳教育と人間尊重の精神に立つ人権教育の推進
- 6 読書指導の充実
- 7 特別支援教育の充実
- 8 指導力を培う校内研究・研修充実

## 教育目標

向上心を持ち 実践力のある児童の育成  
～見あげる心 かがやく目～

## 第6次福島総合教育計画

”ふくしまの和”で奏でるこころ  
豊かなたくましい人づくり

## 2018桑折町総合計画

教育委員会重点  
「生きる力」を育む学校教育の充実  
「桑折町の15歳のめざす姿」

元気な声がひびく学校

学ぶことが楽しい学校

うるおいのある学校

## 目指す児童像

- 元気でねばり強い子ども** (基本的な生活習慣を身につけて、目標に向かい努力することができる)
- 進んで学ぶ子ども** (望ましい学習習慣を身につけ、主体的に学習に取り組むことができる)
- 思いやりのある子ども** (自他を大切にできる心を持ち、快くすすんで協力できる)

睦みっ子

### 「元気でねばり強い子ども」の育成 (健やかな心と体の育成)

- 1 **基本的な生活習慣を育成します。**  
・心身の健康を保つ生活習慣の育成。  
(早寝・早起き・朝ごはん)
- 2 **体力の向上を図ります。**  
・「体力向上1校1実践」の実施。  
・運動身体プログラムの実践による授業充実。
- 3 **健康・安全教育の充実を図ります。**  
・専門家による食育授業と健康管理の推進。  
・健康・安全・放射線教育の充実。

### 「進んで学ぶ子ども」の育成 (確かな学力の定着)

- 1 **「主体的、対話的で深い学び」をめざす授業を実践します。**  
・学び方を身に付け、活用・表現力を高める。  
授業づくり(学びのスタンダード)  
・読み書き計算のくりかえし学習の充実。  
・授業ノートづくりと活用。
- 2 **自ら学ぶ学習習慣を育成します。**  
・家庭と連携した家庭学習の推進。  
(家庭学習スタンダード)  
・自主学習の工夫。
- 3 **読書習慣を育成します。**  
・学年必読書の設定と読書奨励。  
・家読の推進。

### 「思いやりのある子ども」の育成 (豊かな人間関係づくり)

- 1 **望ましい集団を作ります。**  
・支持的風土のある学級づくり。  
・自分の思いや願いを表現する力の育成。
- 2 **自他の命を大切にする豊かな心を育みます。**  
・授業「道徳」の充実。  
・よさを伸張する指導の充実。  
・自己肯定感・存在感の醸成。
- 3 **体験活動・ボランティア活動を充実します。**  
・直接体験やボランティア活動の機会の充実。  
・縦割活動(異学年)の充実。

## 特別支援教育の充実

○個に応じた支援充実 ○関係機関・専門家との連携充実

## 目指す教師像

- 教育愛に満ちた教師
- 専門性を磨く教師
- 人間性豊かな教師

## 家庭との連携

- 積極的な情報発信(連絡メール)
- 学校へ行こう週間、学校評価の実施
- メディア教育の推進(町連携)
- 「家読(うちどく)」の推進(町連携)

## 保護者の願い

- 安全で安心な生活を送らせたい。
- 確かな学力を身につけさせたい。
- 基本的な生活習慣を身につけさせたい。
- 健康で強い心と体を育てたい。

## 地域との連携

- ふるさと学習の充実
- ゲストティチャーの活用
- 幼稚園や小・中学校等との連携
- 運動会での地区種目
- 学校評議員会の開催
- 地域の学習・運動等機会への積極的な参加の奨励

# 平成30年度学力向上グランドデザイン

桑折町立睦合小学校

## 児童の実態

- 全国学力学習状況調査(6年)H29.4.18
  - 国A 全国比 国B 全国比
  - 算A 全国比 算B 全国比
- 福島県学力調査(5年)H29.11.8
  - 国(知識)県比 (活用)県比
  - 算(知識)県比 (活用)県比
- NRT検査 偏差値 H30.2.14
 

1年 国	算	国語
2年 国	算	「書く」に課題
3年 国	算	算数
4年 国	算	「図形」に課題
5年 国	算	
6年 国	算	

## 教育目標

向上心を持ち、実践力のある児童の育成  
 ～見上げる心、かがやく目～  
 ○元気でねばり強い子ども ○進んで学ぶ子ども ○思いやりのある子ども

## 桑折町の15歳のめざす姿

- 学ぶ意義を理解し、習得した知識や技能を  
進んで生かそうとしている。
- 郷土愛に充ち、自他を大切にし、社会に貢  
献しようとしている。
- 心身ともに健康で、たくましく生きるための  
体力を備えている。

## 確かな学力の向上

### <めざす子どもの姿>

- 課題意識を持ち、進んで学ぶ子ども
- 互いの考えを伝え、高め合う子ども
- ねばり強く学習に取り組む子ども

### <研究主題>

ともに考え、自ら学びを深める児童の育成

## PLAN 1

### 国語科・算数科における取り組み

- <国語科>
  - 朝の読書タイム(月)
  - 読書環境の整備(活用しやすい図書室)
  - 指導事項を意識した単元学習の展開・工夫
  - 「話す・聞く」「書く」「読む」活動の充実
  - 漢字・かきとりファイターの実施(7・11・2月)
- <算数科>
  - 基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着
  - ・定着確認シート・アシストシートの活用
  - 思考力・表現力を育む授業づくり
  - TT、取り出しによる個に応じたきめ細かな指導
  - 計算・算数ファイターの実施(6・11・2月)
- <定着確認シートの活用>
  - 組織体制づくり(結果分析・課題把握)
  - 課題把握に伴う補充指導と授業改善
  - ・フォローアップシート

## PLAN 2

### 授業づくり

- <わかる・できる、楽しい授業づくり>
  - 問いを引き出し、課題につなげる工夫
  - ・発問の吟味と工夫
  - ・資料等の提示、学習活動の設定の仕方の工夫
  - 課題解決の見通しを持たせる工夫
  - ・学習のプロセスが分かるノート作り
  - 問題解決的な学習の仕方の習得
  - ・振り返りの時間の確保
  - 思考を促し、コーディネートする工夫
  - ・発問の工夫、見取りを生かしたコーディネート
  - 考えを共有・吟味させる工夫
  - ・子どもの考えをつなぐ言葉かけ
  - ・学びを可視化する板書の工夫
  - 学び合いに必要な学び方の指導
  - ・聴き方をほめて育てる支援
  - ・目的を明確にしたグループ活動

## PLAN 3

### 学びの基礎づくり

- <安心して学習に取り組むことができる学級づくり>
  - 充実感・達成感をもたせる工夫
  - 機会をとらえた承認・奨励・称賛の実践
  - 「睦みっ子の一日」「睦合小学習の約束」に基づいた指導
- <自己肯定感を高める支援の工夫>
  - 一人ひとりのつまずきの把握と支援
  - ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業
  - 一斉指導と個別指導のバランスを図った指導
- <学習サイクルの確立(家庭学習の習慣化)>
  - 「家庭生活習慣のポイント」の活用
  - 「家庭学習の進め方」の活用
  - 発達段階に応じた自主学習の勧め(個に応じた課題)
  - 自主学習ノートコンテストによる称賛と啓蒙
  - 家読と親子読書
- <学びタイム>
  - 音読・漢字・百マス計算

CHECK



ACTION

CHECK



ACTION

CHECK



ACTION

### 評価の視点①

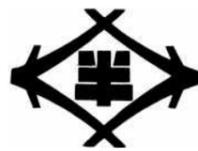
- 全国学力学習状況調査の分析
- 福島県学力調査の分析
- NRTの分析⇒アシストシートの活用
- 単位時間の評価と単元テストの分析
- 定着確認シートの活用(分析・実態把握)

### 評価の視点②

- 研究内容の共通理解と実践の累積
- 他校教員も参加の校内授業研究会
- 児童の発言、行動の見取りと累積
- 板書による授業の振り返り(写真累積)
- 学習アンケートによる意識の把握
- 授業参観

### 評価の視点③

- 学校生活全般における見取りと累積
- 音読カード等の活用
- QU検査の活用
- 児童・保護者からの学校評価アンケート
- 学校評議員からの意見
- 漢字テスト・百マス計測



【教育の理念】

- ① 自他を尊重し、学び合う意欲と知的好奇心に満ちた心身ともに健康な子どもの育成
- ② 信頼を基盤とし、保護者、地域と連携した開かれた学校づくり
- ③ 安心・安全を実現する学校環境の構築

教育目標

考える子（知） 思いやりのある子（徳） たくましい子（体）

重点目標

夢いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい

【児童の実態】

- ・やさしい気持ちで友達に接する
- ・あいさつや会話が出来る
- ・自分の考えを表現する意欲が見られる
- ・活用する力が不足
- ・気づき、考え・判断し、行動する経験が不足

【保護者・地域の願い】

- ・思いやりのある子に育ててほしい
- ・家庭学習の習慣をしっかりと身に付けてほしい
- ・挨拶や言葉遣いをきちんとしてほしい
- ・安全な生活を送ってほしい
- ・確かな学力をつけてほしい
- ・進んで読書をする子になってほしい

知力

確かな学力

夢いっぱい

◇ 各種テスト全国平均105% ◇

- A 基礎的・基本的事項の定着を図りながら、「わかる・できる授業づくり」に取り組み、活用力を育成する。
- B 保護者と連携・協力し、学びの習慣の確立及び読書活動の充実を図る。
- C 外国語科試行・外国語活動及び特別の教科道德の充実を図り、将来の夢を育む「子ども主体の学習活動」が成立するようにする。

A-① 基礎的・基本的事項の定着

- 個に応じた指導の工夫と基礎・基本の定着を図る授業づくり
- ICTの効果的・積極的・継続的な活用

A-② 活用力の育成 【桑折町の15歳のめざす姿：授業改善】

- 「わかる・できるの授業」の実践
- 学びの質を高める学習集団の構築
- 「学びのスタンダード」の積極的な活用
- 指導力向上を目指した研修会の充実（互見授業の実施）

B 学びの習慣を確立する「授業」「家庭学習」「朝の学習等」の学習サイクルの充実

- 授業、家庭学習、朝の学習（徹底反復「読み書き計算」、ぐんぐんタイム）の確実な実施【桑折町の15歳のめざす姿：学習の基盤づくり】

○ 学年に応じた家庭学習の仕方と内容の提示、家庭との連携による学びの習慣の確立

- 「ふくしまの家庭学習スタンダード」の効果的な活用
- 読書活動の充実（読み聞かせ・図書ボランティア等）と保護者との連携による家読（うちどく）の推進

C 外国語科試行・外国語活動の充実

- 外国語科試行・外国語活動の移行期間の学習の充実
- R-PDCAサイクルを生かした指導と改善
- キャリア教育の充実

心力

豊かな心

笑顔いっぱい

◇ 元気にあいさつ100% ◇

- A 誰とでも仲良く助け合う児童を育てる。
- B 特別の教科道德や教科等の指導や人との関わり合いを通して、豊かな人間性を育成する。
- C 特別支援教育の充実を図る。

A 誰とでも仲良く助け合う児童を育てる。

- 互いに認め合い、思いやりのある学級集団づくり
- 積極的な生徒指導の推進
- 自己肯定感の向上を図る日常生活指導の工夫（活躍の場、称賛の場、「ちょボラ運動」）

B 特別の教科道德や教科等の指導や人との関わり合いを通して、豊かな人間性を育成する。【桑折町の15歳のめざす姿：心の教育】

- 特別の教科道德の時間の指導の充実
- 基本的生活習慣の定着【桑折町の15歳のめざす姿：生活基盤づくり】
- 人と関わり自己存在感の持てる活動の充実（異学年交流活動）
- 体験活動の充実「ふるさと学」（児童、教職員の地域行事への積極的参加、学校田による体験活動）

C 特別支援教育の充実を図る。

- 特に支援を要する児童への指導の充実
- 関係機関との連携（通級指導学級、大笹生養護学校、医療機関、SC等）
- いじめ、不登校未然防止（半田醸芳小いじめ防止基本方針、【桑折町の15歳のめざす姿：心の教育】）

健康・体力

健やかな体

元気いっぱい

◇ 無欠席50日以上 ◇

- A 体育科における授業づくりの工夫や運動の日常化により、体力の向上を図る。
- B 基本的な食習慣や生活習慣づくりを支援し、健やかな心身の育成を図る。
- C 安全に関する指導の徹底を図る。

A 体力の向上

- 体育科授業の充実：「1学級1実践」の継続した取り組み
- 運動身体づくりプログラムを活用した体育科授業の充実【桑折町の15歳のめざす姿】
- 「走力」「柔軟性」を高める指導の継続
- 朝マラソン（朝なわとび）の取り組みと、各種校内記録会の実施
- 外遊びの推奨

B-① 食育の充実

- 食育の充実（食事のマナーとバランスのとれた食生活）
- Tによる「食育授業」の推進と「お弁当の日」の指導の充実

B-② 保健健康指導の充実【桑折町の15歳のめざす姿：体力向上】

- 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣と朝食摂取率100%
- 歯の衛生指導（フッ化物洗口の継続実践、う歯治療率100%）
- 自力登校の推奨・肥満出現率0%
- メディアアカウントコントロールの推進

C 安全に関する指導の充実

- 健康安全に生活する態度の育成と放射線教育の計画的・系統的な指導
- 具体的な場面（熊出没・不審者・弾道ミサイル）を想定した指導による危険予知・回避能力の育成
- 緊急時の危機管理マニュアルの周知・徹底（児童引き渡し訓練の実施、地域と連携した防災教育）
- 毎月の安全点検の実施と改善

特色ある半田醸芳小ならではの教育活動

《伝承文化継承》

- 半田銀山祇園ばやし
- ※ 桑折町無形文化財指定
- ※ 学習発表会、町小中音楽発表会に3、4年生が披露

《ふるさと学（桑折町の15歳のめざす姿：心の教育）》

- 土曜学習（ホテル学習、だんごさし）
- 地域素材・人材の積極的活用
- 半田銀山等地域の歴史

《環境学習》

- 緑の少年団の活動
- 森林学習（低学年・中学年）
- 福島議定書への取組み、節電・節水見守り隊・パトロールの実践

《図書の読み聞かせ》

- 春夏秋冬の読み聞かせ会の実施
- ※ 読み聞かせボランティア、図書ボランティアの方の協力

地域素材や人材の活用による学習の充実（地域を知り、故郷を愛せる子どもの育成）

仲間体験

本物体験

感動体験



平成 30 年度 基礎学力向上に対する自校の取り組み ～グランドデザイン～

桑折町立半田醸芳小学校

◎児童の姿（現状と課題）  
 ○ 集中して学習に取り組み、学習の仕方が身についてきた。  
 ○ ICTや各種教材・教具・資料等の活用により、基礎的基本的な知識・技能が定着してきた。  
 ● 知識や技能を活用する力が不十分である。  
 ● 自分の学びを実感し、新たな学びに向かう意欲が不十分である。  
 ※30年2月実施の学力テスト（NRT）の結果  
 ・偏差値状況  
 全学年平均……国語52.1 算数53.4  
 教科総合 52.8

◎重点目標（スローガン）  
 「夢いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい」の半田っ子  
 ◎考える子の育成（めざす姿）  
 ○「自ら学び、考え、話し合い、自己実現できる子ども」  
 ◎現職教育研究主題  
 ○研究主題「自ら学び、自ら考える児童の育成」  
 ～他者との協働を通じて、自らの考えを広げ深める授業の実践～

◎「桑折町の15歳のめざす姿」  
 ・子どもの15年間の成長を見据えた教育  
 ◎保護者・地域の願い～保護者へのアンケート等より～  
 ・思いやりをもった子に育ててほしい。  
 ・家庭学習や読書の習慣を身につけてほしい。  
 ・挨拶や言葉遣いをきちんとしてほしい。  
 ・安全な生活を送ってほしい。  
 ・学力をつけてほしい。

P	わかる・できる授業づくり	「主体的・対話的で深い学び」による活用力の育成	学習サイクル（授業、家庭学習、朝学習）の確立	話し合い活動の充実
D	①体験的な学習や問題解決的な学習の指導過程を工夫する。 <input type="checkbox"/> 仲間体験、本物体験、感動体験 <input type="checkbox"/> 系統性を踏まえた学習内容の明確化 ②学び合いを取り入れた授業づくりをする。 <input type="checkbox"/> 「聞く」「話す」「書く」活動の意図的設定 <input type="checkbox"/> 「桑折町・学びのスタンダード」の活用 <input type="checkbox"/> 「 <u>授業スタンダード</u> 」の活用 <input type="checkbox"/> 自分の考えを書く（描く）時間の確保 <input type="checkbox"/> 基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる適用・習熟問題の工夫と時間の確保 <input type="checkbox"/> 活用問題の工夫と時間の確保 ③ICTを効果的・積極的・継続的に活用する。 <input type="checkbox"/> 電子黒板、デジタル教科書、書画カメラ、タブレット型端末の活用 ④特に支援を要する児童の指導を充実させる。 <input type="checkbox"/> 担任と特別支援員との連携、通級学級 ⑤上位児への発展的課題への取り組みを行う。	①子どもが自ら主体的に学ぶ授業作りをする。（「主体的・対話的で深い学び」） <input type="checkbox"/> <u>視点・目的を明確にした学び合いにより、自らの考えを広げ深める協働学習</u> <input type="checkbox"/> 「主体的・対話的で深い学び」を活用した現職教育での授業研究（年一人一回以上） ②各教科の言語活動を重視する。 <input type="checkbox"/> 「主体的・対話的で深い学び」をもとにした伝え合う活動の意図的設定 ③言語環境を整備し、活用する。 <input type="checkbox"/> 「主体的・対話的で深い学び」における学びのスキルの可視化 <input type="checkbox"/> 辞書・図書の活用 ・町図書館「遊学館よも～よ」からの図書の借り入れ（学期毎） ・おすすめの本（教科書に出てくる本）の教室への配当 ・図書委員会による読み聞かせの実施や新刊図書の紹介	①45分の授業、朝の学習を確実に実施する。 <input type="checkbox"/> <u>陰山メソッド・読み・書き・計算の「チャレンジタイム」の実施（週3回）</u> 、モジュールによる朝の時間の「ぐんぐんタイム（計算・漢字の習熟問題・活用力育成シート等の実施）」（週2回） <input type="checkbox"/> 授業と家庭学習を関連させる取り組み ②保護者との連携・協力により家庭学習の習慣化を確立する。 <input type="checkbox"/> 町共通の「家庭生活習慣のポイント」の活用（学習時間 小：学年×10分+α、学習内容など） <input type="checkbox"/> 「 <u>家庭学習スタンダード</u> 」の活用 ③家庭・地域と連携した読書活動を充実させる。 <input type="checkbox"/> 毎月23日の「家読の日」（町PTA連絡協議会と共同で制定）にあわせた読書活動の啓発。 <input type="checkbox"/> 保護者の図書ボランティアによる読み聞かせ（年4回）	①R-PDCAサイクルにより体験・成果を積み重ねる。 ②生徒指導の機能を生かした授業作りをする。 <input type="checkbox"/> 学びの質を高める学習集団の育成（学級経営） <input type="checkbox"/> 自分の意見を言い合い、認め合える学習の場づくり ③子どもの思いや願いを実現するための話し合いを行わせる。 <input type="checkbox"/> 特別活動・創意活動における話し合い活動を通した望ましい集団作り <input type="checkbox"/> 低・中・高ブロックの「話し合いの仕方」の可視化と活用） <input type="checkbox"/> 多様な集団との関わりや場面を設定した活動成果の発表や発信 ・ふれあいタイム（縦割り班活動） ・児童会委員会の校内放送発表
C	①教育課程に位置づけられた時期に「活用力育成シート」を実施する。（目標正答率80%以上） ②学力テストを実施する。（国語・算数：NRT） ③学期ごとの単元テスト、漢字テスト及び計算テストを実施する。（正答率80%以上） ④ICT活用の実態と課題の把握を行う。	①現職教育の研究会で実践成果と課題を探る。 ②「主体的・対話的で深い学び」における児童の主体性・協働性についての成果を探る。 ③年間の読書量により、図書委員会が表彰する。（低学年50冊、中学年40冊、高学年30冊）	①学校評価のアンケートを行う。（達成している割合が80%以上） ②自主学習のカードやノートに目を通し、励ましや称賛のことばを入れる。 ③読書アンケートによる評価を行う。	①話し合い活動後に、励ましや評価を行う。 ②話し合い活動の場や内容の全職員による検討、情報交換を行う。
A	①成果の分析・評価と新たな課題の明確化 ②一人一人の課題にそった指導（上位児、下位児） ③多様な体験活動の充実と学びの検証	①授業者の自己分析と改善、次への実践 ②言語環境の整備改善更なる充実 ③図書便りの発行	①集計結果の公表と啓発 ②読書活動、家庭学習の励行 ③学校と家庭とが一体になった取り組みへの啓発	①話し合い活動とその実践の充実 ②担任による記録の累積 ③全職員の相互理解と実践



平成30年度

伊達崎小

学校経営・運営ビジョン



桑折町の15歳のめざす姿

高い志を持って、自分の将来を切り拓いていこうとする15歳

- (知) 学ぶ意義を理解し、習得した知識や技能を進んで生かそうとしている
- (徳) 郷土愛に充ち、自他を大切にし、社会に貢献しようとしている
- (体) 心身ともに健康で、たくましく生きるための体力を備えている

教育目標

知徳体の調和のとれた豊かな人間性と実践力のある子どもを育てる

- ◆よく考え、本気で学習する子ども(知)
- ◆心豊かな、礼儀正しい子ども(徳)
- ◆明るく、元気にやりとげる子ども(体)

学校経営方針  
～信頼される学校を目指して～

- 学力向上(授業第一)...
- 自己肯定感の向上(励ましと賞賛)...
- 地域に開かれた学校(地域との連携)...
- 事故防止・不祥事防止(五つの約束)...

確かな学びを実現させるために

「共に学び合い、高め、つなぐ」

- ◇ 教育活動全体を通して、「思考力・表現力・読解力」の育成に努めます。
  - ・体験的な学習、問題解決的な学習の推進
  - ・共に学び合い、思考を高める授業の推進
  - ※子どもの主体的・対話的で深い学びへ
- ◇ 個に応じた学習指導を推進します。
  - ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業
  - ・個々の学力の分析と、個別指導・支援の工夫
- ◇ 地域外部講師の積極的活用を通して、体験的活動の充実を図ります。
  - ・生活科、総合的な学習の時間と教科学習を関連付けた体験学習活動の推進
- ◇ 授業に向かう学習力・集中力を高めます。
  - ・「読み・書き・計算の徹底反復」(週4回)実施
  - ・「家庭学習スタンダード」の推進
- ◇ 授業研修を計画的に行い、日常の授業改善と教師の資質向上を図ります。
  - ・現職教育を中心とした、授業研究の実施
  - ・県施策「学びのスタンダード」、町教委「授業改善・充実」の視点を基にした授業の改善
- ◇ 読解力向上のため「読書活動」を推進します。
  - ・読書習慣化に向けて
  - 「読書賞」による意欲付け
  - 「おすすめ本」コーナーの設置

豊かな心を育むために

「教育活動全体を通して」

- ◇ 道徳の時間を要とし、各教科や行事と関連させ、教育活動全体を通して道徳性を培います。
  - ・新学習指導要領の趣旨とねらいに沿った道徳科としての授業の実施(指導と評価の工夫改善)
- ◇ 地域の教育力を生かした道徳教育を推進します。
  - ・地域の体験活動を通じた道徳性の育成
- ◇ 「礼儀」「親切・思いやり」に重点を置き、教育活動全体を通して育成します。
  - ・縦割り班活動や各種行事、委員会活動等の異年齢集団等の交流活動の推進
- ◇ 心のケアと潤い(言語・緑化・音楽・掲示・整理整頓)のある環境づくりに取り組みます。
  - ・縦割り班による学校花壇の整備作業
  - ・作物等の栽培を通じた「生命」を重んずる態度の育成
  - ・言語環境・学習環境の整備
- ◇ 郷土愛・愛校心を育むため、地域の素材を意図的に活用します。
  - ・地域の方々との交流や地域素材を生かした体験活動の充実
- ◇ 開かれた道徳の授業づくりに取り組みます。
  - ・授業参観時の道徳の授業公開

健やかな体を育むために

「自分を知り、高める」

- ◇ 自己の体力を知り、体育の授業づくりや運動の日常化を推進します。
  - ・運動身体づくりプログラムの自校化(実態に応じたプログラムの作成)
  - ・運動の特性に応じたブロック合同体育の実施
  - ・多様な運動の励行と、「あぶくまマラソン」の実施
- ◇ 地域や専門機関と連携して、健康教育を推進します。
  - ・実態把握と基本的な生活習慣の確立(年2回の生活習慣アンケートの実施と保護者への説明)
  - ・町関係機関、保護者代表、教職員による「学校保健委員会」の開催
  - ・給食センター栄養士・町管理栄養士による「食に関する指導」の実施
- ◇ 「安全で安心な学校づくり」の具現化を通して、「生き抜く力」を育む教育を推進します。
  - ・教職員の責任と使命感を土台とした、危機管理意識が継続できるような体制の確立
  - ・関係機関と連携した避難訓練・防犯教室による、危険予知と回避能力の育成
  - ・災害対応に関する正しい知識を育てる防災・減災教育の実施

【家庭との連携】

- 「家庭学習スタンダード」「家読」の推進
- ホームページ・学校・学年だよりによる情報の発信
- 家庭訪問・個別懇談・学級懇談等の充実

地域・家庭を基盤として

「ディスカバー・伊達崎」

- 地域が学習の場
- 地域の人々が、みな先生
- 未来へ発信

【地域との連携】

- 地域素材・人材の積極的活用
- ホームページ等による情報の発信
- 幼稚園・他小学校・中学校との積極的交流

「思考力・表現力・読解力」を身につけさせたい

# 算数科では

## ★現職教育の推進★

### 【研究主題】

「自ら考え、学ぶ喜びにみちた児童の育成」  
～思考・表現から活用～

**授業では**

- ◆学習展開の工夫 ～思考力・表現力を育成するために～
  - ①既習事項を活用して課題解決に取り組むことができるようにする。
  - ②自分の思考過程を、論理的に表現することができるようにする。
  - ③友達と学び合い、自分の考えを深めることができるようにする。
- ◆「数と計算」領域の学年系統の確認
- ◆個を高めるための工夫

**その他の教育活動では**

- 読解力向上のために
  - ・学校（町）図書館の活用
  - ・「おすすめ本」コーナーの設置
  - ・「読書賞」の表彰による意欲向上
  - ・読み聞かせボランティアの活用
- 表現力向上を目指して
  - ・発表集会の活用（表現力の向上）
- 体力向上を目指して（あぶくまマラソン等）
- 地域素材を生かした体験活動の充実

# 各教科では

## 「教科の本質から授業を組織」

◎目標、内容、方法の違いを踏まえた授業で、教科学力を高める



国語科	社会科	理科	生活科・総合的な学習の時間	技能教科(音・図・家・体)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な文章との出会い(教材)</li> <li>○声に出して読む活動(音読)</li> <li>○目的的に読む活動(精読)</li> <li>○書く活動(単位時間へ位置づけ)</li> <li>○読み取った内容を様々な形式に自分の言葉でまとめる</li> <li>○話す・聞く活動の意図的設定</li> <li>○見通しを持てる授業展開</li> <li>○国語辞典の活用(中高学年)</li> <li>○ノート作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的意識を持たせた問題解決的学習の推進</li> <li>・効果的な資料の提示、活用</li> <li>・グラフや表の見方</li> <li>・学び方、調べ方の習得</li> <li>・作業的、体験的な活動</li> <li>・調べる視点の明確化</li> <li>・表現方法の工夫(わかったことを自分の言葉で)</li> <li>・生活と結びつけて考える場を設定する</li> <li>○教師の体験談で興味関心を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○科学的な見方や考え方の育成を目指した問題解決的学習の推進</li> <li>・見通しを持たせる工夫(既習事項を生かす)</li> <li>・観察、実験の励行(見る目と予想する力)</li> <li>・グループ学習により意見交換の場の設定(考えを比較する)</li> <li>・生活と結びつけて考える場の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○具体的な活動や体験(意味づけ)を位置付けた問題解決的学習の推進</li> <li>・教科で得た知識の活用を意図的に設定</li> <li>・知的好奇心を喚起するような教材の開発</li> <li>・弾力的な時間運用(1日)で学びの連続性と楽しさを体感</li> <li>・調べたことを自分の言葉でまとめる場の設定</li> <li>○地域素材の積極的な活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体力向上に向けて           <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育科ではブロック合同体育実施と専科教員によるTT授業の推進</li> <li>・運動身体づくりプログラムの取り組み</li> </ul> </li> <li>○ものを見る目、感じる心など感性を養う時間の確保</li> <li>○友だちとのかかわり合い、教え合いの実践の場の設定</li> </ul>

「教師主導型授業」から子どもの「主体的・対話的で深い学び」へ → 「教えてもらいたい」意識から「自ら学びたい」意識へ

# 授業技術

「～学び続ける教師 成長し続ける教師～」

- ◎児童にとっては一生に一度しかない大切な時間
- ◎「教えのプロ」としての自覚

「めあて(青)」→「まとめ(赤)」	発問	板書	学び合いの場の設定	教師の姿勢は
<ul style="list-style-type: none"> <li>○明確でわかりやすいもの</li> <li>○単位時間の指針</li> <li>○単位時間で解決できるもの</li> <li>○児童の言葉でまとめる</li> <li>○めあてと対応させてまとめる</li> <li>☆何を勉強している(いた)のかわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の意識に目を向けた発問</li> <li>○中心発問と指示発問の使い分け(発問の精選)</li> <li>○思考へ導く発問</li> <li>○思考をゆさぶる発問</li> <li>★禁句「考えなさい！」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○黒板は教師のノート(常に整理)</li> <li>○「めあて(青)」と「まとめ(赤)」は必ず</li> <li>○板書の構造化(児童の考えの集約と焦点化)</li> <li>○色チョークの使い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し合い(言語活動)の場の設定           <ul style="list-style-type: none"> <li>・つなぎ言葉を遣って</li> <li>・互いの考えの良さを認め合って</li> </ul> </li> <li>○自分の考えを表現する工夫</li> <li>○聴く力、話す力の育成</li> <li>・根拠をもとに説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童を引きつける話術</li> <li>○身近なもの本物を教材に</li> <li>○「授業の約束」の徹底</li> <li>○ICT(電子版)の有効活用</li> <li>○既習事項や学習内容を確認できる掲示物の工夫</li> <li>○自己肯定感の向上(励ましと賞賛)</li> </ul>

県施策「学びのスタンダード」、町教委「授業改善・充実の視点」を基にした授業力向上「ユニバーサルデザイン(UD)」の視点を取り入れた授業改善と工夫

# 学習の土台づくり

基礎・基本の定着と集中力向上のための「読み・書き・計算の徹底反復」学習の推進

# 学級の土台づくり

読解力と基礎学力の確実な定着に向けた取り組み	道徳教育の充実(教育活動全体を通して)	学級活動の充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書活動の推進(読書推進活動、PTAと連携した家読の推進、ノーメディアの推進)</li> <li>○個に応じた学習指導(授業の中で、授業外で)</li> <li>○既習事項が振り返られる掲示物工夫</li> <li>○スピーチ(朝の会・帰りの会)</li> <li>○「読み・書き・計算の徹底反復」活動</li> <li>○定着確認、フォローアップシートの活用</li> <li>○地域と連携した体験活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「道徳の教科化」の完全実施</li> <li>○道徳の時間は           <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な出来事を資料に(生活から価値を見出す)</li> <li>・体験を生かす、体験を生かす授業の実施</li> </ul> </li> <li>○指導の重点化と教育活動全体を通して</li> <li>・行事とリンクさせ、実践の場を確保する</li> <li>○内面まで浸透→道徳的実践力の育成(学級経営の基)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「話し合い活動」を重視           <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に応じた話し合いの指導</li> <li>・自分の意見や考えを必ず持たせるための手立て、題材の工夫</li> <li>・相手の意見や考えを聴く(自分の考えと比較する)</li> </ul> </li> <li>○話し合いの結果を実践へと生かす場を設定する(○○集会等)→満足感を持たせる</li> </ul>

「子どもの意識に目を向ける」

- ・こんなこと調べたい
- ・今、何を勉強しているの？
- ・何を考えるの？
- ・考える教材は？
- ・時間がもっと欲しいよ！
- ・発表したいよ！
- ・考えを生かしてもらえたよ 等

家庭への豊かな働きかけ 「家庭学習スタンダード」「家読」の推進のための啓発活動 (伊達崎小学びのスタンダード)の推進、「PTA」との連携)

習自文章... 自分や資料等を正しく読むことができる

子ども



平成30年度 桑折町立醸芳中学校 学校経営・運営ビジョン

**<生徒の実態>**

よさ ○ 素直で何事にも一生懸命取り組む。  
○ 友達思いで優しい。  
○ 真面目でルールを守ろうとする。

課題 ○ 高い目標に向かって努力すること。  
○ 自主性と集団として高め合うこと。

**<生徒の願い>**

○ 進んであいさつができるようにしたい。  
○ 生徒同士、生徒と先生が授業や日常生活で率直に話し合えるようにしたい。  
○ 様々な交流の機会をつくりたい。

**<桑折町「義務教育終了時15歳の姿」から>**

～高い志を持って、自分の将来を切り拓こうとしている15歳～

知 … 学ぶ意義を理解し、習得した知識や技能を進んで生かそうとしている。  
徳 … 郷土愛に充ち、自他を大切にし、社会に貢献しようとしている。  
体 … 心身共に健康で、たくましく生きるための体力を備えている

**<教育目標>** 自学・奉仕

基礎・基本を身につけ、社会に貢献できる生徒の育成

自学 = 進んで学びねばり強く実践する生徒  
奉仕 = 思いやりがあり集団に貢献する生徒

**<保護者の願い>**

○ わかりやすい授業をしてほしい。  
○ 学力を向上させてほしい。  
○ 進路指導を充実させてほしい。  
○ いじめ、不登校についての指導をしっかりしてほしい。

**<地域の願い>**

○ 落ち着いた学校であってほしい。  
○ 学力を充実させてほしい。  
○ 進路の希望を実現してほしい。  
○ 差別のない学校であってほしい。

**【目指す学校像】** 学ぶ楽しさ成長する喜びを味わえる笑顔とうるおいがある学校 生徒が夢や目標、志を持ちその達成に向けて努力している学校

本 年 度 の 重 点 努 力 事 項

**自学・教養** 自ら学び、学力を高める生徒

**利他・品性** 正しく判断し思いやりをもって行動する生徒

**健康・安全** 体力の向上と健康づくりに進んで取り組む生徒

**奉仕・志** 他者に貢献し、自らの志を育む生徒

- 生徒が互いに高め合う授業をします
  - ・ 問題解決型の授業の構想、実践
  - ・ 自分の考えをもつ場と表現する場の設定
  - ・ 教員の授業力、特にコーディネート力の向上
  - ・ 授業研究の充実
- 学力を定着・向上させます
  - ・ 学習の5つの約束の徹底
  - ・ わかるまで教え、できるまで支える学習指導
  - ・ 繰り返しの学習の充実と基礎力テストの実施
  - ・ 個に応じた家庭学習の習慣化の指導
- 読書活動を充実させます
  - ・ 朝の読書の充実
  - ・ 良書の紹介と感想を交流する場の設定

- 規範意識を高め、自主性を育みます
  - ・ TPOに応じた行動の指導の充実
  - ・ 朝自習、落ち着いた給食、無言清掃の徹底
  - ・ より良い醸芳中学校を目指す生徒会活動の活性化
- いじめ、不登校に丁寧に対応します
  - ・ 道徳教育を中心とした思いやりの指導の充実
  - ・ QUTテストの意図的効果的な活用
  - ・ いじめの早期発見、早期対応
  - ・ 不登校への組織をあげた対応
- 心の悩みの解決に努めます
  - ・ アンケート調査や教育相談による悩みや問題の早期発見・早期対応
  - ・ スクールカウンセラーによる全員面談の実施

- 健やかな体づくりと体力向上を図ります
  - ・ 目標を明確にした保健体育の授業など体力向上の取組
  - ・ 部活動の充実
  - ・ 校内駅伝競走大会の実施
  - ・ 確実な保健検査の実施
  - ・ むし歯の治療、肥満の解消への取組
- 健全な生活習慣を形成します
  - ・ 学校給食を活用した食育の推進
  - ・ 「保健だより」などによる健全な生活習慣の重要性の啓発
  - ・ 「生活ノート」を利用した生活習慣の個別指導の充実
- 命を守る安全教育を推進します
  - ・ 飛び出し、自転車のルールに重点を置いた交通安全教室の実施
  - ・ 防災教育、放射線教育の充実

- 志の教育を系統的計画的に進めます
  - ・ 「職業人に学ぶ」「職場体験」「高校調べ」や入学式、立志式、卒業式等の学校行事の充実
  - ・ 総合学習や学級活動を中心とした生き方を考える教育の充実
- 地域との交流を深めます
  - ・ サマーショートボランティア、地域清掃活動への積極的な取組
  - ・ 郷土の歴史の学習の充実
- 保護者との連携を強化します
  - ・ 保護者参観（授業参観、醸中祭、三者面談等）の充実
  - ・ PTA委員会活動の充実・発展
  - ・ 学校だより、学年だより、保健だよりの定期発行
  - ・ 学校ホームページの更新

**【醸芳中学校の課題に向き合う教師像】** 親身になって生徒の話を聞き真摯に向き合える教師 学校の円滑な運営そして指導力向上のために他から学ぶ教師 部活動に熱心な教師

生徒の実態

- ・ 素直で明るく、真面目な態度で学習や諸活動に取り組む。
- ・ 学習意欲や基本的な学習内容の定着について、個人差が大きい。
- ・ ドリル的な演習には、一生懸命取り組むが、思考を伴う問題は避ける傾向がある。

家庭・地域の実態

- ・ 半田山の麓に広がる自然豊かな環境である。
- ・ 桑折、半田、睦合、伊達崎の4学区から通学しており、大多数の家庭は共働きである。
- ・ 学校は、地域社会の文化の中心的な役割をもち、地域住民の学校教育への参加・協力が得られている。

授業づくり

- (1) 自分の考えをもつ場面と表現する場面の意図的設定
- (2) 重点目標による授業の手立て  
アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）を、各教科の特性を活かしながら実践する。
  - ① 学習内容の精選と課題設定の工夫
    - ・ 魅力、必要感、やりがい、手応えのある学習課題の設定
    - ・ 学習の見通しをもたせる指導過程の工夫
  - ② 学習形態の工夫
    - ・ 言語活動の充実
    - ・ 話し合い活動や少人数グループ活動の積極的な取り入れ
  - ③ 話し合いにおけるコーディネートの工夫
    - ・ 生徒の考えを引き出し、つなげる支援
    - ・ 問い返しやゆさぶりなどの働きかけ

教育目標

基礎・基本を身につけ、社会に貢献できる生徒の育成

◇進んで学び、ねばり強く実践する生徒 【自学】

◇思いやりがあり、集団に貢献する生徒 【奉仕】

研究主題

自分の考えをもち、表現できる生徒の育成  
～生徒の意欲を引き出す「〇〇したくなる授業」実践を通して～

本年度の重点目標

- 話し合いにおけるコーディネートの工夫
    - ・ 生徒の考えを引き出し、つなげる支援
    - ・ 問い返しやゆさぶりなどの働きかけ
- 【到達数値目標】
- ・ 各種学力テストが全国平均を上回る
  - ・ 各学年の家庭学習時間が増加する

県の基本目標

- ・ 知・徳・体のバランスのとれた社会に貢献する自立した人間の育成
- ・ 学校・家庭・地域が一体となった教育の実現
- ・ 豊かな教育環境の形成

桑折町の15歳の目指す姿

知：学ぶ意義を理解し、習得した知識や技能を進んで生かそうとしている。

徳：郷土愛にうち、自他を大切にし、社会に貢献しようとしている。

体：心身ともに健康で、たくましく生きるための体力を備えている。

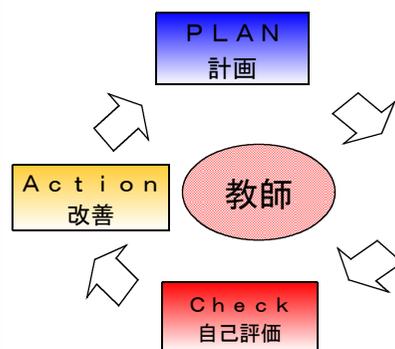
幼小中連携

- ・ 幼小中の連携協力による学力向上とよりよい学校生活習慣・家庭生活習慣の確立

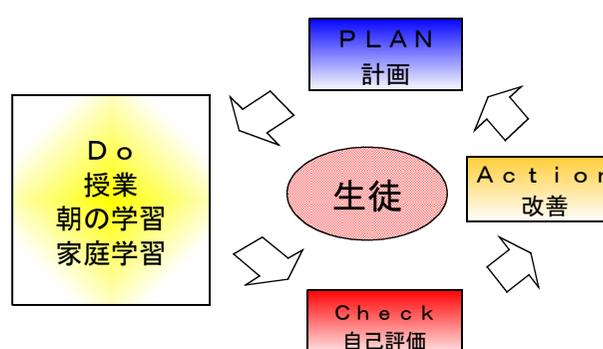
基盤づくり

- (1) 授業における学習規律の徹底
  - ① 朝の読書・朝自習の時間の充実
  - ② 「学習の5つの約束」の励行と強化期間の実施
  - ③ 「パワーアップ期間」の実施
- (2) 基礎・基本の確実な定着の指導
  - ① 校内学習テスト（漢字・計算・英単語）の取り組み
  - ② 定着確認シートの実施と活用（国・数・英・理・社）
  - ③ 英検、漢検、数検等への挑戦奨励
- (3) 家庭学習における学習方法の確立と習慣化
  - ① 「学びの手引き」の作成と活用
  - ② 自主学習ノートの取り組み
  - ③ 家庭学習時間（平日）1年80分 2年90分 3年100分の習慣化
- (4) 安心して学べる学級、学習集団づくり
  - ① 生活ノートを利用した信頼関係の構築
  - ② Q-Uテストの実施とその分析活用
- (5) 落ち着いた学校生活の醸成  
朝の読書・朝自習、給食、無言清掃の共通指導

授業改善のサイクル



学びのサイクル



学習意欲

望ましい学級・学習集団

めざす生徒像

- 自分の考えをもち、表現できる生徒
- 家庭学習の習慣が身についている生徒